

令和4年度

授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

令和5年4月

拓殖大学 FD委員会



## はじめに

「学修者本位の教育」が求められています。いうまでもなく教育とは学生のためのものであり、教育機関に求められている教育の質保証は、学修者本位の教育の質保証でなければなりません。本学では「拓殖大学FD委員会」が中心となり、「教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること」を目的に「授業改善のための学生アンケート」を実施しています。本学ではアンケート集計結果にもとづく分析、学生の意見や教員による授業の振り返りを通じて、授業内容・教育方法の改善やカリキュラム全体の見直し、学修支援環境の充実などにつなげ、学生の主体的な学びを促す効果的学修の推進に取り組んでいます。

令和3年度からWebシステムを使用したアンケート形式を導入しました。これにより実施科目を原則すべての科目へと拡充し、結果の迅速なフィードバックもできるようになりました。アンケート実施の目的を合理的に達成できる環境が整ったといえます。

本報告書は、令和4年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」を基に「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2部構成にまとめました。

第Ⅰ部では、大学全体から各学部・学科まできめ細かな分析を試み、各学部における評価及び課題を明確にしております。本学ホームページにて学内外に公表いたします。

第Ⅱ部では「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、ならびにこれに対する担当教員の所見を掲載し、学内イントラネット上で公表いたします。

教員各位にあつては、本報告書を活用し、自身のアンケート結果を過去と比較し、他の教員や他学部の状況も参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。大学全体としては、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援などを行ってまいります。

令和5年3月

拓殖大学 学長  
鈴木 昭一

# 目 次

## はじめに

### I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の取組	4

### II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

### III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差値	11
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差値	
(1) 専任教員所属別	12
(2) 講師(非常勤)所属別	13
3. 履修登録者数別比較表（講義科目）	14
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部初期教育科目	15
②商学部専門科目	16
③政経学部専門科目	17
④外国語学部専門科目	18
⑤工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	19
⑥国際学部専門科目	21
⑦教養教育科目	22
⑧外国語科目	23
⑨スポーツ・トレーニング科目	24
⑩教職・社教・日語科目	25
⑪ゼミ・外書講読科目	26
⑫全体（講義等科目）	27
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	28
②学科別	29

(3) 満足度平均値	
①学科目別	31
②所属別	32
③身分別	33
④年齢別	34
5. 学科目別 回答の分析	35
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	40
7. 政経学部 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ	42

#### IV 評価及び課題

1. 商学部	47
2. 政経学部	50
3. 外国語学部	53
4. 工学部	57
5. 国際学部	63
6. 教養教育（教養教育科目）	66
（外国語科目）	68
（スポーツ・トレーニング科目）	70
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	75

#### 参考資料

実施要領	81
アンケート様式	83



# I 学生アンケートの実施について



## 1. 経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容と方法の改善を目的とした組織的な取り組みは、1992年（平成4年）の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まり、各学部自己点検評価委員会が設置され、検証と評価を繰り返しながら教育の改革・改善に取り組んできました。2012年（平成24年）4月から拓殖大学FD委員会による取組として現在に至っております。

具体的には、1994年（平成6年）から始まった「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の実施、全学的なFDワークショップ及び各学部独自のFDワークショップ開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の実施などです。このうち「授業改善のための学生アンケート」（以下、学生アンケート）は、これら一連の教育改革の柱となるものであり、次のような特色を持っています。

- (1) 大学（5学部）全体の取り組みとして実施していること。
- (2) 全教員が参加していること。
- (3) 授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載し、改善に向けて取り組んでいること。
- (4) 集計・分析結果のみならず、授業科目毎の集計及び担当教員による所見を公開し、全教員が参照できるようにしていること。

## 2. 実施状況

令和4年度「授業改善のための学生アンケート」は、全教員〔専任教員225名、講師（非常勤）378名〕を対象に実施いたしました。また、令和3年度より、学生アンケートはWebシステムを使用したアンケート形式を導入し、学外委託科目等一部科目を除く全科目での実施をいたしました。

実施科目数は専任教員で1,017科目（令和3年度〈以降同様〉1,059科目）、講師（非常勤）で1,095科目（1,093科目）、合計2,112科目（2,152科目）、また、学生からの述べ回答数は31,294人（38,688人）となりました。

## 3. 集計結果の概要

学生アンケートを実施した全授業科目の「満足度」の平均は4.19となり、令和3年度と比べ0.05pt上がりました。また、その数値は、学部別、科目分野別で差があります。たとえば専任教員の学部別では、国際学部の4.36が最も高く、外国語学部4.27、政経学部4.24、商学部4.22、工学部3.99と続いています。

区別の満足度は、ゼミ・外書講読（4.57）が最も高く、次いで教職・社教・日語講座科目（4.53）、以下、外国語学部専門科目（4.30）、国際学部専門科目（4.25）、同率で

教養教育科目、外国語科目(4.18)、商学部専門科目(4.15)、政経学部専門科目(4.12)、商学部初期教育科目(3.92)、工学部専門科目[講義](3.91)と続いています。

こうした評価の差は、科目分野に加え、授業規模や授業方法の違いによっても異なり、講義科目の履修登録者数別比較表(講義科目)によれば、履修者数100人以下の満足度4.21に対して、301人以上が3.85と、0.36pt低くなっています。

学生の学年別「満足度」では、高学年になるほど高い傾向であり、また教員の身分別では特別非常勤講師(4.41/16人)が最も高く、以下、准教授(4.25/64人)、教授(4.21/146人)、助教(4.16/10人)、講師(非常勤)(4.14/289人)の結果となりました。

教員の年齢別では、最も高い数値は40歳未満(4.23)であり、逆に最も低い数値は60歳代で(4.17)となりました。

「満足度」以外の項目については、今後の課題も含め学部別あるいは学科目別に詳細に分析されているので、本報告書「V評価と課題」をご覧ください。

#### 4. 今後の取組

##### (1) 客観性が担保されるアンケート実施の継続

令和3年度から導入されたWebシステムを利用した実施方法については、回答者の匿名性が保たれる方法を引き続き継続して実施していくこと。

##### (2) アンケート実施率及び回答者数の向上

適宜、各学部所属長や学務課と連携を図り、教員のアンケート実施率及び学生の回答者数向上を目指していくこと。

##### (3) 「授業改善のための学生アンケート」結果(満足度)が低い科目への対応

教育力の底上げを図るため、科目の満足度が2年連続2.9以下となった教員については、改善方法の検討を促し、報告書の提出を求めるなどの対応を取ること。

少子高齢化と文部科学省による定員管理の厳格化から、大学を取り巻く環境が厳しくなっている折、本学においても持続可能な社会の担い手を育むため、教育の質と学生満足度の向上に向けた取り組みを一層追求する必要があります。

国際的な視野を持ち、タフな人間力を身につけた『拓殖人材』を育むためには、学修者本位の教育の質の向上は当然の責務であり、本委員会では『授業改善のための学生アンケート』を大学教学マネジメントの柱の一つと位置づけ、積極的に学士教育課程の編成・実施に係る組織的な取り組みを行っていくことといたします。

令和5年3月

拓殖大学FD委員会  
委員長 山田 政通

## II 実施状況



## 1. 実施期間

2022年12月5日（月）～2022年12月10日（土）

予備日：12月13日（月）～18日（土）

## 2. 実施教員数

### 1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
商 学 部	50	50	0	100.00%
政 経 学 部	53	52	1	98.11%
外国語学部	35	35	0	100.00%
工 学 部	49	49	0	100.00%
国 際 学 部	33	31	2	93.94%
兼 担	5	3	2	60.00%
合 計	225	220	5	97.78%

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

### 2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
商 学 部	104	84	20	80.77%
政 経 学 部	103	80	23	77.67%
外国語学部	66	54	12	81.82%
工 学 部	45	37	8	82.22%
国 際 学 部	46	40	6	86.96%
兼 担	14	14	0	100.00%
合 計	378	309	69	81.75%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

### 3) 全体

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
専任教員	225	220	5	97.78%
講師（非常勤）	378	309	69	81.75%
合 計	603	529	74	87.73%

### 3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	257	301	558
政 経 学 部	293	253	546
外 国 語 学 部	175	237	412
工 学 部	130	84	214
国 際 学 部	158	181	339
兼 担	4	39	43
合 計	1,017	1,095	2,112

### 4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	その他	合 計
商 学 部	3,470	2,566	1,734	785	6	8,561
政 経 学 部	3,517	2,848	2,424	1,026		9,815
外 国 語 学 部	1,387	1,446	1,055	271	5	4,164
工 学 部	2,110	1,616	918	52		4,696
国 際 学 部	1,443	1,659	675	277	4	4,058
合 計	11,927	10,135	6,806	2,411	15	31,294

### 5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部初期教育科目	24						24
商学部専門科目	172	2	5		4	2	185
政経学部専門科目	7	170			1	4	182
外国語学部専門科目	3	6	275	2	6	11	303
工学部専門科目（講義）		2		105			107
工学部専門科目（実験実習）				32			32
国際学部専門科目	1	2	1		61	2	67
教養教育科目	28	41	14	13	19	4	119
外国語科目	200	176	58	51	161	20	666
スポーツ・トレーニング科目	2	2		6	4		14
教職・社教・日語講座科目	14	13	6	5	8		46
ゼミナール・外書講読	107	132	53		75		367
合 計	558	546	412	214	339	43	2,112

（注）教養教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

### Ⅲ 全体集計



# 1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部初期教育科目	商学部専門科目	政経学部専門科目	外国語学部専門科目	工学部専門科目（講義）	国際学部専門科目	教養教育科目	外国語科目	教職・社教・日語講座科目	ゼミナール・外書講読	全体
		科目数： (24)	科目数： (185)	科目数： (182)	科目数： (303)	科目数： (107)	科目数： (67)	科目数： (119)	科目数： (666)	科目数： (46)	科目数： (367)	科目数： (2066)
1-(1)	平均値	4.70	4.66	4.65	4.61	4.76	4.64	4.77	4.66	4.74	4.68	4.67
	標準偏差	0.59	0.63	0.66	0.65	0.53	0.64	0.57	0.63	0.54	0.62	0.63
1-(2)	平均値	3.24	4.17	4.13	4.26	3.92	4.22	3.79	4.22	4.45	3.98	4.12
	標準偏差	1.33	0.86	0.93	0.81	0.94	0.92	1.10	0.84	0.69	1.00	0.93
1-(3)	平均値	1.65	1.77	1.79	2.07	1.96	1.81	1.83	2.12	1.93	2.43	1.97
	標準偏差	0.94	0.98	0.98	1.01	0.99	1.01	0.98	1.03	0.98	1.31	1.05
2-(1)	平均値	4.19	4.35	4.34	4.42	4.18	4.36	4.35	4.33	4.53	4.45	4.34
	標準偏差	0.81	0.66	0.67	0.64	0.68	0.66	0.66	0.71	0.58	0.67	0.68
2-(4)	平均値	3.82	4.19	4.15	4.33	3.95	4.26	4.07	4.17	4.44	4.50	4.20
	標準偏差	1.06	0.84	0.88	0.79	0.88	0.82	0.90	0.86	0.66	0.64	0.85
2-(5)	平均値	4.03	4.26	4.27	4.31	4.00	4.26	4.04	4.23	4.47	4.46	4.25
	標準偏差	0.85	0.73	0.74	0.73	0.79	0.77	0.84	0.75	0.65	0.66	0.75
2-(6)	平均値	3.64	3.81	3.70	4.36	3.68	3.93	3.83	4.30	4.36	4.55	4.03
	標準偏差	1.05	1.01	1.01	0.77	0.98	1.01	1.01	0.78	0.88	0.64	0.95
2-(7)	平均値	2.96	2.86	2.88	3.02	2.94	2.67	2.50	2.98	2.87	3.56	2.94
	標準偏差	1.27	1.26	1.25	1.32	1.22	1.31	1.25	1.27	1.36	1.18	1.28
2-(8)	平均値	4.00	4.27	4.29	4.40	4.04	4.35	4.16	4.25	4.59	4.60	4.29
	標準偏差	0.90	0.72	0.72	0.71	0.78	0.72	0.75	0.78	0.61	0.57	0.74
2-(9)	平均値	4.28	4.37	4.37	4.46	4.23	4.39	4.27	4.40	4.42	4.47	4.38
	標準偏差	0.76	0.69	0.71	0.66	0.74	0.70	0.76	0.70	0.77	0.75	0.71
2-(10)	平均値	4.11	4.28	4.25	4.35	4.08	4.31	4.25	4.26	4.51	4.39	4.27
	標準偏差	0.84	0.74	0.77	0.73	0.84	0.77	0.77	0.77	0.62	0.70	0.76
2-(11)	平均値	3.87	3.95	3.92	4.19	3.73	4.08	4.04	4.06	4.28	4.40	4.03
	標準偏差	0.90	0.81	0.85	0.75	0.90	0.84	0.82	0.82	0.69	0.64	0.83
2-(12)	平均値	3.82	4.03	3.99	4.21	3.79	4.21	4.07	4.02	4.33	4.50	4.07
	標準偏差	0.95	0.85	0.87	0.81	0.91	0.85	0.86	0.92	0.76	0.64	0.87
2-(13)	平均値	3.75	4.03	4.00	4.13	3.78	4.23	4.04	3.94	4.37	4.49	4.04
	標準偏差	0.96	0.82	0.84	0.83	0.91	0.82	0.83	0.93	0.66	0.64	0.86
2-(14)	平均値	3.92	4.15	4.12	4.30	3.91	4.25	4.18	4.18	4.53	4.57	4.19
	標準偏差	0.98	0.78	0.81	0.78	0.87	0.80	0.80	0.85	0.65	0.62	0.82

## ○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.59	3.55	3.60	3.39	3.64	3.41	3.47	3.42	3.35	3.31	3.48
	標準偏差	0.80	0.69	0.70	0.64	0.74	0.63	0.69	0.72	0.55	0.58	0.70
2-(3)	平均値	3.36	3.19	3.25	3.13	3.27	3.17	3.18	3.15	3.14	3.04	3.18
	標準偏差	0.77	0.56	0.58	0.47	0.60	0.49	0.50	0.53	0.43	0.38	0.54

## 2. 教員所属別（講義等科目）

### （1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員 全体	講師全体	全体
		科目数: (255)	科目数: (291)	科目数: (175)	科目数: (93)	科目数: (154)	科目数: (4)	科目数: (972)	科目数: (1094)	科目数: (2066)
1-(1)	平均値	4.68	4.70	4.63	4.76	4.65	4.75	4.69	4.66	4.67
	標準偏差	0.62	0.61	0.63	0.52	0.65	0.58	0.61	0.64	0.63
1-(2)	平均値	4.13	4.17	4.20	3.93	4.13	4.25	4.13	4.10	4.12
	標準偏差	0.90	0.89	0.84	0.95	0.97	0.75	0.91	0.96	0.93
1-(3)	平均値	1.90	1.94	2.13	1.92	1.94	1.92	1.95	1.99	1.97
	標準偏差	1.07	1.08	1.04	0.98	1.09	1.07	1.06	1.04	1.05
2-(1)	平均値	4.36	4.37	4.39	4.21	4.39	4.51	4.36	4.33	4.34
	標準偏差	0.66	0.66	0.64	0.67	0.66	0.54	0.66	0.70	0.68
2-(4)	平均値	4.26	4.28	4.31	4.07	4.34	4.33	4.26	4.11	4.20
	標準偏差	0.81	0.79	0.81	0.82	0.76	0.68	0.80	0.90	0.85
2-(5)	平均値	4.29	4.32	4.28	4.07	4.32	4.32	4.28	4.20	4.25
	標準偏差	0.73	0.71	0.73	0.77	0.76	0.66	0.73	0.77	0.75
2-(6)	平均値	3.93	3.95	4.30	3.72	4.23	3.97	3.98	4.10	4.03
	標準偏差	1.00	0.98	0.81	0.99	0.86	0.89	0.97	0.93	0.95
2-(7)	平均値	2.93	2.99	2.97	2.91	3.00	2.27	2.96	2.91	2.94
	標準偏差	1.27	1.27	1.31	1.22	1.32	1.13	1.27	1.29	1.28
2-(8)	平均値	4.32	4.35	4.37	4.09	4.43	4.46	4.32	4.24	4.29
	標準偏差	0.71	0.70	0.70	0.75	0.70	0.60	0.71	0.78	0.74
2-(9)	平均値	4.39	4.37	4.45	4.27	4.45	4.39	4.38	4.38	4.38
	標準偏差	0.69	0.73	0.66	0.73	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71
2-(10)	平均値	4.30	4.28	4.33	4.12	4.34	4.42	4.28	4.26	4.27
	標準偏差	0.72	0.75	0.72	0.80	0.73	0.76	0.75	0.78	0.76
2-(11)	平均値	4.01	4.05	4.14	3.78	4.23	4.20	4.04	4.02	4.03
	標準偏差	0.81	0.79	0.75	0.87	0.77	0.75	0.81	0.85	0.83
2-(12)	平均値	4.10	4.12	4.19	3.86	4.30	4.32	4.11	4.02	4.07
	標準偏差	0.84	0.82	0.81	0.87	0.78	0.76	0.83	0.91	0.87
2-(13)	平均値	4.10	4.13	4.13	3.85	4.31	4.31	4.11	3.96	4.04
	標準偏差	0.81	0.80	0.82	0.86	0.77	0.72	0.82	0.91	0.86
2-(14)	平均値	4.22	4.24	4.27	3.99	4.36	4.37	4.22	4.16	4.19
	標準偏差	0.77	0.77	0.78	0.83	0.76	0.68	0.78	0.86	0.82

#### ○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.52	3.50	3.45	3.62	3.33	3.29	3.49	3.47	3.48
	標準偏差	0.67	0.67	0.64	0.73	0.61	0.51	0.67	0.72	0.70
2-(3)	平均値	3.17	3.17	3.12	3.26	3.12	3.05	3.17	3.19	3.18
	標準偏差	0.54	0.50	0.47	0.58	0.43	0.42	0.51	0.56	0.54

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

(2) 講師（非常勤）所属別

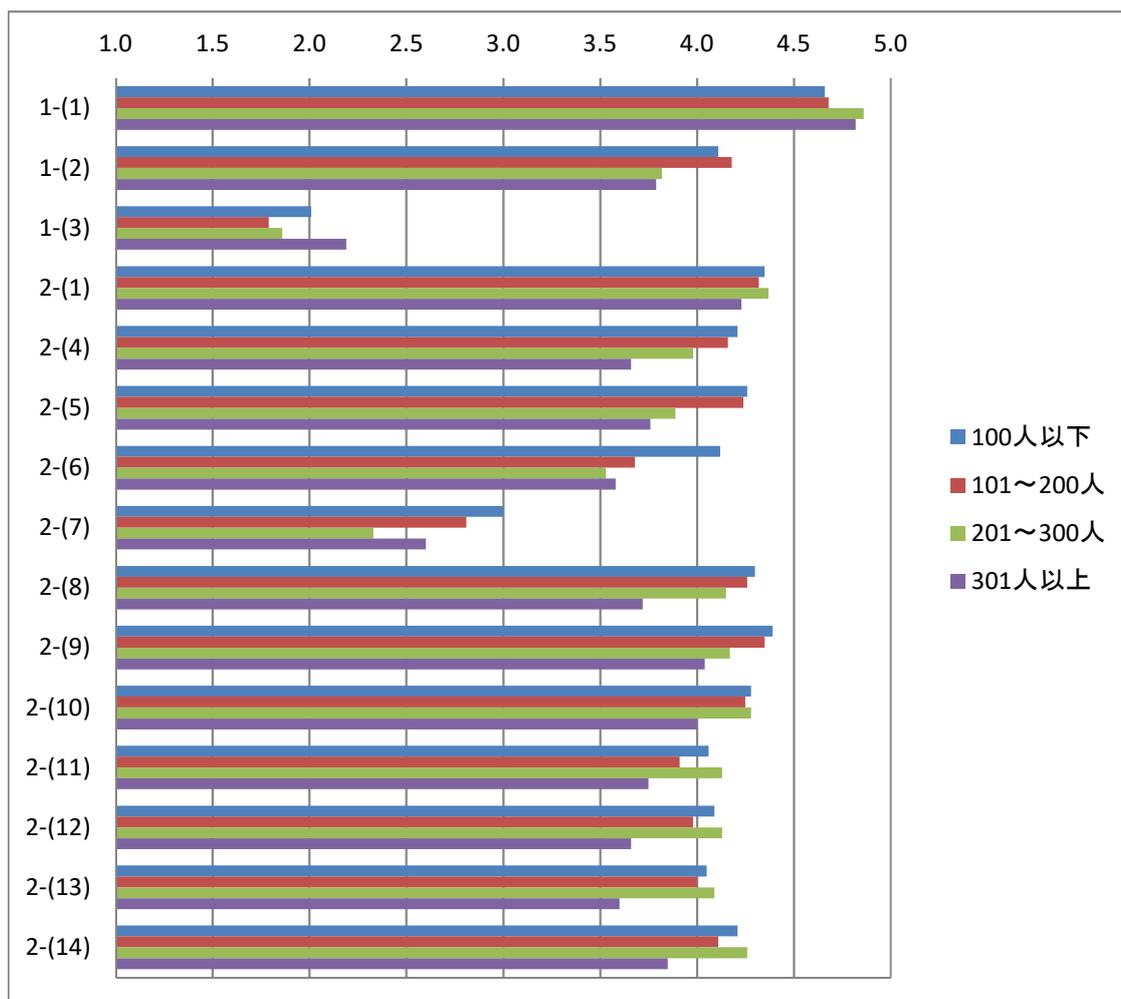
設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (301)	科目数: (253)	科目数: (237)	科目数: (83)	科目数: (181)	科目数: (39)	科目数: (1094)	科目数: (972)	科目数: (2066)
1-(1)	平均値	4.70	4.63	4.60	4.72	4.61	4.76	4.66	4.69	4.67
	標準偏差	0.61	0.69	0.65	0.58	0.66	0.54	0.64	0.61	0.63
1-(2)	平均値	4.14	4.03	4.18	3.99	4.09	4.14	4.10	4.13	4.12
	標準偏差	0.95	1.01	0.86	0.93	0.98	1.03	0.96	0.91	0.93
1-(3)	平均値	2.02	1.93	1.92	1.98	2.02	2.27	1.99	1.95	1.97
	標準偏差	1.06	1.03	0.97	1.00	1.07	1.08	1.04	1.06	1.05
2-(1)	平均値	4.36	4.35	4.41	4.16	4.26	4.40	4.33	4.36	4.34
	標準偏差	0.68	0.69	0.63	0.73	0.81	0.64	0.70	0.66	0.68
2-(4)	平均値	4.15	4.01	4.29	3.90	4.12	4.27	4.11	4.26	4.20
	標準偏差	0.88	0.96	0.78	0.94	0.94	0.75	0.90	0.80	0.85
2-(5)	平均値	4.24	4.19	4.30	4.02	4.19	4.27	4.20	4.28	4.25
	標準偏差	0.74	0.78	0.70	0.80	0.84	0.78	0.77	0.73	0.75
2-(6)	平均値	4.09	3.92	4.37	4.02	4.12	4.24	4.10	3.98	4.03
	標準偏差	0.92	1.01	0.74	0.91	0.94	0.86	0.93	0.97	0.95
2-(7)	平均値	2.96	2.80	2.92	2.86	2.92	3.21	2.91	2.96	2.94
	標準偏差	1.28	1.28	1.30	1.27	1.34	1.30	1.29	1.27	1.28
2-(8)	平均値	4.23	4.21	4.37	4.06	4.25	4.34	4.24	4.32	4.29
	標準偏差	0.79	0.75	0.71	0.79	0.84	0.72	0.78	0.71	0.74
2-(9)	平均値	4.41	4.36	4.43	4.27	4.34	4.45	4.38	4.38	4.38
	標準偏差	0.69	0.72	0.65	0.74	0.77	0.75	0.71	0.71	0.71
2-(10)	平均値	4.29	4.25	4.34	4.08	4.24	4.35	4.26	4.28	4.27
	標準偏差	0.76	0.78	0.71	0.89	0.81	0.71	0.78	0.75	0.76
2-(11)	平均値	4.05	3.94	4.16	3.79	4.07	4.25	4.02	4.04	4.03
	標準偏差	0.84	0.88	0.75	0.90	0.87	0.71	0.85	0.81	0.83
2-(12)	平均値	4.06	3.94	4.20	3.76	4.01	4.17	4.02	4.11	4.07
	標準偏差	0.89	0.92	0.81	0.97	0.98	0.83	0.91	0.83	0.87
2-(13)	平均値	3.99	3.91	4.08	3.71	3.97	4.20	3.96	4.11	4.04
	標準偏差	0.89	0.91	0.83	0.99	0.97	0.79	0.91	0.82	0.86
2-(14)	平均値	4.17	4.12	4.31	3.94	4.14	4.32	4.16	4.22	4.19
	標準偏差	0.85	0.84	0.76	0.92	0.92	0.76	0.86	0.78	0.82

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.50	3.53	3.39	3.60	3.37	3.28	3.47	3.49	3.48
	標準偏差	0.74	0.72	0.66	0.76	0.73	0.63	0.72	0.67	0.70
2-(3)	平均値	3.23	3.19	3.14	3.23	3.16	3.10	3.19	3.17	3.18
	標準偏差	0.59	0.57	0.47	0.58	0.59	0.42	0.56	0.51	0.54

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

### 3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) 2-(2) 難易度、2-(3) 進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

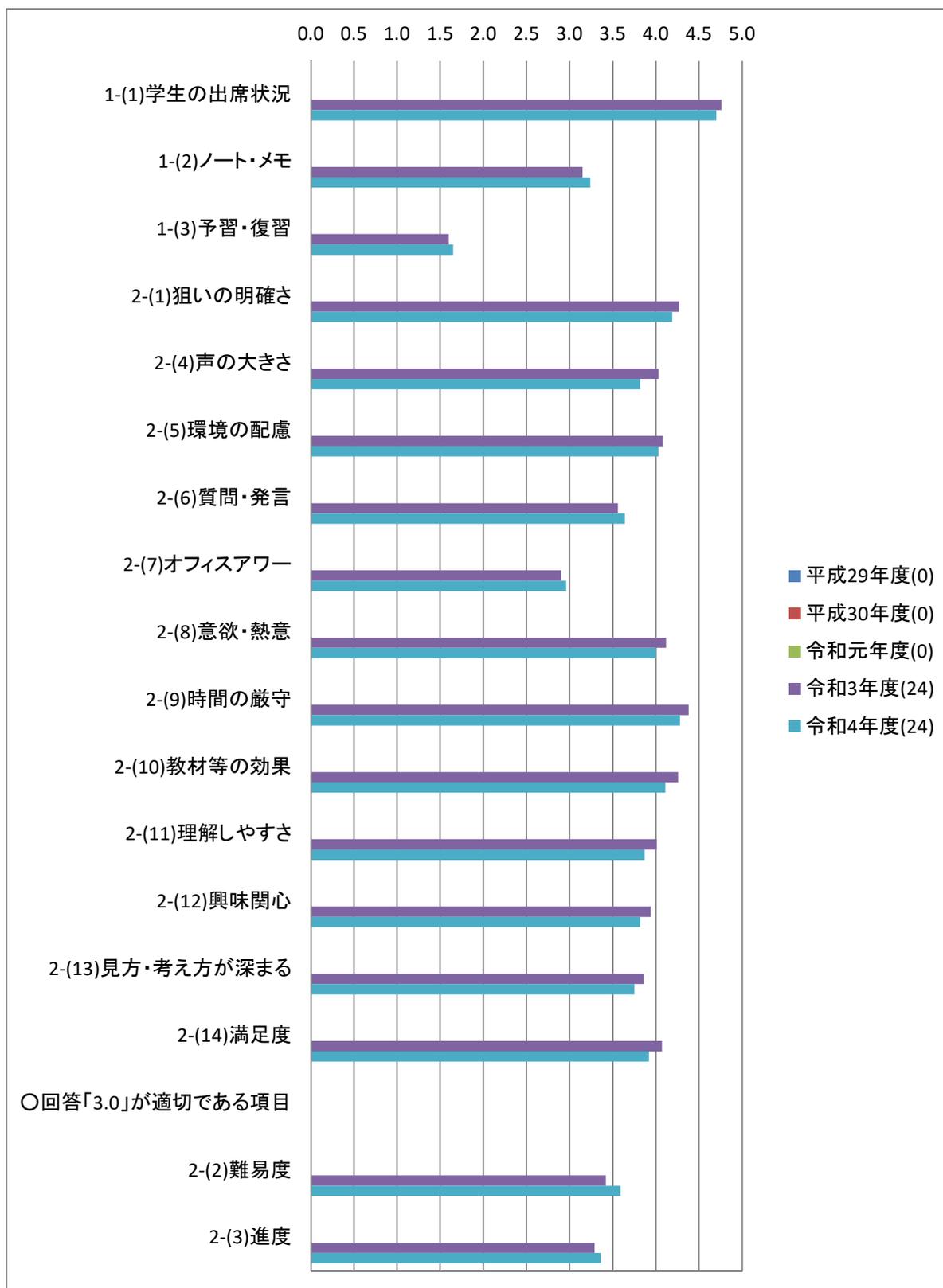
#### ○平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		1,923	114	27	2
1-(1)	学生の出席状況	4.66	4.68	4.86	4.82
1-(2)	ノート・メモ	4.11	4.18	3.82	3.79
1-(3)	予習・復習	2.01	1.79	1.86	2.19
2-(1)	狙いの明確さ	4.35	4.32	4.37	4.23
2-(4)	声の大きさ	4.21	4.16	3.98	3.66
2-(5)	環境の配慮	4.26	4.24	3.89	3.76
2-(6)	質問・発言	4.12	3.68	3.53	3.58
2-(7)	オフィスアワー	3.00	2.81	2.33	2.60
2-(8)	意欲・熱意	4.30	4.26	4.15	3.72
2-(9)	時間の厳守	4.39	4.35	4.17	4.04
2-(10)	教材等の効果	4.28	4.25	4.28	4.00
2-(11)	理解しやすさ	4.06	3.91	4.13	3.75
2-(12)	興味関心	4.09	3.98	4.13	3.66
2-(13)	見方・考え方が深まる	4.05	4.00	4.09	3.60
2-(14)	満足度	4.21	4.11	4.26	3.85

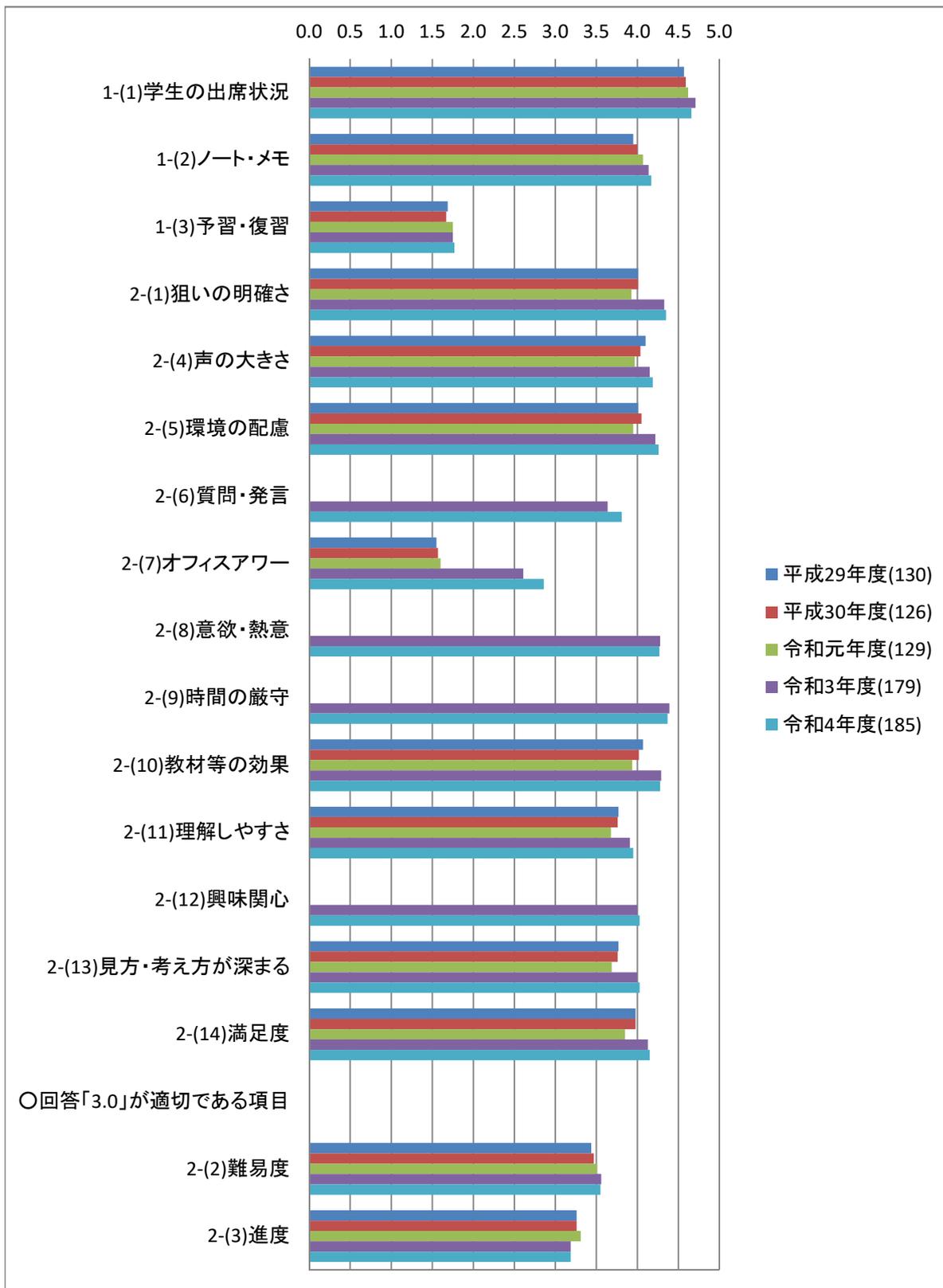
#### 4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

(1) 学科目別平均値

①商学部初期教育科目



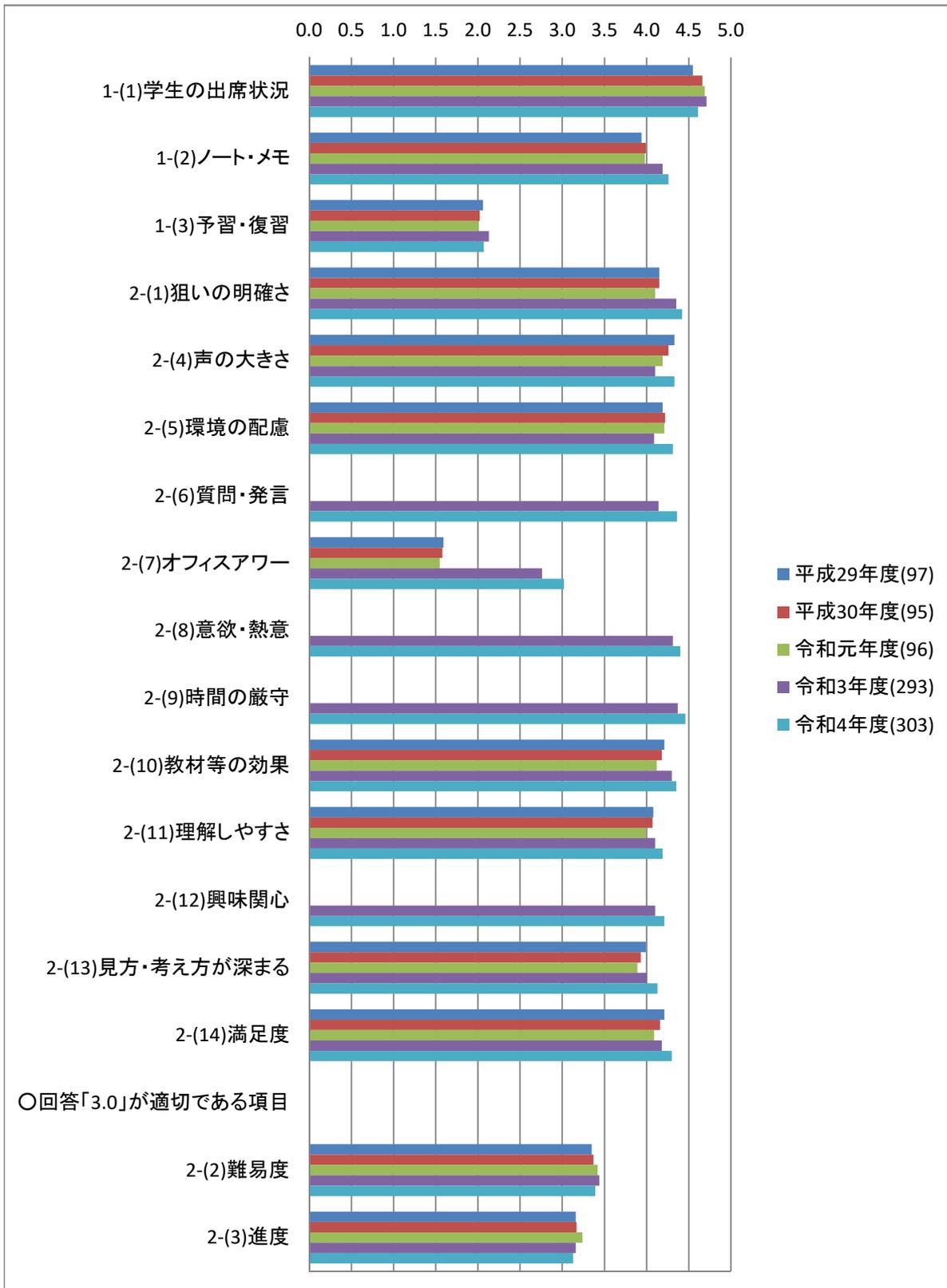
②商学部専門科目



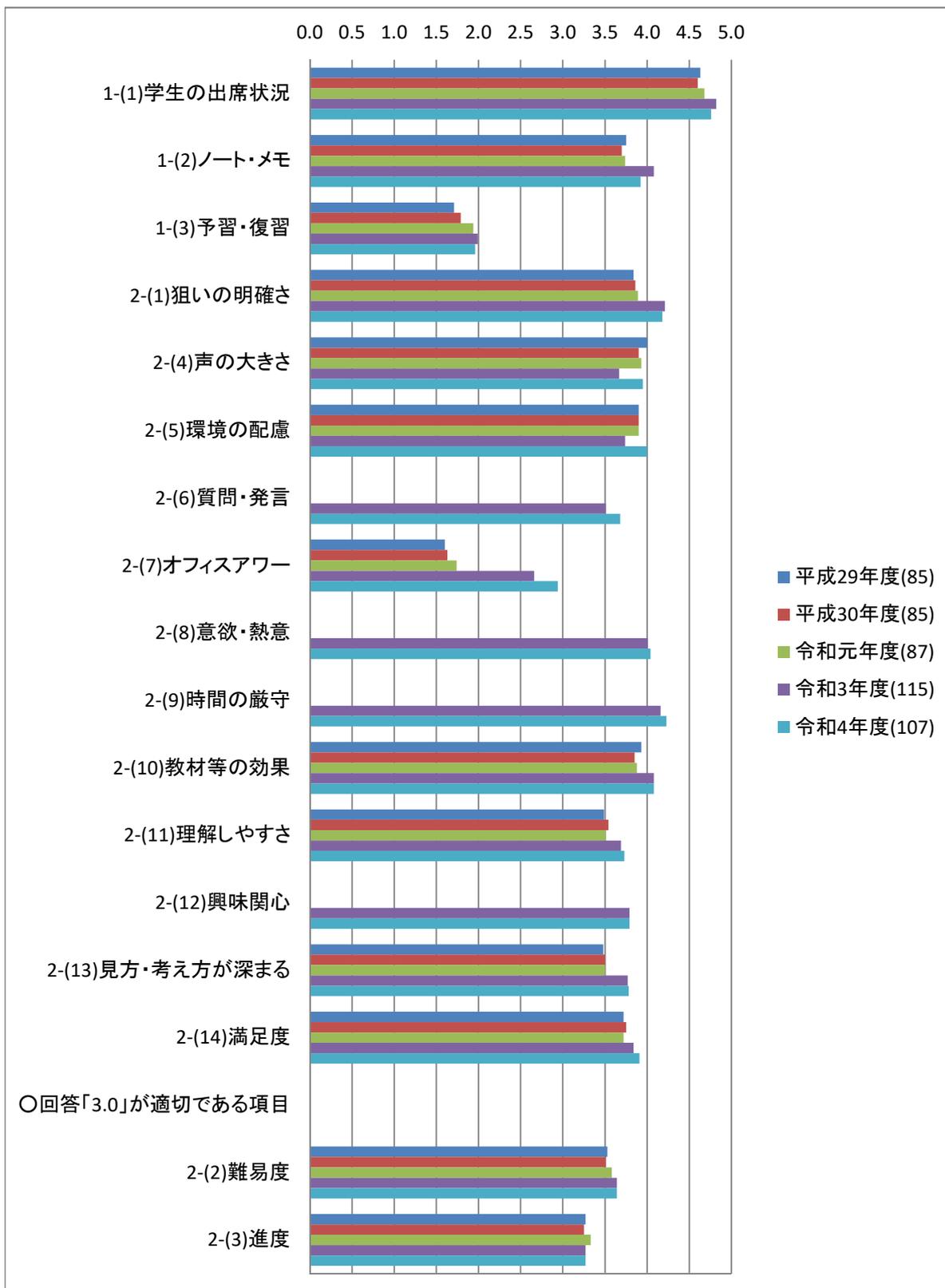
③政経学部専門科目



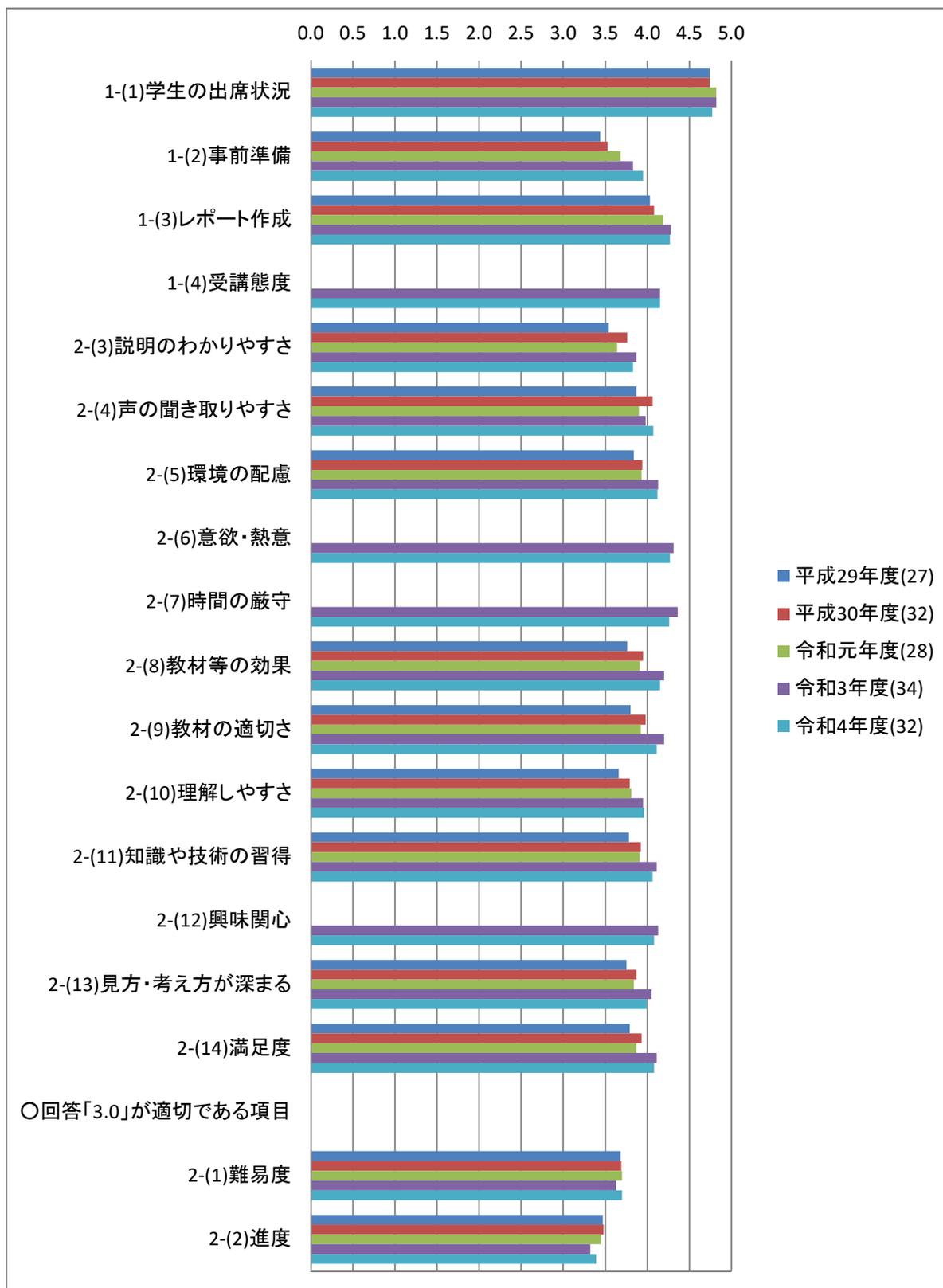
④外国語学部専門科目



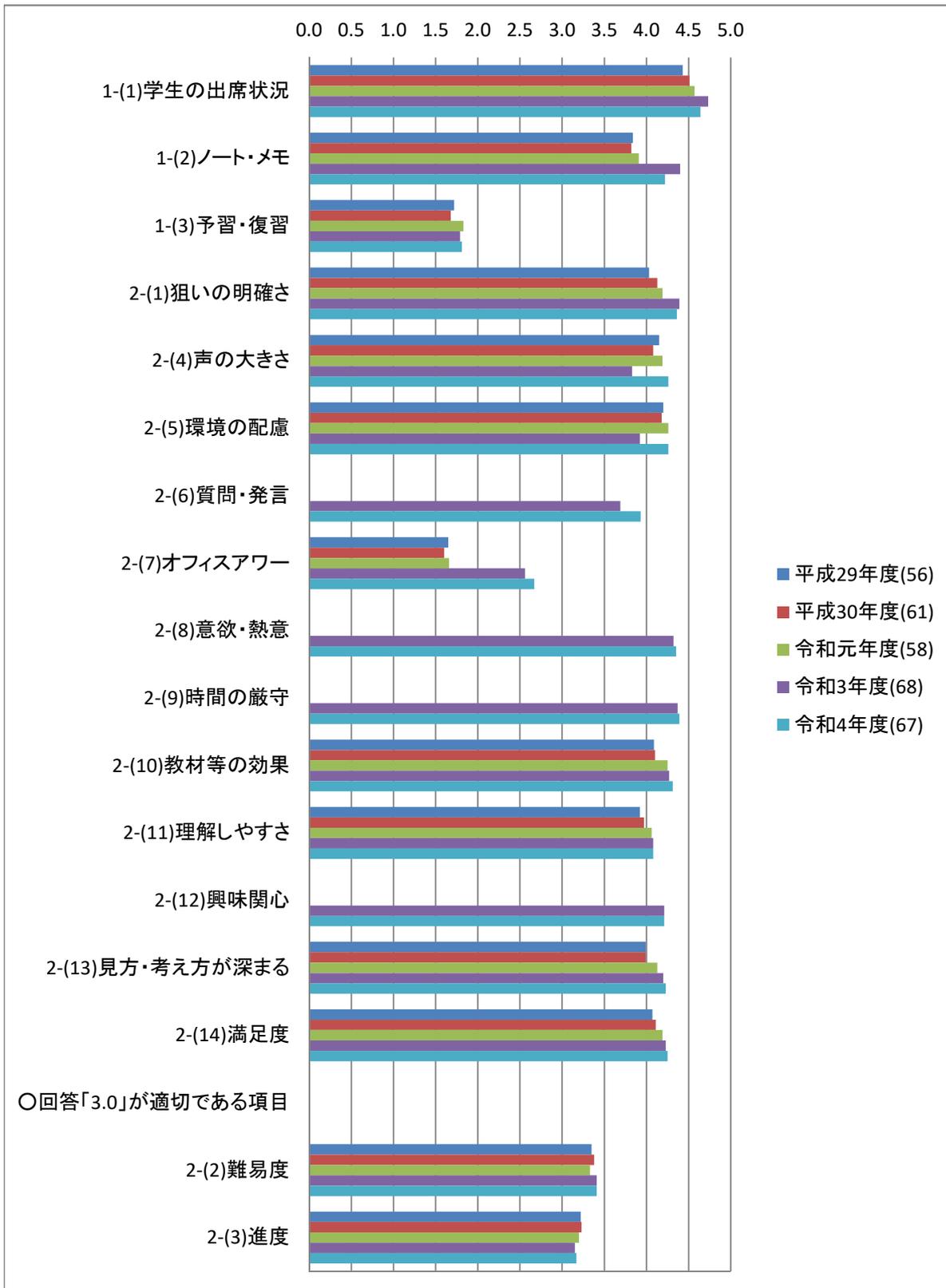
⑤工学部専門科目  
・講義等科目



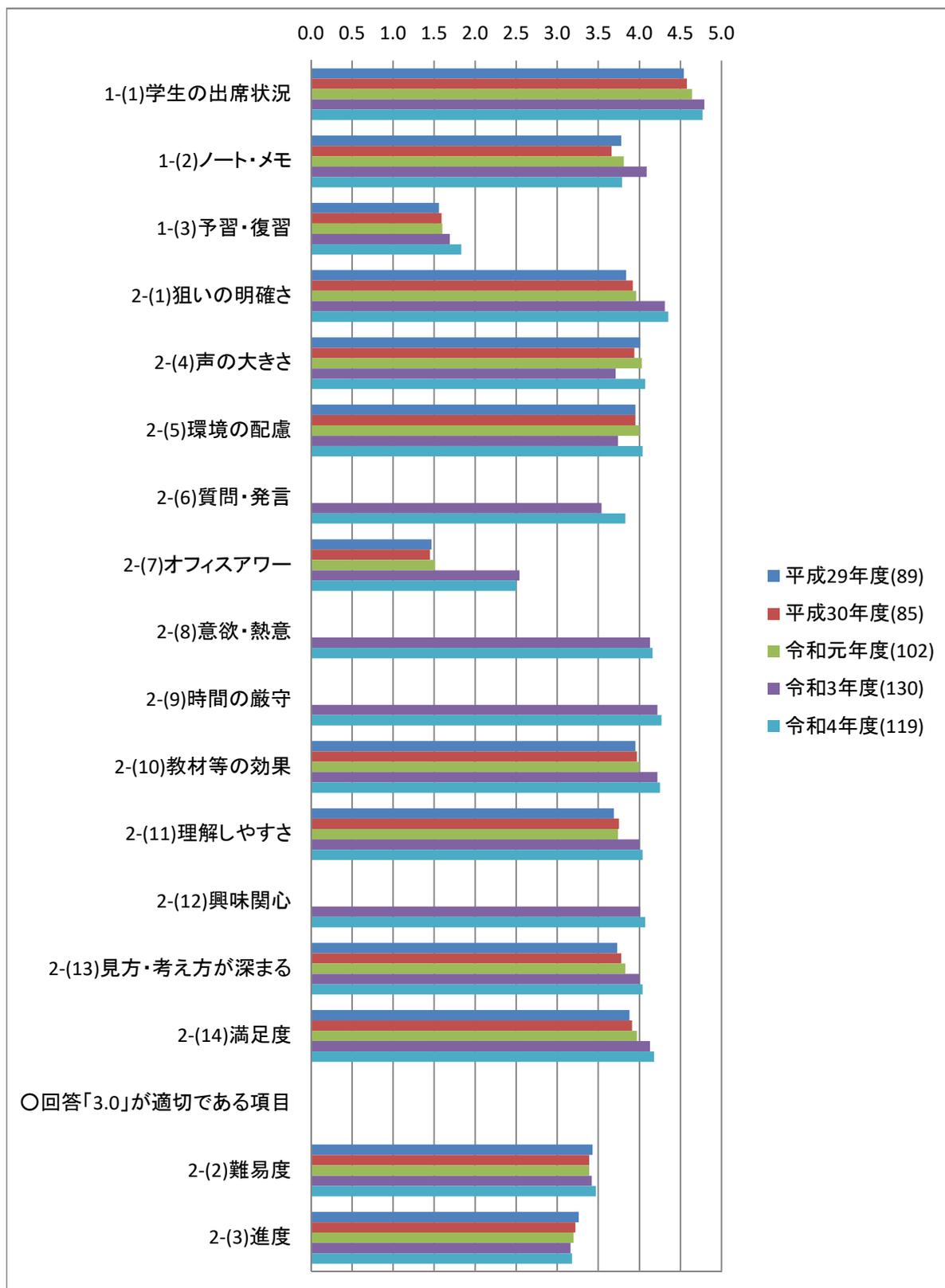
・工学部 実験・実習科目



⑥国際学部専門科目



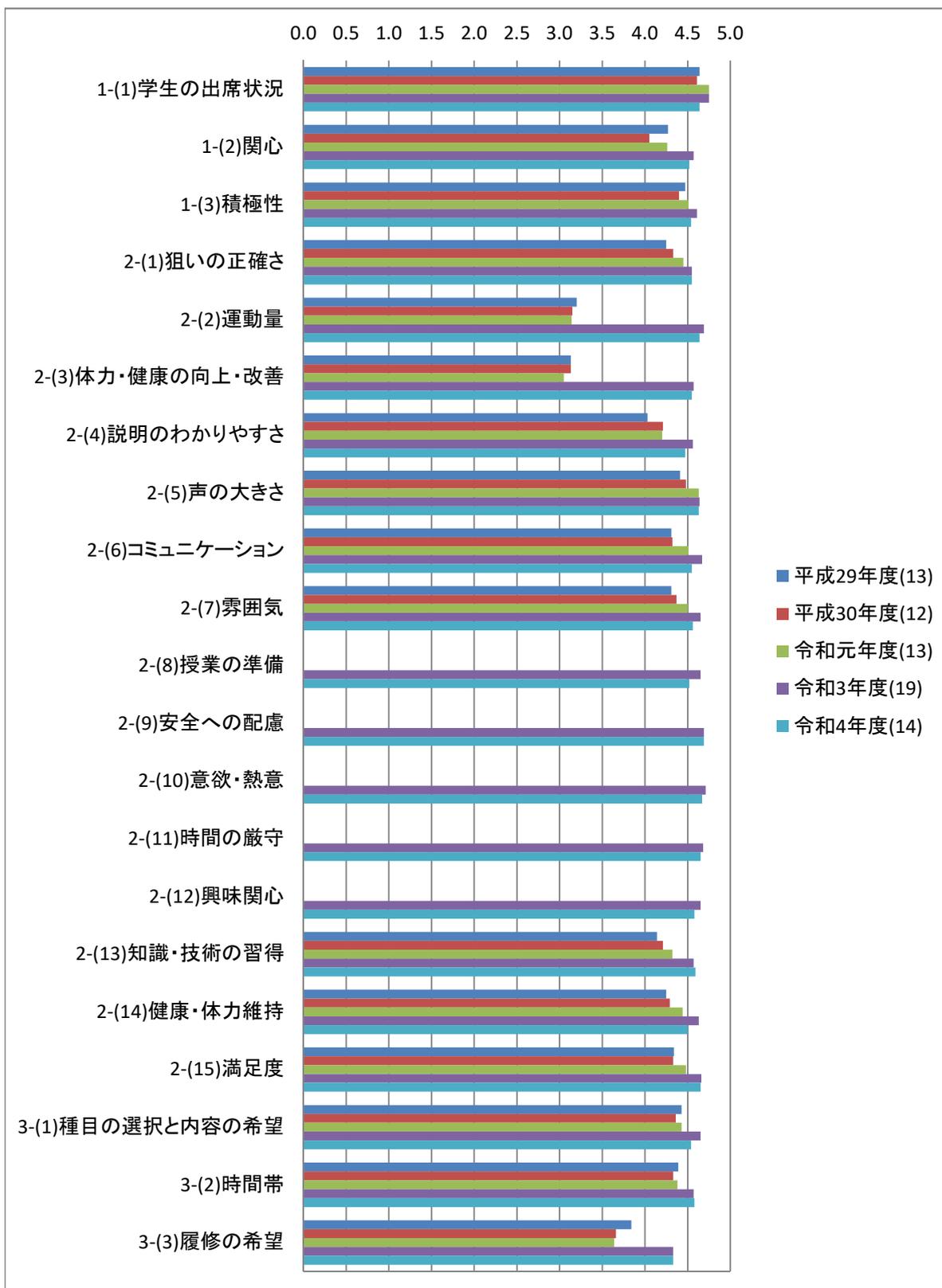
⑦教養教育科目



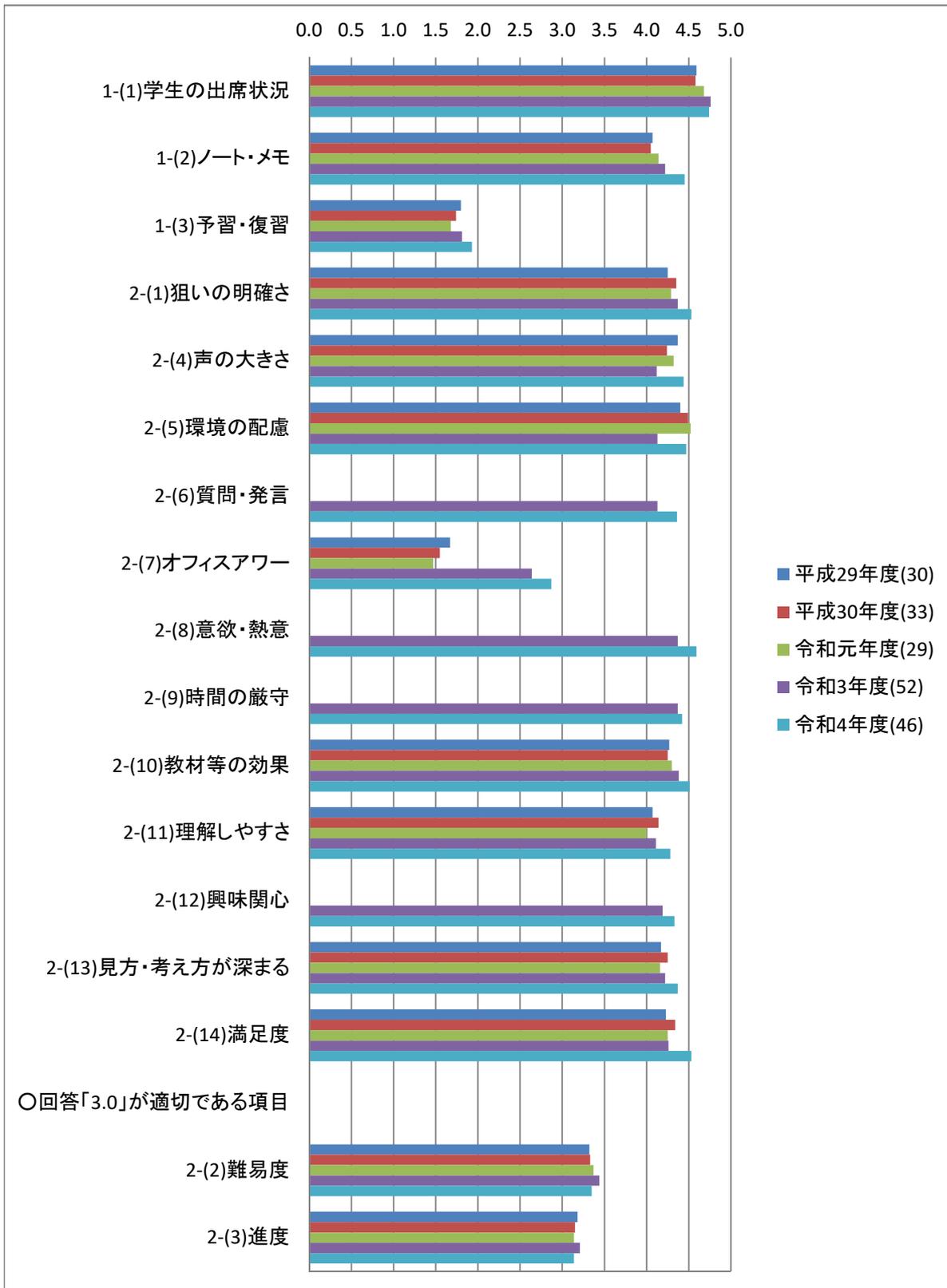
⑧外国語科目



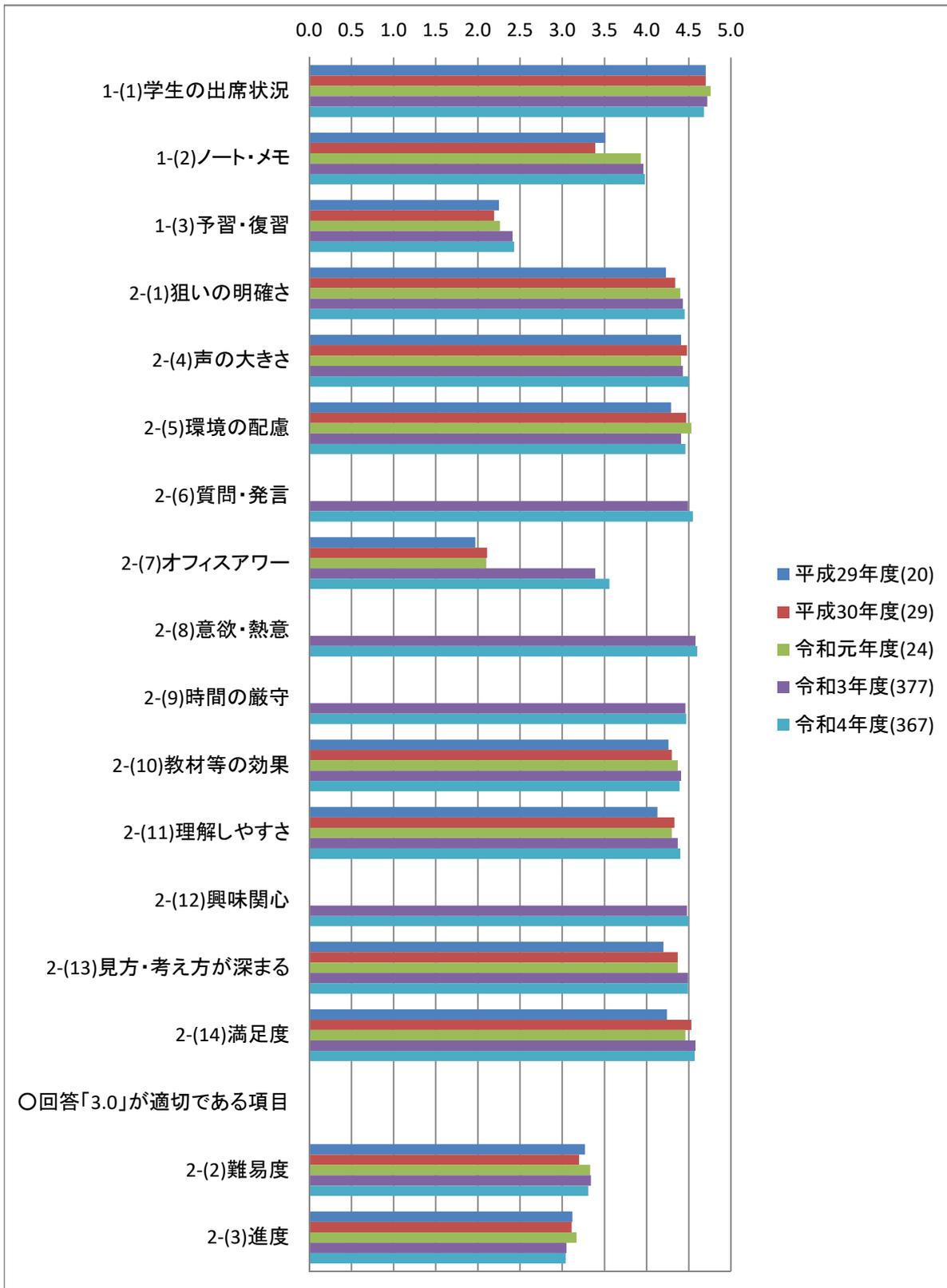
⑨スポーツ・トレーニング科目



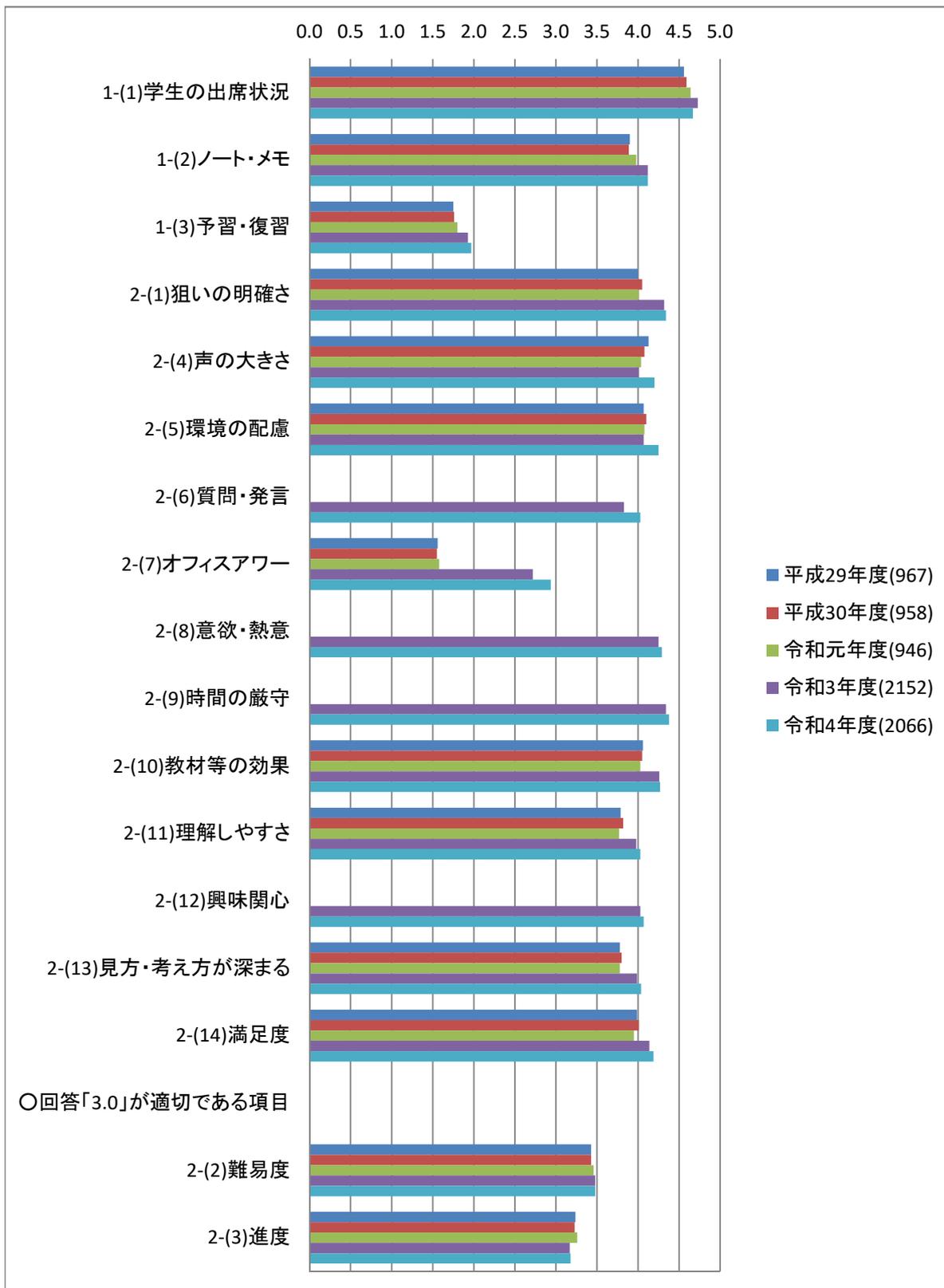
⑩教職・社教・日語科目



⑪ゼミ・外書講読科目



⑫全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差 (講義科目)

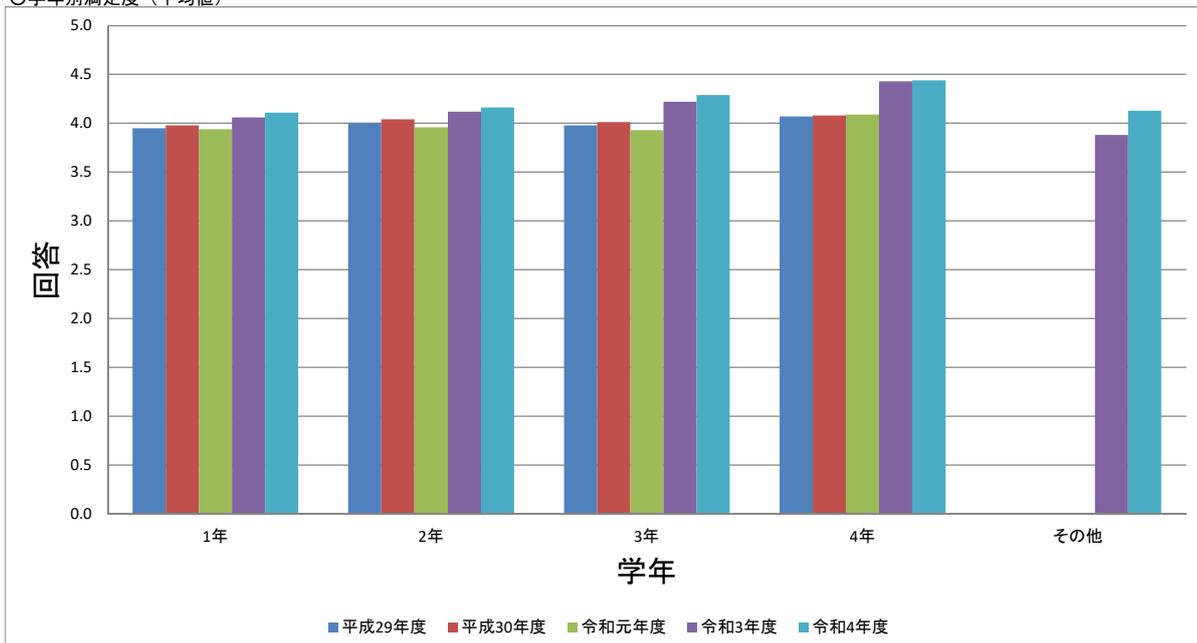
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年	その他
		回答件数:(11427)	回答件数:(9778)	回答件数:(6521)	回答件数:(2407)	回答件数:(15)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.70	4.68	4.66	4.54	4.80
	標準偏差	0.62	0.61	0.63	0.71	0.54
1-(2) ノート・メモ	平均値	4.06	4.17	4.14	4.08	4.29
	標準偏差	0.98	0.87	0.92	0.92	0.80
1-(3) 予習・復習	平均値	1.90	1.98	2.01	2.09	2.33
	標準偏差	0.99	1.05	1.09	1.16	1.14
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.32	4.32	4.39	4.44	4.27
	標準偏差	0.70	0.68	0.65	0.64	0.57
2-(4) 声の大きさ	平均値	4.12	4.18	4.27	4.42	4.21
	標準偏差	0.89	0.85	0.81	0.71	0.77
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.20	4.23	4.30	4.42	4.23
	標準偏差	0.78	0.74	0.74	0.67	0.58
2-(6) 質問・発言	平均値	3.99	4.06	4.01	4.16	4.00
	標準偏差	0.95	0.93	1.00	0.93	0.85
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.92	2.95	2.90	3.06	2.93
	標準偏差	1.29	1.28	1.28	1.28	1.29
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.22	4.27	4.36	4.46	4.40
	標準偏差	0.77	0.75	0.71	0.65	0.80
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.36	4.36	4.40	4.50	4.64
	標準偏差	0.70	0.71	0.73	0.67	0.48
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.24	4.25	4.31	4.39	4.33
	標準偏差	0.78	0.76	0.75	0.70	0.79
2-(11) 理解しやすさ	平均値	3.95	4.02	4.12	4.25	3.73
	標準偏差	0.87	0.82	0.77	0.74	0.85
2-(12) 興味関心	平均値	3.97	4.05	4.19	4.32	3.87
	標準偏差	0.91	0.87	0.81	0.76	1.09
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	3.93	4.02	4.18	4.31	3.60
	標準偏差	0.90	0.86	0.79	0.76	1.02
2-(14) 満足度	平均値	4.11	4.16	4.29	4.44	4.13
	標準偏差	0.86	0.82	0.75	0.70	1.02

○3の回答が適切である項目

2-(2) 難易度	平均値	3.54	3.48	3.43	3.37	3.67
	標準偏差	0.73	0.69	0.65	0.61	0.87
2-(3) 進捗	平均値	3.23	3.18	3.12	3.09	3.13
	標準偏差	0.59	0.53	0.47	0.42	0.62

○学年別満足度 (平均値)



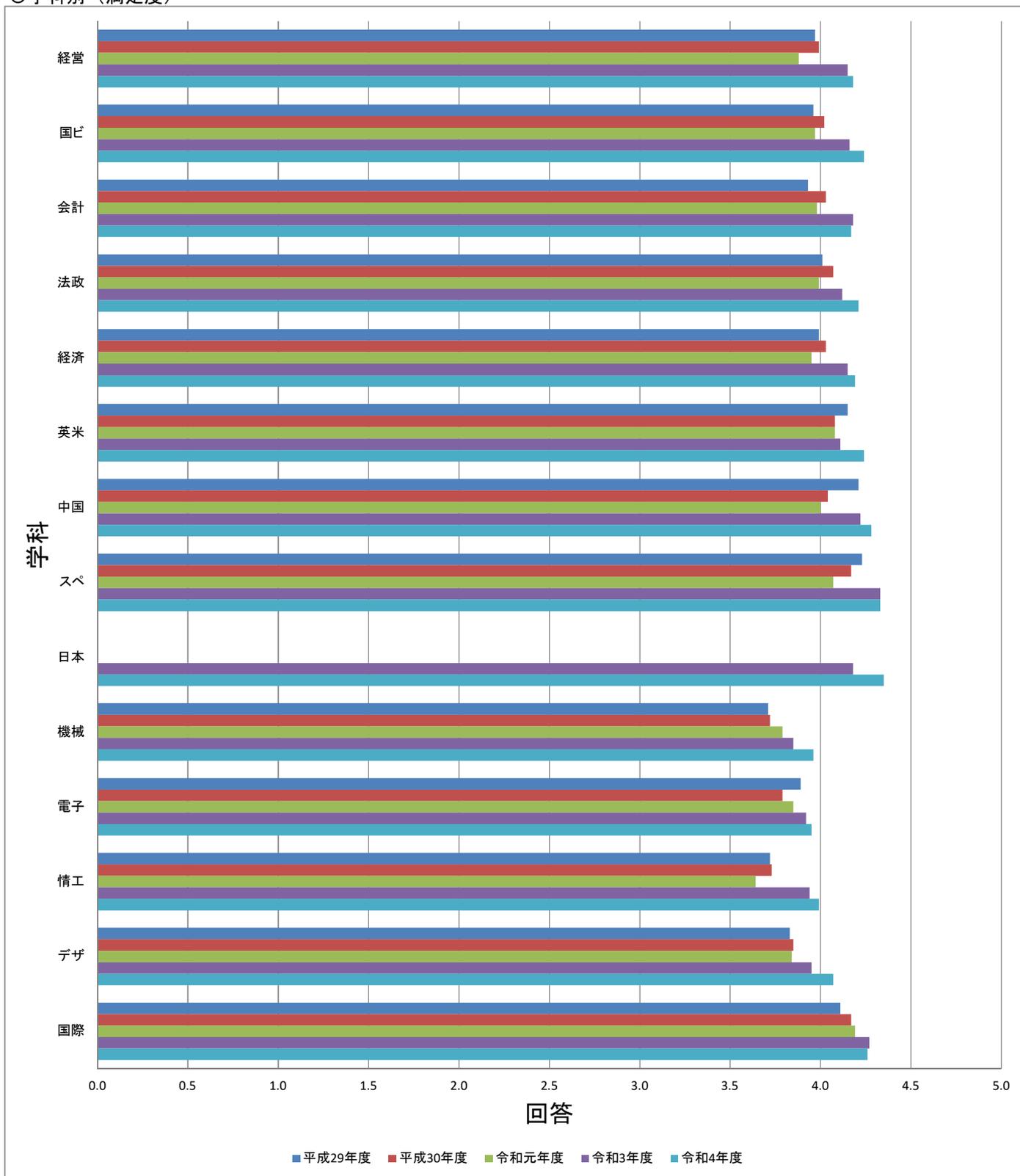
②学科別

設問項目	区分	商学部			政経学部		外国語学部				工学部				国際学部
		経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
		回答件数: (5519)	回答件数: (2118)	回答件数: (914)	回答件数: (3417)	回答件数: (6383)	回答件数: (1795)	回答件数: (733)	回答件数: (780)	回答件数: (830)	回答件数: (900)	回答件数: (990)	回答件数: (1109)	回答件数: (636)	回答件数: (4024)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.69	4.66	4.73	4.72	4.66	4.65	4.53	4.49	4.74	4.73	4.78	4.74	4.69	4.63
	標準偏差	0.62	0.63	0.58	0.59	0.66	0.63	0.70	0.70	0.53	0.56	0.53	0.56	0.55	0.65
1-(2) ノート・メモ	平均値	4.11	4.13	4.06	4.15	4.15	4.07	4.29	4.21	4.34	3.99	3.90	3.90	4.02	4.11
	標準偏差	0.93	0.94	0.92	0.91	0.92	0.96	0.80	0.80	0.77	0.91	0.96	1.00	0.83	0.98
1-(3) 予習・復習	平均値	1.91	1.99	1.91	1.90	2.02	1.93	1.92	2.04	2.33	1.87	2.00	1.84	1.97	1.98
	標準偏差	1.06	1.08	1.09	1.03	1.08	0.97	1.05	0.97	1.04	0.97	1.01	0.97	0.94	1.07
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.34	4.40	4.30	4.37	4.37	4.40	4.42	4.39	4.48	4.18	4.14	4.19	4.22	4.34
	標準偏差	0.67	0.67	0.66	0.68	0.66	0.68	0.63	0.62	0.59	0.72	0.72	0.67	0.63	0.74
2-(4) 声の大きさ	平均値	4.19	4.25	4.16	4.23	4.19	4.28	4.24	4.32	4.42	4.00	4.00	3.94	3.89	4.24
	標準偏差	0.85	0.85	0.84	0.84	0.85	0.84	0.83	0.74	0.70	0.89	0.87	0.90	0.92	0.84
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.24	4.28	4.22	4.33	4.28	4.29	4.28	4.37	4.31	4.02	4.08	3.98	4.02	4.26
	標準偏差	0.74	0.76	0.73	0.70	0.73	0.77	0.67	0.65	0.76	0.85	0.74	0.79	0.73	0.79
2-(6) 質問・発言	平均値	3.96	4.10	3.87	3.94	3.95	4.25	4.37	4.38	4.42	3.78	3.83	3.87	4.06	4.19
	標準偏差	0.98	0.97	0.97	0.99	0.98	0.88	0.69	0.72	0.71	1.03	0.92	0.97	0.81	0.89
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.95	2.95	2.74	2.82	3.06	2.67	3.21	2.98	3.35	2.97	3.15	2.64	2.65	2.89
	標準偏差	1.27	1.31	1.23	1.26	1.26	1.36	1.20	1.25	1.32	1.24	1.20	1.20	1.18	1.34
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.27	4.33	4.19	4.33	4.30	4.35	4.34	4.41	4.41	4.01	4.12	4.03	4.16	4.34
	標準偏差	0.75	0.77	0.72	0.72	0.72	0.75	0.70	0.69	0.68	0.84	0.77	0.74	0.66	0.76
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.37	4.44	4.38	4.35	4.40	4.43	4.40	4.48	4.49	4.24	4.28	4.29	4.18	4.41
	標準偏差	0.72	0.64	0.67	0.77	0.70	0.71	0.63	0.65	0.65	0.79	0.72	0.69	0.71	0.71
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.28	4.29	4.25	4.29	4.27	4.31	4.32	4.34	4.43	4.05	4.15	4.14	4.11	4.31
	標準偏差	0.73	0.79	0.77	0.77	0.76	0.79	0.67	0.70	0.65	0.87	0.81	0.79	0.80	0.76
2-(11) 理解しやすさ	平均値	4.01	4.04	3.96	4.03	4.02	4.15	4.15	4.12	4.25	3.76	3.79	3.81	3.96	4.16
	標準偏差	0.82	0.85	0.83	0.81	0.84	0.79	0.72	0.74	0.76	0.92	0.87	0.87	0.71	0.82
2-(12) 興味関心	平均値	4.05	4.12	4.00	4.09	4.06	4.17	4.13	4.22	4.30	3.71	3.84	3.82	3.93	4.19
	標準偏差	0.88	0.88	0.85	0.87	0.86	0.86	0.76	0.78	0.77	1.00	0.85	0.90	0.79	0.88
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	4.03	4.10	3.99	4.07	4.06	4.06	4.00	4.15	4.32	3.70	3.80	3.80	3.89	4.16
	標準偏差	0.85	0.87	0.82	0.85	0.84	0.89	0.78	0.82	0.74	0.99	0.86	0.91	0.83	0.87
2-(14) 満足度	平均値	4.18	4.24	4.17	4.21	4.19	4.24	4.28	4.33	4.35	3.96	3.95	3.99	4.07	4.26
	標準偏差	0.81	0.83	0.77	0.81	0.80	0.84	0.73	0.73	0.73	0.94	0.84	0.83	0.78	0.83

○3の回答が適切である項目

2-(2) 難易度	平均値	3.52	3.48	3.46	3.46	3.55	3.40	3.41	3.48	3.41	3.58	3.65	3.48	3.38	3.37
	標準偏差	0.70	0.71	0.67	0.65	0.72	0.66	0.65	0.65	0.65	0.75	0.75	0.73	0.69	0.67
2-(3) 進捗	平均値	3.19	3.18	3.12	3.12	3.24	3.13	3.15	3.12	3.09	3.23	3.33	3.16	3.11	3.15
	標準偏差	0.55	0.55	0.50	0.49	0.57	0.50	0.51	0.44	0.44	0.58	0.63	0.52	0.43	0.52

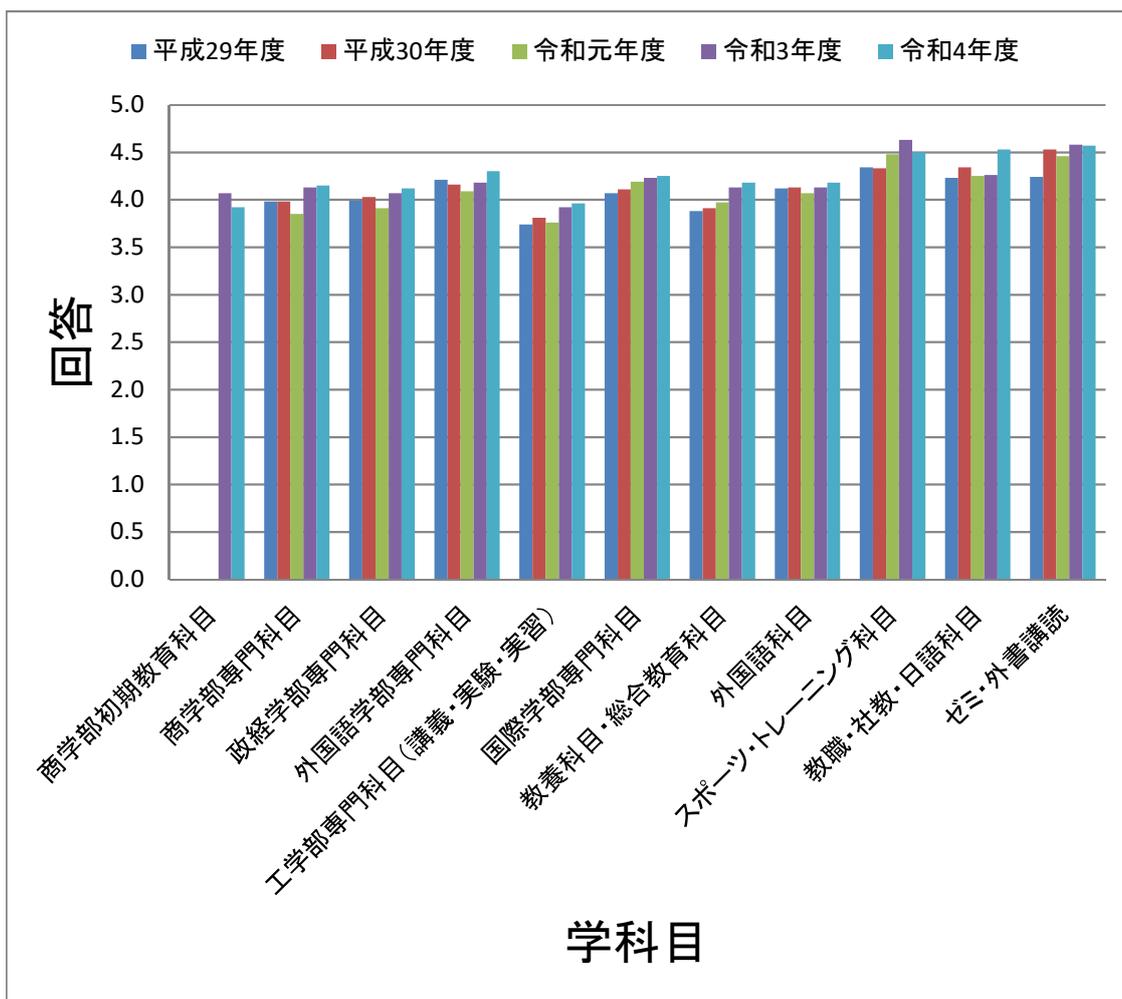
○学科別（満足度）



	経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
平成29年度	3.97	3.96	3.93	4.01	3.99	4.15	4.21	4.23	0.00	3.71	3.89	3.72	3.83	4.11
平成30年度	3.99	4.02	4.03	4.07	4.03	4.08	4.04	4.17	0.00	3.72	3.79	3.73	3.85	4.17
令和元年度	3.88	3.97	3.98	3.99	3.95	4.08	4.00	4.07	0.00	3.79	3.85	3.64	3.84	4.19
令和3年度	4.15	4.16	4.18	4.12	4.15	4.11	4.22	4.33	4.18	3.85	3.92	3.94	3.95	4.27
令和4年度	4.18	4.24	4.17	4.21	4.19	4.24	4.28	4.33	4.35	3.96	3.95	3.99	4.07	4.26

### (3) 満足度 平均値

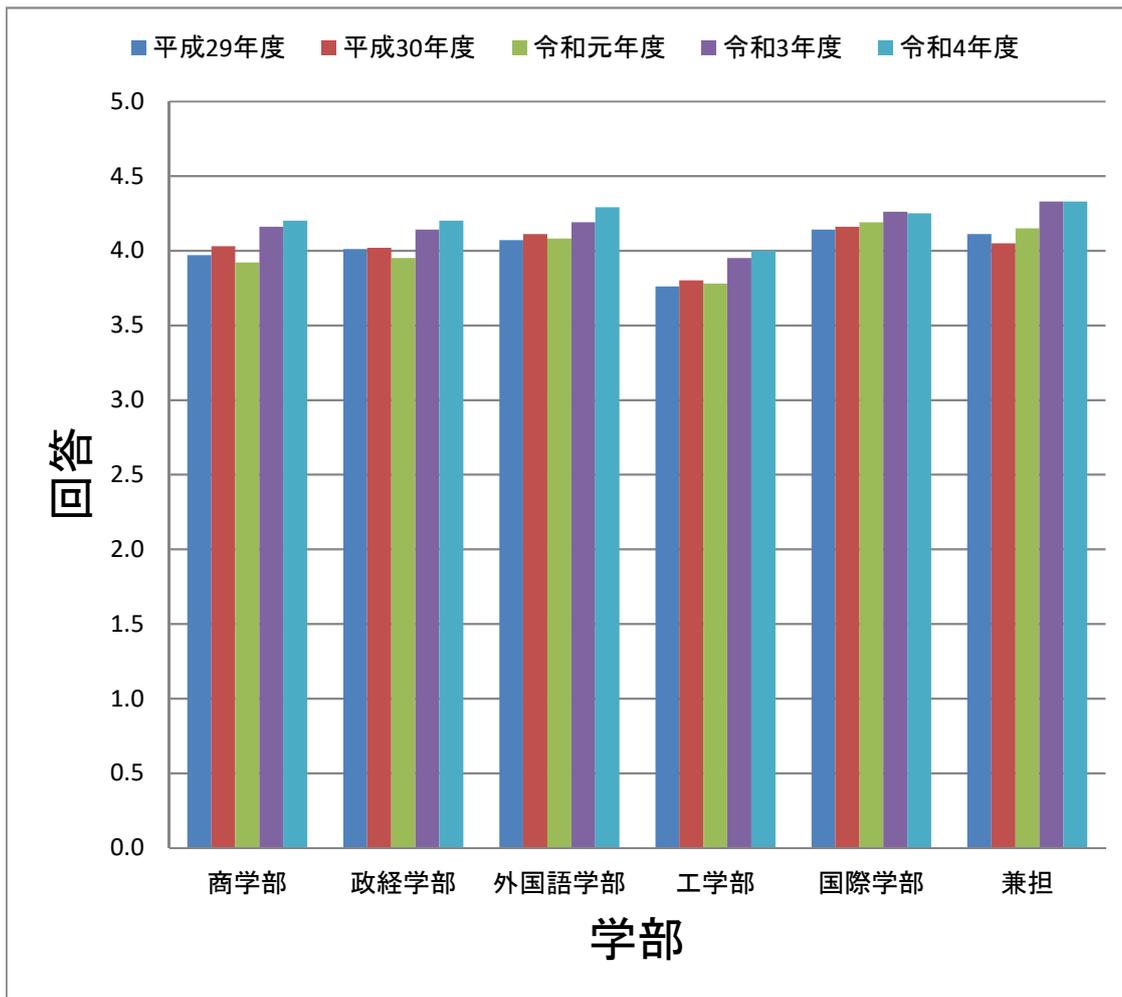
#### ① 学科目別



#### ○ 科目数

平成29年度	0	130	138	97	112	56	89	319	13	30	20
平成30年度	0	126	141	95	117	61	85	302	12	33	29
令和元年度	0	129	136	96	115	58	102	285	13	29	24
令和3年度	24	179	184	293	149	68	130	677	19	52	377
令和4年度	24	185	182	303	139	67	119	666	14	46	367

## ②所属別

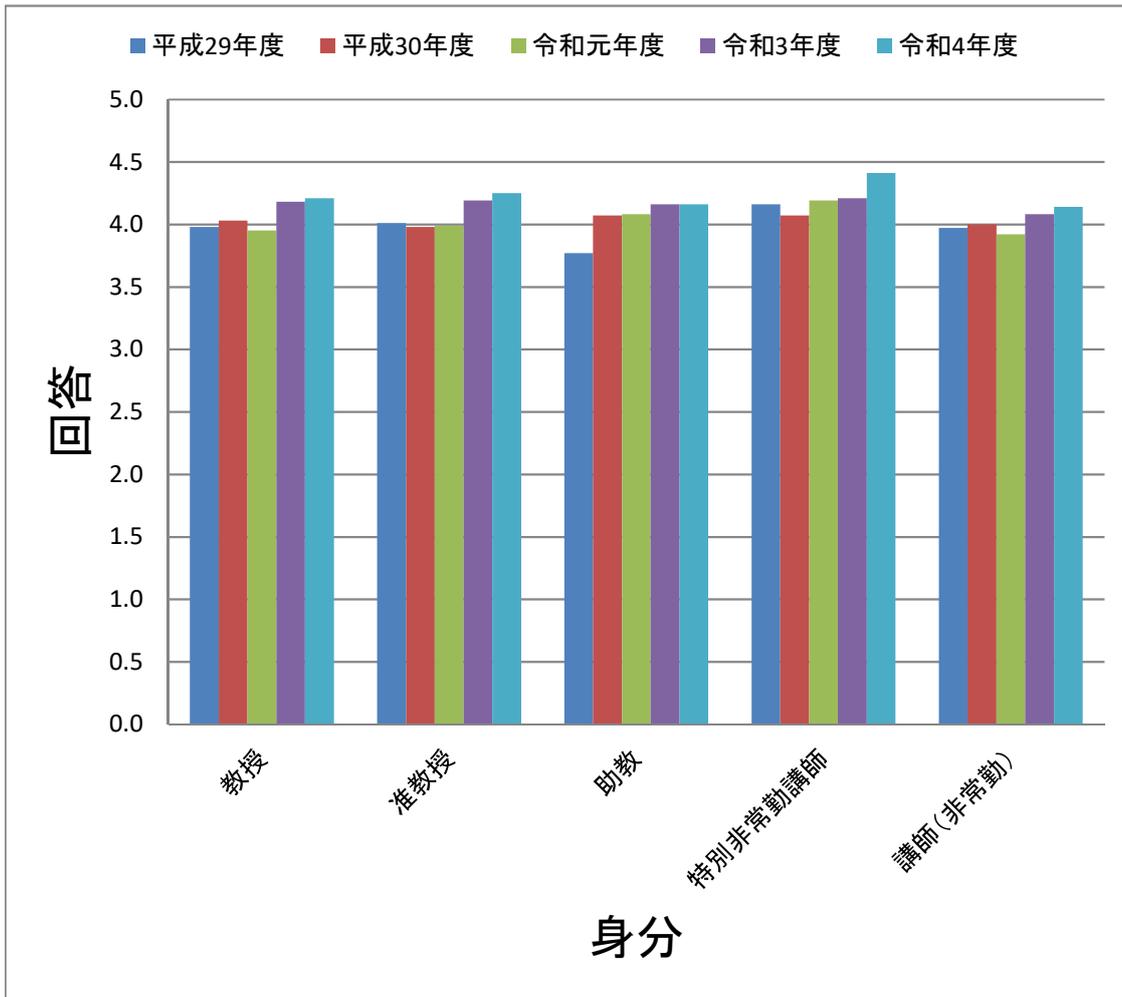


## ○人数

平成29年度	158	167	81	100	83	19
平成30年度	158	168	84	96	78	18
令和元年度	158	162	85	96	81	17
令和3年度	124	137	90	87	70	20
令和4年度	134	132	89	86	71	17

※講師（非常勤）を含む

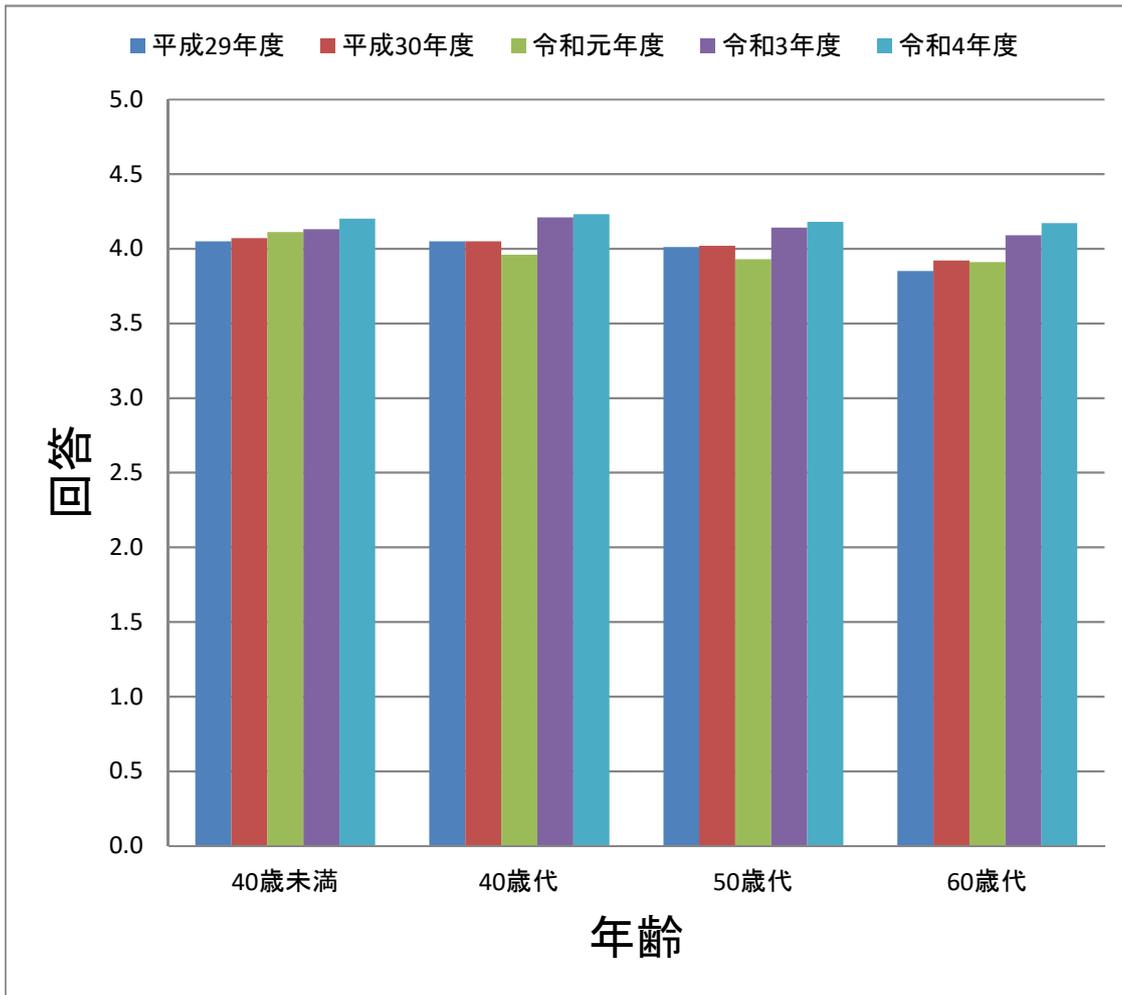
### ③身分別



### ○人数

平成29年度	156	63	2	21	366
平成30年度	148	62	7	24	361
令和元年度	148	58	10	22	361
令和3年度	155	58	12	15	282
令和4年度	146	64	10	16	289

#### ④年齢別



#### ○人数

平成29年度	78	150	205	175
平成30年度	82	148	203	169
令和元年度	66	144	191	198
令和3年度	48	117	181	182
令和4年度	50	114	188	177

## 5. 学科目別 回答の分析

### (1) 商学部初期教育科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.21%	0.41%	4.72%	18.28%	76.39%
1-(2)	15.68%	11.86%	24.79%	27.75%	19.92%
1-(3)	59.14%	23.61%	12.73%	2.26%	2.26%
2-(1)	1.44%	1.85%	10.68%	48.46%	37.58%
2-(2)	1.03%	4.31%	42.30%	39.84%	12.53%
2-(3)	1.64%	4.31%	59.75%	25.46%	8.83%
2-(4)	4.25%	8.28%	16.35%	43.74%	27.39%
2-(5)	1.29%	3.43%	16.52%	48.07%	30.69%
2-(6)	6.00%	5.78%	26.12%	42.18%	19.91%
2-(7)	18.69%	15.81%	27.31%	26.90%	11.29%
2-(8)	2.67%	3.49%	13.96%	50.92%	28.95%
2-(9)	1.07%	1.49%	8.32%	46.91%	42.22%
2-(10)	1.44%	2.46%	13.76%	47.84%	34.50%
2-(11)	1.85%	6.16%	17.86%	50.92%	23.20%
2-(12)	2.87%	6.78%	18.07%	50.31%	21.97%
2-(13)	3.90%	5.75%	21.77%	49.08%	19.51%
2-(14)	3.90%	5.13%	13.76%	49.90%	27.31%

### (2) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.19%	0.75%	5.46%	20.34%	73.25%
1-(2)	1.51%	3.28%	11.01%	44.82%	39.38%
1-(3)	51.93%	27.24%	14.60%	4.09%	2.14%
2-(1)	0.43%	0.71%	5.52%	50.54%	42.81%
2-(2)	0.41%	1.48%	49.66%	39.61%	8.84%
2-(3)	0.56%	3.23%	75.46%	17.77%	2.98%
2-(4)	1.35%	3.09%	9.97%	46.41%	39.17%
2-(5)	0.65%	1.51%	8.92%	49.45%	39.47%
2-(6)	3.54%	6.27%	22.29%	41.81%	26.08%
2-(7)	20.88%	15.82%	28.69%	25.52%	9.08%
2-(8)	0.84%	1.01%	7.92%	50.41%	39.83%
2-(9)	0.52%	1.17%	5.12%	46.69%	46.51%
2-(10)	0.79%	1.63%	7.43%	49.34%	40.81%
2-(11)	1.33%	4.22%	15.37%	56.62%	22.46%
2-(12)	1.58%	3.64%	14.35%	51.28%	29.14%
2-(13)	1.22%	3.32%	14.56%	53.13%	27.77%
2-(14)	1.18%	2.10%	10.84%	52.63%	33.25%

### (3) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.55%	0.62%	5.50%	19.86%	73.48%
1-(2)	2.69%	3.59%	10.85%	43.32%	39.55%
1-(3)	50.15%	28.58%	15.51%	3.24%	2.51%
2-(1)	0.44%	0.80%	6.30%	49.57%	42.89%
2-(2)	0.24%	1.75%	45.97%	41.65%	10.40%
2-(3)	0.29%	2.49%	73.68%	19.22%	4.31%
2-(4)	1.85%	3.43%	11.00%	45.37%	38.35%
2-(5)	0.71%	1.11%	9.67%	47.92%	40.59%
2-(6)	3.86%	6.54%	26.92%	40.64%	22.04%
2-(7)	20.41%	14.86%	30.62%	24.85%	9.27%
2-(8)	0.78%	0.93%	7.85%	49.06%	41.38%
2-(9)	0.70%	1.19%	5.71%	45.31%	47.09%
2-(10)	1.00%	1.75%	8.77%	47.72%	40.76%
2-(11)	1.84%	4.04%	17.11%	54.54%	22.46%
2-(12)	1.84%	4.01%	15.29%	51.36%	27.51%
2-(13)	1.73%	2.99%	15.84%	52.10%	27.34%
2-(14)	1.46%	2.46%	11.41%	51.79%	32.88%

## (4) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.14%	0.27%	7.45%	23.13%	69.01%
1-(2)	1.31%	2.50%	7.54%	46.15%	42.49%
1-(3)	34.80%	33.80%	23.88%	4.91%	2.61%
2-(1)	0.21%	0.69%	5.25%	44.96%	48.90%
2-(2)	0.38%	2.54%	59.23%	33.01%	4.84%
2-(3)	0.17%	2.95%	82.57%	12.46%	1.85%
2-(4)	0.97%	2.20%	7.49%	41.87%	47.47%
2-(5)	0.62%	1.39%	7.84%	46.64%	43.51%
2-(6)	0.89%	1.86%	7.26%	40.39%	49.59%
2-(7)	19.32%	13.83%	26.87%	25.63%	14.34%
2-(8)	0.69%	1.06%	6.25%	41.94%	50.07%
2-(9)	0.31%	1.08%	4.14%	41.42%	53.04%
2-(10)	0.75%	1.48%	6.28%	44.72%	46.77%
2-(11)	0.82%	2.30%	9.06%	53.05%	34.76%
2-(12)	1.27%	2.37%	9.75%	47.70%	38.92%
2-(13)	1.48%	2.20%	13.49%	47.87%	34.97%
2-(14)	1.20%	2.06%	6.62%	46.26%	43.86%

## (5) 工学部専門科目（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.04%	0.04%	4.16%	15.83%	79.92%
1-(2)	2.52%	5.62%	17.00%	47.52%	27.33%
1-(3)	41.25%	30.29%	22.23%	4.08%	2.15%
2-(1)	0.66%	1.05%	8.59%	59.32%	30.38%
2-(2)	0.70%	1.89%	42.09%	43.10%	12.23%
2-(3)	0.35%	2.46%	71.59%	21.17%	4.43%
2-(4)	1.91%	4.45%	16.05%	51.52%	26.08%
2-(5)	1.23%	2.61%	15.71%	55.37%	25.07%
2-(6)	4.20%	6.43%	24.52%	46.71%	18.14%
2-(7)	17.01%	16.88%	29.68%	27.53%	8.90%
2-(8)	1.71%	1.62%	13.68%	57.12%	25.87%
2-(9)	0.64%	2.42%	7.42%	51.88%	37.64%
2-(10)	2.10%	2.54%	10.96%	53.92%	30.47%
2-(11)	3.07%	5.92%	21.09%	54.76%	15.17%
2-(12)	3.24%	5.00%	19.38%	53.79%	18.59%
2-(13)	3.38%	4.56%	20.25%	54.01%	17.80%
2-(14)	3.07%	3.07%	15.08%	57.04%	21.74%

## (6) 工学部専門科目（実験・実習科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.20%	0.10%	3.77%	13.86%	82.06%
1-(2)	2.65%	5.30%	17.33%	44.24%	30.48%
1-(3)	0.51%	1.53%	9.38%	47.40%	41.18%
1-(4)	0.10%	2.55%	16.92%	42.81%	37.61%
2-(1)	0.10%	2.14%	37.92%	47.71%	12.13%
2-(2)	0.61%	2.75%	60.75%	28.85%	7.03%
2-(3)	2.04%	6.32%	17.84%	54.03%	19.78%
2-(4)	1.07%	3.43%	11.48%	55.58%	28.43%
2-(5)	0.54%	1.18%	11.72%	58.60%	27.96%
2-(6)	0.41%	0.71%	7.75%	53.52%	37.61%
2-(7)	0.76%	1.52%	6.93%	52.16%	38.64%
2-(8)	1.02%	2.75%	8.46%	56.07%	31.70%
2-(9)	0.71%	1.53%	11.93%	58.00%	27.83%
2-(10)	1.53%	3.36%	14.58%	58.82%	21.71%
2-(11)	0.82%	2.34%	11.62%	60.04%	25.18%
2-(12)	1.63%	2.04%	13.05%	53.52%	29.77%
2-(13)	1.22%	3.36%	15.29%	55.35%	24.77%
2-(14)	1.12%	3.06%	10.91%	56.07%	28.85%

## (7) 国際学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.25%	0.59%	5.52%	22.09%	71.55%
1-(2)	2.50%	3.00%	9.90%	38.80%	45.80%
1-(3)	49.71%	28.95%	14.48%	4.27%	2.59%
2-(1)	0.17%	0.75%	7.11%	46.61%	45.36%
2-(2)	0.25%	1.59%	60.25%	32.30%	5.61%
2-(3)	0.08%	1.92%	81.51%	13.81%	2.68%
2-(4)	1.35%	2.50%	8.44%	44.27%	43.44%
2-(5)	0.95%	1.38%	10.37%	45.08%	42.22%
2-(6)	3.32%	5.35%	19.14%	39.14%	33.05%
2-(7)	26.86%	17.32%	27.53%	18.83%	9.46%
2-(8)	1.00%	0.75%	6.11%	46.11%	46.03%
2-(9)	0.74%	1.37%	4.11%	45.26%	48.53%
2-(10)	1.09%	1.67%	7.20%	45.19%	44.85%
2-(11)	1.67%	3.43%	11.21%	52.30%	31.38%
2-(12)	1.92%	2.68%	8.20%	47.36%	39.83%
2-(13)	1.84%	2.18%	7.20%	48.87%	39.92%
2-(14)	1.42%	2.43%	6.61%	48.62%	40.92%

## (8) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.39%	0.43%	3.53%	12.91%	82.74%
1-(2)	6.15%	6.15%	18.06%	42.02%	27.62%
1-(3)	47.43%	30.28%	16.44%	3.64%	2.21%
2-(1)	0.57%	0.50%	5.85%	49.82%	43.26%
2-(2)	0.50%	2.07%	54.99%	34.45%	7.99%
2-(3)	0.25%	0.68%	83.31%	12.23%	3.53%
2-(4)	2.21%	2.81%	15.67%	44.72%	34.58%
2-(5)	1.39%	1.67%	19.61%	46.07%	31.27%
2-(6)	4.27%	3.59%	25.24%	39.13%	27.77%
2-(7)	30.21%	18.51%	29.03%	15.66%	6.60%
2-(8)	0.82%	1.25%	12.70%	52.03%	33.20%
2-(9)	0.74%	0.83%	11.86%	43.56%	43.00%
2-(10)	1.03%	1.43%	9.52%	47.65%	40.37%
2-(11)	1.50%	3.71%	11.66%	55.85%	27.28%
2-(12)	1.96%	3.25%	11.77%	51.53%	31.49%
2-(13)	1.71%	2.71%	14.05%	52.43%	29.10%
2-(14)	1.57%	1.93%	9.38%	51.50%	35.63%

## (9) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.22%	0.45%	5.97%	19.75%	73.61%
1-(2)	1.56%	2.64%	9.85%	44.38%	41.56%
1-(3)	33.91%	32.16%	25.44%	5.47%	3.02%
2-(1)	0.88%	0.81%	6.41%	48.33%	43.57%
2-(2)	0.87%	3.51%	56.28%	31.90%	7.44%
2-(3)	0.72%	2.74%	79.98%	13.68%	2.88%
2-(4)	1.64%	3.04%	10.99%	45.23%	39.11%
2-(5)	0.98%	1.38%	9.50%	49.82%	38.32%
2-(6)	1.03%	1.51%	8.93%	43.65%	44.88%
2-(7)	18.63%	14.26%	29.21%	26.11%	11.78%
2-(8)	1.23%	1.52%	9.32%	47.22%	40.72%
2-(9)	0.62%	1.23%	5.03%	44.04%	49.08%
2-(10)	1.21%	1.47%	8.19%	48.04%	41.09%
2-(11)	1.57%	3.05%	12.62%	53.47%	29.30%
2-(12)	2.69%	3.47%	14.79%	47.66%	31.39%
2-(13)	2.82%	3.83%	17.83%	47.71%	27.81%
2-(14)	2.08%	2.32%	9.27%	47.94%	38.39%

## (10) スポーツ・トレーニング科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	1.21%	0	4.85%	21.82%	72.12%
1-(2)	0	1.21%	3.03%	38.18%	57.58%
1-(3)	0	0.61%	3.03%	38.18%	58.18%
2-(1)	0	0.61%	2.42%	38.79%	58.18%
2-(2)	0	1.82%	1.21%	28.48%	68.48%
2-(3)	0	0	8.48%	28.48%	63.03%
2-(4)	1.21%	0	6.67%	35.15%	56.97%
2-(5)	0	0.63%	1.27%	32.28%	65.82%
2-(6)	1.21%	0	1.82%	36.36%	60.61%
2-(7)	0.61%	1.82%	1.82%	32.73%	63.03%
2-(8)	0.61%	0.61%	6.67%	30.91%	61.21%
2-(9)	0.61%	0	0.61%	27.27%	71.52%
2-(10)	0	0.61%	0.61%	29.70%	69.09%
2-(11)	0	1.26%	0.63%	29.56%	68.55%
2-(12)	0.61%	0	3.64%	32.73%	63.03%
2-(13)	0	0	2.42%	36.36%	61.21%
2-(14)	0	0.61%	4.24%	40.00%	55.15%
2-(15)	0	0	1.21%	32.12%	66.67%
3-(1)	0	0.61%	2.42%	39.39%	57.58%
3-(2)	0	1.25%	1.88%	35.00%	61.88%
3-(3)	0	1.21%	15.76%	32.12%	50.91%

## (11) 教職・社教・日語科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0	0.45%	3.61%	17.16%	78.78%
1-(2)	0.48%	1.43%	4.52%	39.52%	54.05%
1-(3)	39.73%	37.47%	16.03%	3.84%	2.93%
2-(1)	0.23%	0	3.16%	39.95%	56.66%
2-(2)	0	1.13%	66.14%	29.80%	2.93%
2-(3)	0	1.58%	84.65%	12.19%	1.58%
2-(4)	0	1.72%	4.42%	41.52%	52.33%
2-(5)	0.25%	0.49%	5.64%	39.71%	53.92%
2-(6)	2.45%	2.21%	5.88%	36.27%	53.19%
2-(7)	24.83%	12.87%	26.41%	22.57%	13.32%
2-(8)	0.45%	0.23%	2.93%	32.73%	63.66%
2-(9)	1.22%	1.71%	5.37%	37.32%	54.39%
2-(10)	0.45%	0.68%	2.26%	40.63%	55.98%
2-(11)	0	1.81%	8.13%	50.79%	39.28%
2-(12)	0.90%	1.58%	7.67%	42.89%	46.95%
2-(13)	0.23%	0.45%	7.67%	44.92%	46.73%
2-(14)	0.45%	0.90%	2.93%	36.79%	58.92%

## (12) ゼミ・外書講読

設問/回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.15%	0.42%	6.34%	17.17%	75.92%
1-(2)	3.29%	5.36%	15.52%	41.79%	34.05%
1-(3)	32.14%	22.96%	24.88%	9.52%	10.48%
2-(1)	0.31%	0.69%	5.95%	39.44%	53.61%
2-(2)	0.23%	1.54%	69.39%	25.04%	3.80%
2-(3)	0.19%	3.26%	90.13%	5.07%	1.34%
2-(4)	0.20%	0.80%	4.57%	38.12%	56.31%
2-(5)	0.36%	0.52%	5.46%	40.54%	53.13%
2-(6)	0.28%	0.48%	4.76%	32.68%	61.80%
2-(7)	7.99%	9.87%	23.23%	35.91%	23.00%
2-(8)	0.19%	0.23%	2.53%	33.95%	63.10%
2-(9)	1.00%	1.52%	5.12%	34.36%	58.00%
2-(10)	0.46%	0.54%	8.60%	40.63%	49.77%
2-(11)	0.23%	0.65%	5.22%	46.89%	47.00%
2-(12)	0.35%	0.58%	4.34%	38.63%	56.11%
2-(13)	0.23%	0.65%	4.84%	38.17%	56.11%
2-(14)	0.31%	0.61%	3.53%	32.95%	62.60%

## (13) 全体 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.26%	0.48%	5.54%	19.06%	74.65%
1-(2)	2.51%	3.75%	11.73%	43.72%	38.29%
1-(3)	42.53%	29.61%	19.90%	4.75%	3.22%
2-(1)	0.54%	0.76%	6.26%	48.58%	43.85%
2-(2)	0.50%	2.26%	53.68%	35.58%	7.99%
2-(3)	0.42%	2.60%	78.73%	15.07%	3.17%
2-(4)	1.49%	2.98%	10.37%	44.80%	40.36%
2-(5)	0.80%	1.39%	9.88%	48.08%	39.84%
2-(6)	2.52%	3.98%	16.81%	41.10%	35.60%
2-(7)	19.82%	14.91%	28.53%	25.40%	11.34%
2-(8)	0.95%	1.14%	8.45%	47.39%	42.07%
2-(9)	0.65%	1.32%	5.60%	44.14%	48.29%
2-(10)	1.04%	1.56%	8.33%	47.40%	41.68%
2-(11)	1.49%	3.46%	13.40%	53.73%	27.93%
2-(12)	1.94%	3.33%	13.18%	48.91%	32.65%
2-(13)	1.90%	3.03%	14.74%	49.48%	30.84%
2-(14)	1.60%	2.19%	9.48%	48.83%	37.92%

## 6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

### (1) 商学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか。	専任教員	128	4.13	0.73
	講師（非常勤）	81	4.21	0.74
計		209	4.15	0.73

### (2) 政経学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。	専任教員	112	3.70	1.29
	講師（非常勤）	70	3.46	1.34
計		182	3.64	1.31
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか。	専任教員	112	2.93	1.37
	講師（非常勤）	70	2.96	1.36
計		182	2.94	1.37
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) この授業で実施してほしい学生参加の方法は何ですか。（複数回答可）	専任教員	112	1.67	1.25
	講師（非常勤）	70	1.65	1.26
計		182	1.67	1.25
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(4) 留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。	専任教員	112	2.69	1.65
	講師（非常勤）	70	2.49	1.70
計		182	2.63	1.67

### (3) 外国語学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	105	4.33	0.70
	講師（非常勤）	198	4.36	0.70
計		303	4.35	0.70
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) このクラスの学生数は適切ですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	105	4.32	0.67
	講師（非常勤）	198	4.36	0.70
計		303	4.34	0.69

(4) 工学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業の到達目標をよく理解していますか。	専任教員	76	3.77	0.85
	講師（非常勤）	31	3.72	0.92
計		107	3.75	0.87
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか。	専任教員	76	3.86	0.86
	講師（非常勤）	31	3.82	0.93
計		107	3.85	0.88
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか。	専任教員	76	3.45	1.08
	講師（非常勤）	31	3.40	1.12
計		107	3.43	1.10
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(4) この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか	専任教員	76	3.18	1.48
	講師（非常勤）	31	3.37	1.50
計		107	3.24	1.49

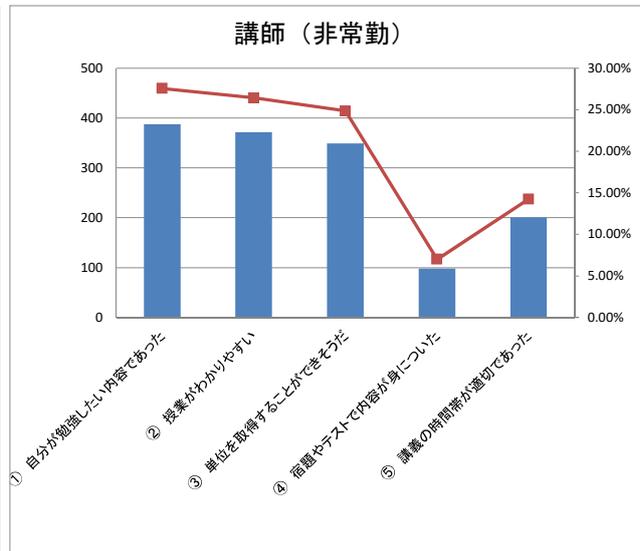
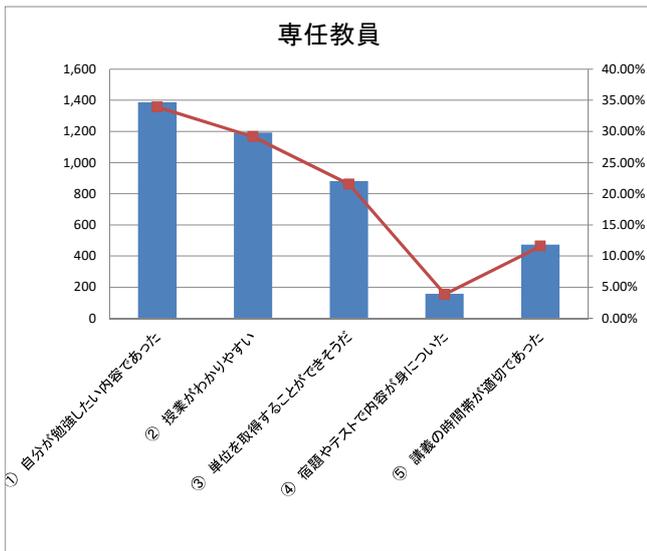
(5) 国際学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) 出欠はきちんととられていますか。	専任教員	50	4.31	0.96
	講師（非常勤）	17	4.13	1.03
計		67	4.27	0.98
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 授業中、学生同士の私語はないですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	50	4.19	0.88
	講師（非常勤）	17	4.17	0.94
計		67	4.19	0.89
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	50	4.25	0.77
	講師（非常勤）	17	4.24	0.75
計		67	4.24	0.77
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(4) 学生がいきいきと学べる環境づくりに教員が努めていますか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	50	4.26	0.77
	講師（非常勤）	17	4.08	0.88
計		67	4.22	0.80

7. 政経学部 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ

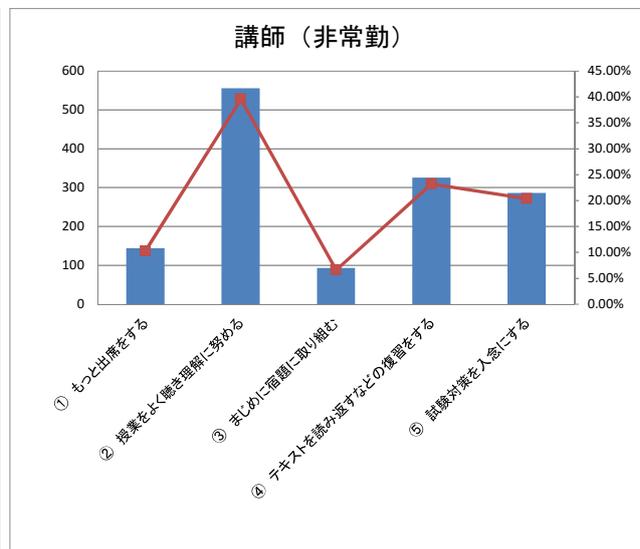
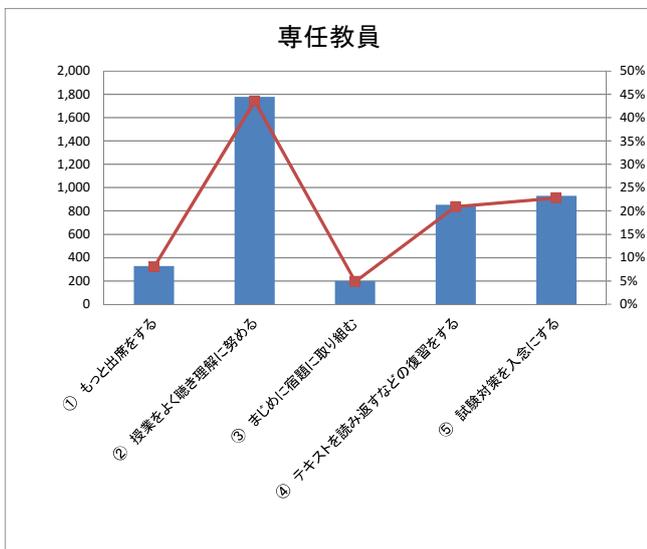
3-(1) この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。

		① 自分が勉強したい内容であった	② 授業がわかりやすい	③ 単位を取得することができそう	④ 宿題やテストで内容が身についた	⑤ 講義の時間帯が適切であった
専任教員	回答	1,386	1,191	880	158	473
	割合	33.90%	29.13%	21.53%	3.86%	11.57%
講師（非常勤）	回答	387	371	349	98	200
	割合	27.54%	26.41%	24.84%	6.98%	14.23%
計	回答	1,773	1,562	1,229	256	673
	割合	32.28%	28.44%	22.37%	4.66%	12.25%



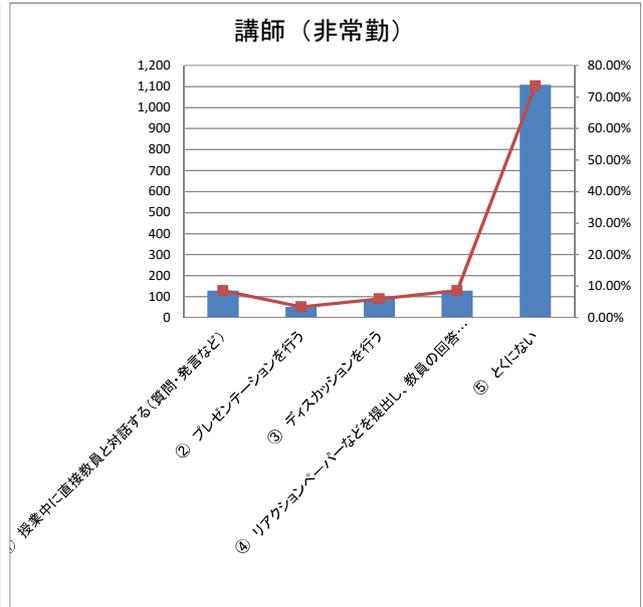
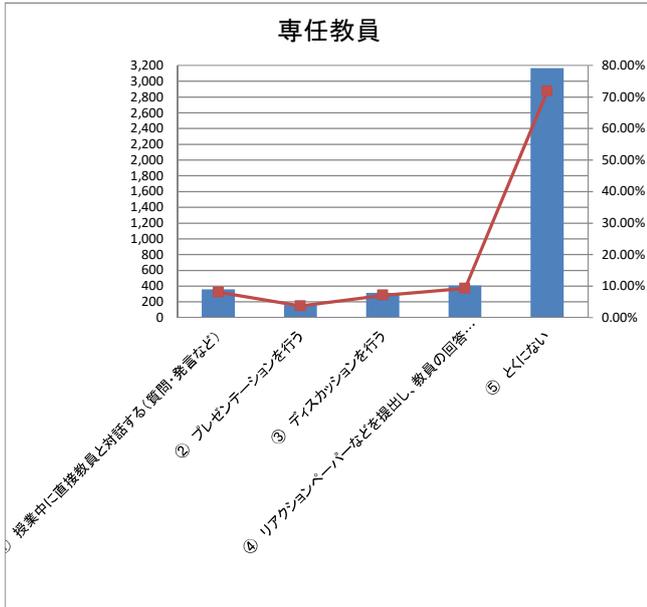
3-(2) この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか。

		① もっと出席をする	② 授業をよく聴き理解に努める	③ まじめに宿題に取り組む	④ テキストを読み返すなどの復習をする	⑤ 試験対策を入念にする
専任教員	回答	327	1,779	198	854	930
	割合	8%	43.52%	4.84%	20.89%	22.75%
講師（非常勤）	回答	144	556	93	326	286
	割合	10.25%	39.57%	6.62%	23.20%	20.36%
計	回答	471	2,335	291	1,180	1,216
	割合	8.57%	42.51%	5.30%	21.48%	22.14%



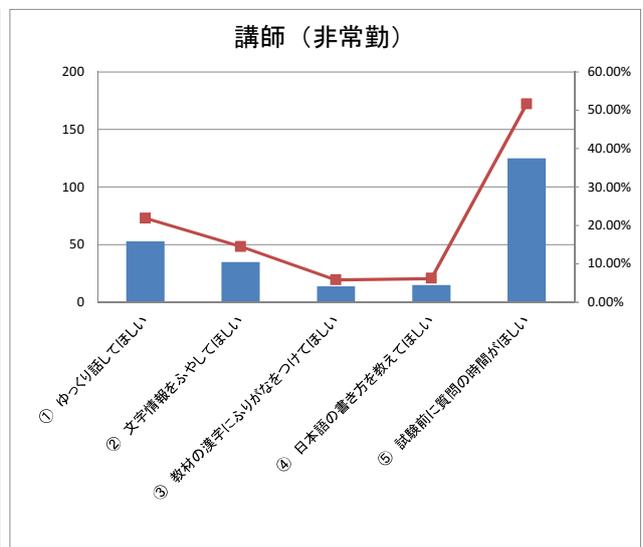
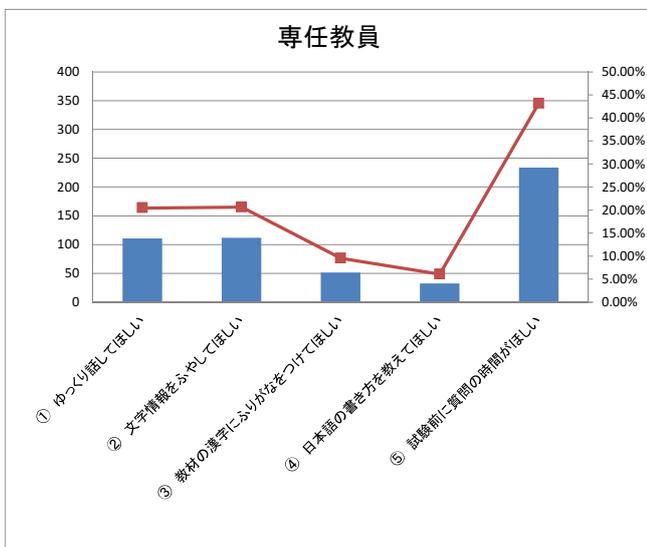
3-(3) あなたが望む先生への質問方法は何か。

		① 授業中に直接教員と対話する(質問・発言など)	② プレゼンテーションを行う	③ ディスカッションを行う	④ リアクションペーパーなどを提出し、教員の回答を求める	⑤ とくにない
専任教員	回答	358	163	314	408	3,169
	割合	8.11%	3.69%	7.12%	9.25%	71.83%
講師(非常勤)	回答	129	52	90	129	1,109
	割合	8.55%	3.45%	5.96%	8.55%	73.49%
計	回答	487	215	404	537	4,278
	割合	8.22%	3.63%	6.82%	9.07%	72.25%



3-(4) 留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何か。

		① ゆっくり話してほしい	② 文字情報をふやしてほしい	③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい	④ 日本語の書き方を教えてほしい	⑤ 試験前に質問の時間がほしい
専任教員	回答	111	112	52	33	234
	割合	20.48%	20.66%	9.59%	6.09%	43.17%
講師(非常勤)	回答	53	35	14	15	125
	割合	21.90%	14.46%	5.79%	6.20%	51.65%
計	回答	164	147	66	48	359
	割合	20.92%	18.75%	8.42%	6.12%	45.79%





## IV 評価及び課題



## 1. 商学部

### (1) 実施状況

令和4年度「授業改善のための学生アンケート」は、2022年12月5日～10日（予備日：12月13日～18日）に行われ、商学部における実施対象は、専任教員50名、講師（非常勤）104名であった。専任教員、講師（非常勤）それぞれの実施率は、専任教員が100.00%（昨年度100.00%）、講師（非常勤）が80.77%（昨年度は77.55%）と講師（非常勤）の実施率が昨年度と比べ上昇した。

実施科目数は、専任教員が257科目、講師（非常勤）は301科目である。学科目別実施科目数は、商学部初期教育科目（24科目）、商学部専門科目（172科目）、ゼミナール・外書講読（107科目）、外国語科目（200科目）、教養教育科目（28科目）、教職・社教・日語講座科目（14科目）のほか、他学部専門科目等が13科目で合計558科目であった。

なお、今年度の「授業改善のための学生アンケート」は、講座科目（オムニバス）・集中講義等を除く通年科目および後期科目（オンデマンド型授業を含む）を対象としている。

アンケート回答数（延べ人数）は、1年生3,470人、2年生2,566人、3年生1,734人、4年生785人、その他6人で合計8,561人である。回答数は1年生が最も多く、学年が上がるにしたがって回答数が減り、4年生の回答数が最も少ない。

以降では、商学部初期教育科目および専門科目に関する回答について考察する。

### (2) 初期教育科目に関する集計結果

初期教育科目は、令和3年度から実施対象となったため、昨年度との比較による評価である。回答平均値が4.00を超えた設問項目は、昨年度より3つ減り1-（1）「学生の出席状況」、2-（1）「狙いの明確さ」、2-（5）「環境の配慮」、2-（8）「教員の意欲・熱意」、2-（9）「時間の厳守」、2-（10）「教材等の効果」の6つである。なお、いずれの設問項目も昨年度と比べ数値が若干下がっているものの、そこに有意差はない。また、4.00を割り込んだ「声の大きさ」（3.82）、「理解しやすさ」（3.87）、「満足度」（3.92）についても下げ幅は僅少であり依然として高い数値を保っている。

一方で、1-（2）「ノート・メモをとっているか」（令和3年度3.15 → 令和4年度3.24）、1-（3）「予習・復習をしているか」（令和3年度1.60 → 令和4年度1.65）、2-（6）「この授業は学生の授業参加（質問・発言）を促したか」（令和3年度3.56 → 令和4年度3.64）、2-（7）「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか（オフィスアワー等の活用）」（令和3年度2.90 → 令和4年度2.96）では昨年度と比べ数値が改善している。その理由として、本学では今年度から105分授業を導入したことに伴い、学生の主体的な学修を促進するため各教員がアクティブ・ラーニングを積極的に活用したこと、更にはそうした教育方法の修得に向け全学FDワークショップにおいて効果的な教育方法の実践例について情報共有したことなどが考えられる。

学生にとって適切な学修難易度・進捗であったかについては、設問項目 2-(2)「難易度」の回答平均値が 3.59 (令和 3 年度 3.42)、2-(3)「進捗」の回答平均値が 3.36 (令和 3 年度 3.29) であることから、難易度・進捗ともに概ね適切であったと評価できる。

### (3) 専門科目に関する集計結果

専門科目の集計結果について過去 5 年間との比較が可能な 13 の設問項目に注目すると、いずれも過去 5 年間とはほぼ同じ傾向を示しつつも、2-(2)「狙いの明確さ」、2-(4)「声の大きさ」、2-(5)「環境の配慮」、2-(10)「教材等の効果」、2-(11)「理解のしやすさ」、2-(13)「見方・考え方が深まる」、2-(14)「満足度」では今年度を含めた直近 2 年間はそれ以前に比べ数値が大きく伸びている。特に「狙いの明確さ」(平成 29 年度～令和元年度が 3.93～4.01 に対し、令和 3 年度 4.33、令和 4 年度 4.35)、「教材等の効果」(平成 29 年度～令和元年度が 3.94～4.07 に対し、令和 3 年度 4.29、令和 4 年度 4.28)、「理解のしやすさ」(平成 29 年度～令和元年度が 3.68～3.77 に対し、令和 3 年度 3.91、令和 4 年度 3.95)、「見方・考え方が深まる」(平成 29 年度～令和元年度が 3.69～3.77 に対し、令和 3 年度 4.00、令和 4 年度 4.03)、「満足度」(平成 29 年度～令和元年度が 3.85～3.98 に対し、令和 3 年度 4.13、令和 4 年度 4.15) で伸び幅が大きい。

また、令和 3 年度から設定(または変更)された設問項目である「学生の授業参加を促したか(質問・発言)」、「教員の意欲・熱意」、「時間の厳守」、「興味関心」では、いずれも高い値を示し、「教員の意欲・熱意」、「時間の厳守」、「興味関心」は回答平均値が 4.00 を超えている。

ただし、課題もある。それは設問項目 2-(7)「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか(オフィスアワー等の活用)」において、今年度は 2.86 を示し、昨年の 2.61 よりも伸びているものの(参考:令和元年度以前は 1.6 以下)、他の設問項目の回答平均値に比べ依然として低い値にとどまっていること、加えて 1-(3)「予習・復習」が 1.77 とやはり低い水準にとどまっていることである。先に述べた初期教育科目同様、専門科目においても設問項目 2-(12)「興味関心」や、2-(13)「見方・考え方が深まる」の回答平均値がともに 4.00 を超える高い値を示していることから、学生の学びに対する興味・関心・意欲は高いと推測される。したがって、その興味・関心・意欲にもとづく自主的な学びとしての予習・復習にどう繋げることができるかが、教員に課せられた今後の課題だろう。

学生にとって適切な学修難易度・進捗であったかについては、設問項目 2-(2)「難易度」の回答平均値が 3.55、2-(3)「進捗」の回答平均値が 3.19 であることから、難易度・進捗ともに概ね適切であったと評価できる。

その他注目すべき点として、多くの設問項目において今年度は昨年度と並び令和元年度以前に比べ高い回答平均値を示していることがあげられる。その理由として、今年度は多くの授業が対面授業に移行したこと、105 分授業の導入によって学生の学修意欲を喚起するような授業の工夫が各教員によってなされたことなどが考えられる。

#### (4) 学部設問項目に関する集計結果

商学部では、学部独自の設問項目として「あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか」を設定した。この設問は、専任教員の128科目、講師（非常勤）の81科目において実施され、回答平均値は専任教員4.13（令和3年度は3.97）、講師（非常勤）4.21（令和3年度は3.97）を示し、昨年度に比べ数値が改善している。

昨年度の報告書において「学生は自身の学修に概ね満足していると思われるが、予習・復習が現状では十分ではないため、その点を学生が自覚し、自ら予習・復習を充実させるような方策について検討することが今後の課題と思われる」と記した。学生の「予習・復習」への取り組みは年々改善しているものの今年度も未だ低い水準にある（初期教育科目 1.65、商学部専門科目 1.77）。この点の改善が今後の課題と思われる。

※ 数値の詳細については、「全体集計」の該当箇所を参照のこと。

## 2. 政経学部

### (1) 実施状況－546科目について調査を実施

令和4年度「授業改善のための学生アンケート」は、令和4年12月5日から12月10日までの授業時間中に実施した。QRコードを学生に提示し、インターネット上にて回答を回収した。政経学部には所属する専任教員53名および講師（非常勤）103名に協力依頼をし、専任教員の1名を除く全員からご協力を得た。講師（非常勤）からは80人からご協力を得た。対象科目は通年科目及び後期科目（オンデマンド型授業を含む）であり、専任教員が担当するもの293科目（1教員あたり平均5.6科目）、講師が担当するもの253科目（同3.2科目）であった。133名の教員から546科目に関する結果を得た。上記科目には外国語、教職ほかも含まれる。

アンケートの回答者数は、のべ人数ベースで1年生3,517名、2年生2,848名、3年生2,424名、4年生1,026名の合計9,815名である。1-3年生が多く4年生が少ない。前回実施年よりも4年生以外で回答者が低下している。1科目あたりの回答数は18.0名（=9,815名÷546科目）である。なお、本調査は、後期に実施している。

### (2) アンケート項目

アンケート項目は、全部で21問である。はじめに学生の受講姿勢の自己評価について問い、続いて授業の進め方や内容に関して評価をさせ、総合的な満足度を問うた。最後に学部独自設問として、4問を追加している。

### (3) 専門科目に関する集計結果－受講姿勢に関する自己評価

以下では、政経学部における設置科目のうち専門科目に関する回答を見ていく。設問1-1では、出席状況について問うた。回答平均は4.65でありこれは出席率が90%弱であることを意味する。標準偏差は0.66なので回答者の出席状況は総じて高いと判断される。設問1-2では、ノートの筆記の有無を設問した。回答平均は4.13であり、多くの学生は教員による口頭の説明や板書をノートに筆記している。設問1-3では、予習や復習に充てる時間について尋ねた。全体平均は1.79であり、これから逆算すると、1講義あたりの予習復習は45分程度であり、少ない。

### (4) 専門科目に関する集計結果－授業の内容や進め方に関する評価

設問2-1から設問2-14では、授業の各側面について学生から評価を得た。回答平均は概ね4.0前後なので「そう思う」と考える学生が多かったことが見てとれる。なお、2-(2)と2-(3)は3の回答が適切である項目であったが、回答平均は3に近い値となっていた。担当講師のタイプ（専任教員／講師）、専門科目のタイプ（法律政治／経済）の差異は小さく、学生からの評価は近い値となっている。設問別にみても差異は少ないが、良いものとしては、「講義要項に沿った授業か」「授業の進度」「教員の授業への意欲・熱意」「授

業の開始・終了時間の適切性」があり、やや不足するものには「授業への参加の促進」「授業時間以外での教員への質問」がある。講義の内容や実施方法、教員の熱意は評価しているが、授業参加への促進や授業時間外での質問の傾向はやや低い。

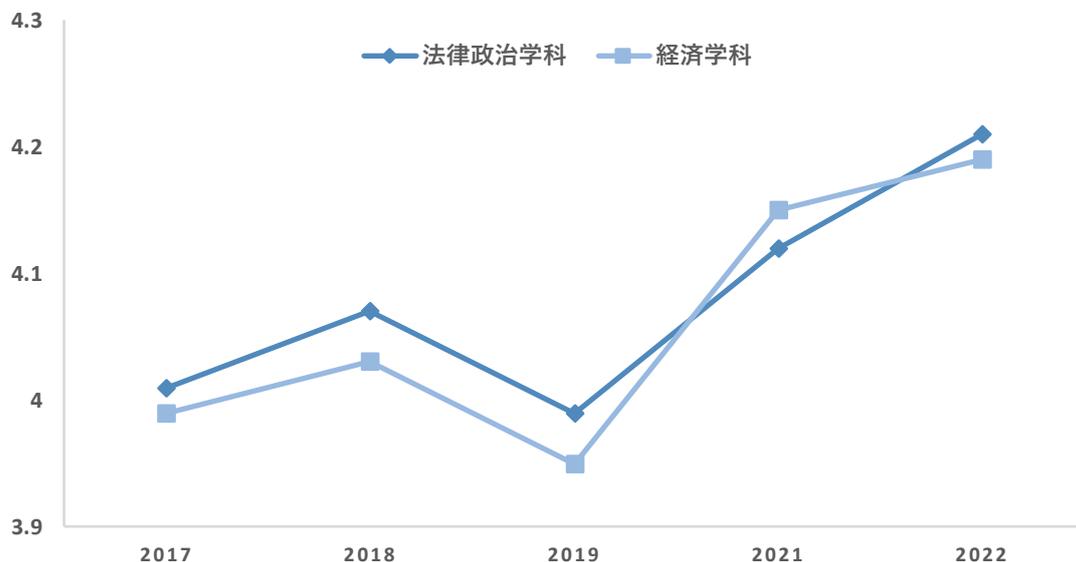
設問 2-11 では「この授業の内容はよく理解できましたか」と質問した。ポイントが 4 以上である場合、当該科目において「強く思う」「そう思う」という回答が多かったことを意味するが、このような科目が総科目数に占める割合は 77.00% と非常に高い。続いて当該科目のポイントが 3 以上 4 未満であることは「どちらとも言えない」とする回答は 17.11% と比較的少なかった。これらの結果から、授業内容の理解度は高いと言える。

設問 2-14 では「総合的にこの授業に満足していますか」と満足度を尋ねた。この質問に対して「強く思う」「そう思う」と回答した割合は 84.67% であり、非常に高くなっていた。この結果から、令和 4 年度において、政経学部では満足度の高い授業を行うことができたと考えられる。

### (5) 満足度の経年変化

本年度（2022 年）のアンケート結果を過去値と比較する。満足度（設問 2-14）については、過去 5 年間に於いて 3.9~4.2 という平均値で推移しており、2019 年以降にやや上昇している。なお、本年値は法律政治学科で 4.21、そして、経済学科で 4.19 と 2017 年以降で最も高くなっていた。

### 学科別の授業満足度の推移



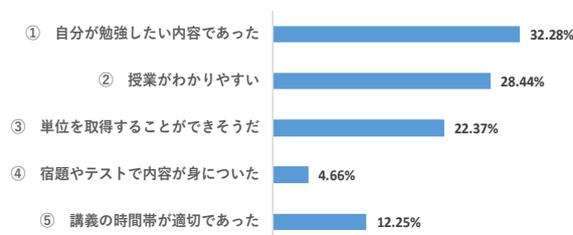
注：専門科目に関する集計結果。

資料：平成 29 年度-令和 4 年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成。

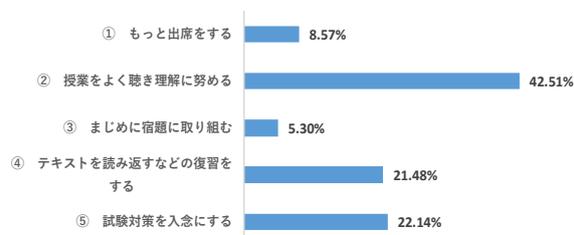
## (6) 政経学部による独自設問における回答結果

設問 3-1 では、授業の満足度について具体的に尋ねた。「自分が勉強したい内容であった」32.28%、「授業がわかりやすい」28.44%、「単位を取得することができそう」22.37%が上位にあった。設問 3-2 では、学生自身が取り組むべきことについて尋ねた。「授業をよく聴き理解に努める」42.51%、「テキストを読み返すなどの復習をする」21.48%「試験対策を入念にする」22.14%が多い。設問 3-3 では、希望する教員への質問方法について尋ねた。「特になし」72.25%が多かった。設問 3-4 は、留学生だけに授業を受けるうえで必要な事項を質問した。「試験前に質問の時間がほしい」45.79%、「ゆっくり話してほしい」20.92%、「文字情報を増やしてほしい」18.75%の割合が多い。試験対策の時間をとるといったきめ細やかな対応が必要だと考えられる。

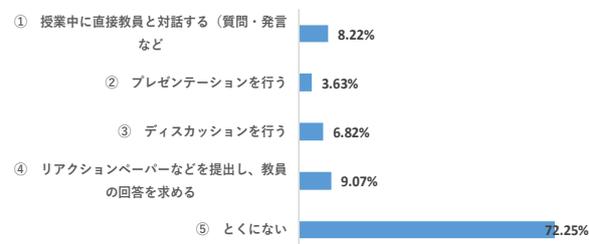
この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。3-(1)



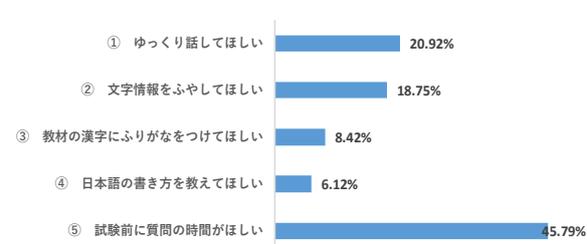
この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか。3-(2)



あなたが望む先生への質問方法は何ですか。3-(3)



留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。3-(4)



注：科目ごとに回答率を算出し、それらの総平均から全体傾向（専門科目のみ）を求めている。  
資料：令和4年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

## (7) 今後の課題

本年度アンケートの結果から、政経学部の授業は受講生から概ね満足度の高い内容になっていると言える。教員各位のご尽力の賜物であると深く感謝する次第である。一方、アンケート結果から、予習・復習時間の不足や授業への参加促進の不足、留学生向けの授業方法について課題があることがわかった。中でも政経学部では留学生の数が多いため、授業方法のさらなる改善は今後の重要な検討事項だと言える。これらの諸問題がよく理解され、今後の授業改善に結びつけられることが期待される。

### 3. 外国語学部

#### (1) 実施状況

実施率：専任教員 100% 講師(非常勤) 81.82%。

#### (2) 集計結果とその分析

##### ①学科目別(講義等科目) 平均値・標準偏差 大学全体の集計結果との比較

「外国語学部専門科目」

##### I-1 「学生の出席状況」の平均値 4.61

(大学全体の平均値 4.67) ↓ (昨年度 4.71) ↓

##### I-2 「ノート・メモ」の平均値 4.26

(大学全体の平均値 4.12) ↑ (昨年度 4.19) ↑

##### I-3 「予習・復習」の平均値 2.07

(大学全体の平均値 1.97) ↑ (昨年度 2.13) ↓

\*外国語の習得に必要な時間数としては十分とはいえない。

##### II-1 「ねらいの明確さ」4.42 (大学全体の平均値 4.34) ↓ (昨年度 4.35) ↓

##### II-4 「声の聞き取りやすさ」4.33 (大学全体の平均値 4.20) ↑ (昨年度 4.10) ↑

\*昨年度はオンラインで声が聞きとりにくいケースが多かったかもしれない。

##### II-5 「環境の配慮」4.31 (大学全体の平均値 4.25) ↑ (昨年度 4.09) ↑

\*これも昨年度はオンラインだったことが関係しているかもしれない。

##### II-6 「質問・発言」4.36 (大学全体の平均値 4.03) ↑↑ (昨年度 4.14) ↑↑

\*外国語学部の教員全体が授業中にインタラク션을促す姿がうかがえる。

\*これも昨年度はオンラインだったことが関係しているかもしれない。

##### II-7 「オフィスアワー」3.02 (大学全体の平均値 2.94) ↑ (昨年度 2.76) ↑

\*昨年度オフィスアワーがどのくらい活用されていたのかが疑問である。

##### II-8 「意欲・熱意」4.40 (大学全体の平均値 4.29) ↑ (昨年度 4.31) ↑

##### II-9 「時間の厳守」4.36 (大学全体の平均値 4.38) ↓ (昨年度 4.37) ↓

\*昨年度はオンラインで授業が短めに終わったことを反映しているかもしれない。

##### II-10 「教材等の効果」4.35 (大学全体の平均値 4.27) ↑ (昨年度 4.30) ↑

##### II-11 「理解しやすさ」4.19 (大学平均の 4.03) ↑ (昨年度 4.10) ↑

\*全体として効果的な言語のインプットがなされていることがわかる。

昨年度からもアップしている。

対面授業のメリットを反映していると思われる。

##### II-12 「興味・関心」4.21 (大学全体の平均値 4.07) ↑ (昨年度 4.10) ↑

\*昨年度からの大幅アップで、学生の対面授業志向がうかがわれる。

II-13 「見方・考え方が深まる」 4.30 (大学全体の平均値 4.19) ↑ (昨年度 4.13) ↑  
\*ここも昨年度よりアップしている。

II-14 「満足度」 4.18 (大学全体の平均の 4.14) ↑ (4.06) ↑  
@評価が3になる回答が好ましい科目

II-2 「難易度」 3.39 (大学全体の平均値 3.48) ↑ (昨年度 3.44) ↑

II-4 「進度」 3.13 (大学全体の平均値 3.18) ↑ (昨年度 3.16) ↑

以上の集計結果により、昨年度実施データ、今年度全学平均値を上回っている項目が、17問中13問で、満足できる結果となった。105分授業実施の効果等を今後も検証しつつ、より一層授業の質を高めると共に、2025年度のカリキュラム改革に向けて、それぞれの授業の内容を検証していく。

## ②教員所属別評価 専任教員（教授、准教授、助教、特別非常勤講師）と講師（非常勤）に対する評価

外国語学部の専任教員に対する評価はほぼすべての項目において、大学の平均より上回っており、概ね高い評価を得ていることがわかる。

講師（非常勤）の授業への評価は専任教員の授業への評価よりもやや低い位置にあるものの、専任教員と同様に、17問中13問で大学全体の平均値を上回っている。今年度は項目数において、昨年と比べて大きな伸びを見せている。専任教員と講師（非常勤）の連携が上手く働いた結果と言えるだろう。

## ③学科別評価（講義科目） 学科別の分析

改善を示唆していると思われる点のみ以下に挙げる。講義科目であるので、オンデマンド授業への評価も含まれている。

I-1 「学生の出席状況」 学科別の平均値では、中国語、スペイン語、国際日本語は全体の平均 4.67 を上回るが、英米語は全体の平均よりやや下回っている。

I-2 「ノート・メモ」 学科別の平均値は、英米語 4.07 のみが、全学平均 4.12 を下回っている。

I-3 「予習・復習」 学科別の平均値は、スペイン語 2.04、国際日本語 2.33 で、全体の平均値 1.97 を上回るが、英米語 1.93、中国語 1.92 は、やや全学平均 を下回る。

II-7 「オフィスアワー」 は、中国語 3.12 スペイン語 2.98 国際日本語 3.35 で全体の 2.72 よりほぼ上回っているが、英米語 2.67 は、全学平均 2.89 を下回る。上記以外の項目に於いてはどの学科も全学平均を上回っている。

#### ④外国語学部専門科目に対する回答の分析

I-1 「学生の出席状況」⑤が 69.01%と最も多く、次いで④の 23.13%となっている。

I-2 「ノート・メモ」④が 46.15%と最も多く、次いで⑤の 42.49%となっている。

I-3 「予習・復習」①が 34.80%と最も多く、次いで②の 33.80%となっており、④は 4.91%、⑤は 2.61%と値が低い。予習・復習をしないで授業に臨む学生が多いことがわかる。

II-1 「講義要項」⑤が 48.90%で、④の 44.96%で、昨年よりも⑤の比率が高くなっている。

II-2 「難易度」3 に近いほど良い値だと言われている項目であるが、③が 59.23%、次いで④が 33.01%となっている。

II-3 「進捗」同様の基準となっているが、③が最も高く 82.57%、次いで④が 12.46%となっている。

II-4 「声の聞き取りやすさ」⑤が 47.47%で、次いで④が 41.87%とほぼ同じ数字になっている。

II-5 「環境への配慮」④が 46.64%で、⑤が 43.51%となっている。

II-6 「質問・発言」⑤が最も高く 49.59%、次いで④が 40.39%だった。

II-7 「オフィスアワー」③が最も高く、26.87%、次いで④が 25.63%で教員を訪れる学生には開きがあることがわかる。

II-8 「意欲・熱意」⑤が最も高く 50.07%で、④が 41.94%だった。

II-9 「時間の厳守」⑤が最も高く 53.04%、④が次いで 41.42%だった。

II-10 「教材の効果」⑤が 46.77 で、次いで④が 44.72%である。

II-11 「理解しやすさ」④が最も高く 53.05%、次いで⑤が 34.76%である。

II-12 「興味関心」④が 47.70%、⑤が 38.92%となっている。

II-13 「見方考え方」④が 47.87%、次いで⑤が 34.79%だった。

II-14 「満足度」④が 46.26%で⑤が 43.86%となっている。

#### ⑤学部設問項目

昨年度同様、今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の 2 つである。

##### IV-1 「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」

回答の平均値は、専任教員の授業では 4/33、講師（非常勤）の授業では 4.36 の値であった。

##### IV-2 「このクラスの学生数は適切ですか」

回答の平均値は、専任教員の授業では 4.32、講師（非常勤）の授業では 4.36 であった。それぞれ、前年よりやや上回る値で、概ね良好な結果と言えよう。

以上の 2 項目は、少人数教育を中心とした外国語の授業で効果的に授業が行われる環

境が整っているかどうかをチェックする重要な設問であるが、今年度も学生側からは満足できる評価が得られていると考えられる。

### (3) 授業改善に向けての今後の課題

以上、外国語学部の「授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、今年度に於いても、全般にわたって比較的安定した高い水準を維持していると言える。また令和3年度に比してほぼ全ての項目において、数値は上昇傾向にある。昨年は「ノート・メモ」「予習・復習」「声の聞き取りやすさ」「質問・発言」「意欲・熱意」「教材等の効果」「理解しやすさ」「興味・関心」など、外国語教授法の基本となる部分について、全学の平均を上回っていたが、今年度はさらに「環境の配慮」「オフィスアワー」「見方・考え方が深まる」の項目に於いても、平均値を上回っていることを考えると、より教員が日頃の創意工夫を重ね、授業改善を心がけていることがわかる。全学平均を下回った「出席率」「時間の厳守」に関しては、様々な要因が関っていると思われるが、昨年に引き続き、コロナ過の影響を受けた可能性も考えられる。「ねらいの明確さ」に関しては、それぞれの授業の目標と指導の一致を図っていく。今年度は、さらに105分授業、対面授業の復活に対応しなければならない年でもあった。今後、さらにこれらの環境の変化に柔軟に対応するとともに、客観的な検証を続けていく必要がある。

今後の外国語学部の課題はこれまでと同様に、様々な背景を持つ学生や学力差にどのように対応し、効果的な授業を行うかである。志願者減に起因する学生の質の変化にも真剣に対応していく必要がある。能力別のクラス編成、各種資格が取得できる体制づくり、各種表彰制度等によって、より学習効果が上がる体制は三学科とも一応整っているが、今後は2025年度カリキュラム改定を視野に入れ、ITの概念を取り入れたコースづくりに着手し、言語の多様性などを鑑み、新たなパラダイム構築をする必要がある。

これまで学生の外国語能力向上に大きく貢献してきた留学が、コロナ後も費用高騰等の理由で、コロナ以前のようにうまく機能するかどうかという不安要因もあり、この問題への対処も怠るわけにはいかない。

また、2022年度は、コロナ中は実施を見送っていた、外国語学部非常勤講師懇談会を実施した。約30人の非常勤講師が参加し、学部長から外国語学部が置かれている現状、ここ数年の変化、今後の計画等について概略を説明した。後半は各学科に分かれて、専任教員と非常勤教員の情報交換を密に行い、2023年度以降の授業展開が楽しみである。学生の満足度をさらに上げていきたい。

総論として、外国語学部の志願者減という現実に真摯に向き合いつつ、非常勤講師も含めて個々の教員の努力のベクトルの方向を定めることにより、チームワークを有効活用し、入学した学生に対する指導の質を、より高めていく必要がある。

以上

## 4. 工学部

### (1) 実施状況

今年度の授業評価アンケートは、後期(令和4年12月5日～12月10日)に実施され、2年続けて後期の実施であった。実施教員数は、専任教員が49名中49名、講師(非常勤)が45名中37名で、専任教員の実施率は100%、講師(非常勤)が82.22%であり、昨年度とほぼ同様の実施率となった。アンケート実施科目数は214科目(専任:130、非常勤:84)で、一昨年度全科目が対象となり昨年度は大幅に科目数を増やしたが、今年度は専任教員の科目数が16科目減少した。一人あたりの実施科目数は、平均値で専任教員が2.7科目、講師(非常勤)が2.8科目であった。アンケートに回答した延べ人数は4,696名(1年:2,110、2年:1,616、3年:918、4年:52、無回答:0)であり、昨年の5,834名(1年:2,523、2年:2,098、3年:1,140、4年:72、無回答:1)と比べて2割程度減少した。

### (2) 全体集計

各アンケート項目について講義科目を中心に考察する。

#### I. 自己評価

##### ① 学生の出席状況(設問1-(1))

工学部専門科目のうち、講義科目の出席状況は平均4.76となっており、昨年の4.82と比べてわずかに減少した。過去5年間の変化を見ると4.6～4.8程度であり、わずかに数値を落としたが高い値を保っている。大学全体のポイントが4.67であり、全学部専門科目の中で最高の値であることは昨年度と同様である。工学部は受講者100名未満の授業が多いので出欠状況が把握しやすいこと、カードリーダーによる出席管理が定着したことに加え、多くの科目で対面授業が行われ、毎回課題演習を行う授業が多いことなどが出席のモチベーションになっていると考える。実験実習科目の出席状況は4.73で昨年の4.77と比較してこちらもわずかに下降したが、高いポイントを維持している。例年、実験演習科目への出席は、講義科目より良く、今年度も同様の結果であった。多くの授業が対面形式に戻り、学生の出席意識も通常時のように高まってきたことが伺える結果である。

##### ② ノート・メモ(設問1-(2))

ノートやメモを取っているかについては、3.92となっており、昨年の4.08と比べてやや下がった。全体平均は4.12(昨年度の全体平均4.12)であり、平均よりやや低い値となった点は昨年度と同様である。全学部の中で最も低い方である。また、専任教員のみでは3.93(昨年度4.02)、非常勤では3.99(昨年度4.02)であり、こちらもやや下がった。低い値となったのは、オンデマンド授業用の資料を活用して授業が行われるケースも多いと考えられ、これにより学生はノートを取る必要がなくなっている傾向にあると予

測できる。授業資料を Blackboard に掲出し、授業中は学生がタブレット等でその資料を見ることになると、ノートを取り難い状況となる。また、情報工学科では1年生より PC 必携としていることも関係しているかもしれない。

### ③ 予習・復習（設問 1-(3)）

講義科目における予習・復習については全体平均が 1.97 で全学的に 1～2 の低い値となっているが、工学部は 1.96 で外国語学部の 2.07 に次いで比較的高い。昨年度 (1.99) と同様の結果となっている。予習・復習については、講義要項に予習・復習の項目が記載されている。さらに、Blackboard に事前に講義資料を掲示して予習内容を具体的に示している授業もあるなど、予習・復習がしやすい環境は作られているが昨年度と変わらない結果であり、さらに工夫が必要であろう。専任と非常勤を比較すると、専任教員は 1.92、講師（非常勤）は 1.98 であり昨年度と同様に差はほぼない。

## II. 授業内容・方法

### ① 講義要項との一致（設問 2-(1)）

講義科目で 4.18（昨年 4.21）となり、昨年とほぼ同値であり、全学平均の 4.34 と比較すると 0.16 ポイント低く、全学部の中で最も低い値である。講義要項に沿って授業を行うことが基本であるが、工学部では知識を積み重ねていくタイプの講義が多いので、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、理解を深めるためのトピックを取り込んだりすることが考えられ、特に低い値という訳でもないので、現状特に問題はないと思われる。

### ② 難易度（設問 2-(2)、実験・実習科目：設問 2-(1)）

難易度は、例年同様中間の 3 が適切で、小さい値が簡単、大きい値が難しいという意味を示す。今年は講義科目で 3.64（昨年 3.64）、実験実習科目で 3.7 程度（昨年 3.63）となっている。講義科目の全学平均 3.48 と比較するとやや高い値であるが、昨年と同じ傾向である。講義科目では、一昨年度以前は 3.50～3.53 程度の範囲で推移し、一昨年度からこの範囲を超えた値が連続した。対面授業が増えて通常に戻ってきたことにより、それまでのオンデマンド授業に比べてレベルが上がったと感じていると考えられる。この結果は学部で共有していく必要があるだろう。

### ③ 進度（設問 2-(3)、実験・実習科目：設問 2-(2)）

進度も、難易度と同様、3 が適切な進度で小さい値が遅い、大きい値が速いという意味を示す。講義科目で 3.27（昨年 3.27）、実験実習科目で 3.35 程度（昨年 3.32）という結果となった。昨年度並みの値である。オンデマンド授業期間は 3.4 程度の値であったので、対面授業になり適切な進度を保てるようになったことが見受けられる。

④ 話し方や声の聞き取りやすさ（設問 2-(4)）

講義科目で 3.95（昨年 3.67）、実験実習科目で 3.98（昨年 3.90）という結果で、全学平均の 4.20 と比較すると低い値である。学科別には機械システム工学科（4.00）、電子システム工学科（4.00）、情報工学科（3.94）、デザイン学科（3.89）であり、どの学科も全学平均より低い値である。昨年度と同じ結果である。工学部で利用する気概が多い PC 教室には、コロナ感染防止対策によるシールド板が多数設置されているので、この影響が大きいと思われる。次年度より改善されると考える。

⑤ 環境の配慮（設問 2-(5)）

講義科目で 4.00（昨年 3.74）、実験実習科目で 4.10 程度（昨年 4.13）となり、講義科目、では増加、実験実習科目ではやや減少した。一昨年度はコロナ対策の換気により「寒い」という意見が多く見られたが、今年度は D 館の改修工事によりこの点が改善された点が多いのではないかと考える。しかし、全学平均の 4.25 と比較すると低い値である。工学部棟や実験実習工場などでは暖房の効きの悪い教室があり、アンケートを取ったのが冬場であったことも影響して寒く感じた学生が多かったのではないかと感じる。この点については、徐々に改善されていくものと考えられる。

⑥ 質問・発話（設問 2-(6)）

講義科目で 3.68（昨年 2.77）であり、昨年度より増加したが、全学平均の 4.03 と比較してやや低い値である。全学部の中でも低い方である。今年度も引き続き、授業中の学生間の発話は控えるように指導していたので、この項目については様子を見る必要があるだろう。

⑦ オフィスアワー（設問 2-(7)）

授業時間以外の質問については、講義科目で 2.94（昨年 2.66）と 0.28 ポイント上昇し、全学平均の 2.94 と同値であったが、絶対的には低い値である。工学部は、受講者 100 人未満の授業が多いため、授業中に個別質問できる機会も多く、授業のない日でも在室している教員も多いので、学生はオフィスアワーを意識する必要がない場合が多いと考えられる。

⑧ 意欲・熱意（設問 2-(8)、実験・実習科目：設問 2-(6)）

講義科目で 4.04、実験実習科目で 4.25 程度となった。全学平均の 4.29 より低い値であったものの高評価を得ていると思われる。学科別でも 4.01～4.16 であり大きな違いはなく高評価を得た。

⑨ 時間の厳守（設問 2-(9)、実験・実習科目：設問 2-(7)）

専任教員の講義科目で 4.27、実験実習科目で 4.1 程度となった。専任教員全学平均の 4.38 よりやや低いものの高い評価となった。学科別でも 4.18～4.29 であり、講師（非常勤）においても 4.27 でありいずれも時間通りに 105 分授業が進められていると考える。

⑩ 教材等の効果（設問 2-(10)、実験・実習科目：設問 2-(8)）

講義科目で 4.08(昨年 4.08)、実験実習科目で 4.1 程度（昨年 4.20）となり、講義科目、実験実習科目ともにほぼ昨年度と同じように高評価を得た。105 分授業に対応した講義資料を準備し活用していたことが伺える結果である。

⑪ 理解しやすさ（設問 2-(11)、実験・実習科目：設問 2-(10)）

講義科目で 3.73（昨年 3.69）、実験実習科目で 3.95 程（昨年 3.95）となり、全学平均 4.03 よりはやや低いものの、実験実習科目では比較的の高い評価を得ている。講義科目を学科別にみると 3.76～3.96 であり、デザイン学科が最も高く(3.96)、機械システム工学科が最も低く(3.76)なった。専任教員 3.78 と講師（非常勤） 3.79 の差はない。授業の性質によるが、昨年度と比べてわずかに上昇していることから、105 分授業となり授業の工夫が行われ、僅かながら好転している、つまり 105 分授業の良い面が出ていると考えることはできないか。

⑫ 興味・関心（設問 2-(12)、実験・実習科目：設問 2-(12)）

講義科目で 3.79、実験実習科目で 4.1 程度、全学平均は 4.07 であった。工学部では、基礎知識の習得期間が長いと興味や関心が湧きにくい面もある。次年度は、105 分授業、情報工学科の PC 必携ともに 2 年目となるので、次年度の結果に注目する必要があると考える。

⑬ 見方・考え方が深まる（設問 2-(13)）

講義科目で 3.78（昨年度 3.79）、実験実習科目で 4.0 程度（昨年度 4.05）となり、昨年度並みであった。全体平均 4.04 をやや下回った。実験実習科目のような体験を通じた授業や実学要素のある授業で見方・考え方を深めやすいと感じられると思われるが、工学部の多くの講義科目は体系だった知識の修得であるのでやむを得ない面もある。しかし学生の学ぶ姿勢や興味を育むために、実験実習科目と講義科目の連携やディスカッション等を通じた学習の取り入れ等、さらに工夫する必要があるだろう。

#### ⑭ 満足度（設問 2-(14)）

講義科目で 3.91（昨年 3.84）、実験・実習科目で 4.1 程度（昨年度 4.11）、講義科目の全体平均は 4.19 であった。学科別に見ると、高い順にデザイン 4.07（昨年度 3.95）、情報 3.99（昨年度 3.94）、電子 3.95（昨年度 3.92）、機械 3.96（昨年度 3.85）となっており、すべての学科で上昇した。全体的に満足度が上がったということから、105 分授業の良い面が現れたと考えている。

### Ⅲ. 学部設問項目

令和 2 年度学習行動調査所見にて「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」という課題に対し、令和 3 年度より、その教育改善方策の 1 つとして「上述能力の学習意識を高める」ことを掲げており、これを意識して以下の 4 項目を用意している。

#### ① この授業の到達目標をよく理解していますか（設問 3-(1)）

専任教員が担当する科目で 3.77（昨年度 3.74）、講師（非常勤）で 3.72（昨年度 3.71）であった。これは、「3：どちらとも言えない」～「4：そう思う」の間である。昨年度とほぼ同値であり、昨年度同様に学生が授業の到達目標を意識していない学生も多いと考える。リーダーシップ能力、課題解決能力を高めることを目的とした科目を受けているという意識は、その育成の上で重要な要素である。この点は工学部で共有して授業の導入等で周知するなど、この設問のポイントを伸ばす必要があろう。

#### ② 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか（設問 3-(2)）

専任教員で 3.86（昨年度 3.88）、講師（非常勤）で 3.82（昨年度 3.77）であった。これは、「3：どちらとも言えない」～「4：そう思う」の間である。昨年度と比べて全体的にはやや上昇した。学習支援センターの利用を促進するという例年の指導および、授業の 105 分を使って演習時間を多く取るなどの指導を通して、学生を課題・宿題に引き込んでいることが伺える結果を考える。課題解決能力を育成する上で宿題や課題に前向きに取り組むことは重要な要素である。適切なフィードバックによって課題に引き込むなどの工夫もしながら、さらにポイントをあげていくことが必要であらう。

#### ③ この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか（設問 3-(3)）

専任教員で 3.45（昨年度 3.41）、講師（非常勤）で 3.40（昨年度 3.26）であった。これは、「3：どちらとも言えない」～「4：そう思う」の間である。「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」には、学習内容について他者と話し合う経験が寄与すると考えるが、この値からは十分な機会が与えられているとは言えないと考える。授業の中で、気軽に話せる友人や相談できる友人を発見する機会を与えることも必要と考える。今年度は授業中の発話は控えるように指導していたため、次年度の結果を注視する必要があろう。

- ④ この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか  
(設問 3・(4))

専任教員で 3.18 (昨年度 2.74)、講師 (非常勤) で 3.37 (昨年度 2.87) であった。これは、「1: 対面に適している」「2: どちらかと言うと対面に適している」「3: どちらとも言えない」「4: どちらかと言うとオンデマンドに適している」「5: オンデマンドに適している」の選択肢から選ばれた回答であり、結果は「3: どちらとも言えない」～「4: どちらかと言うとオンデマンドに適している」の間であった。昨年度は 2 点台であり対面形式が良いとする傾向があったが、今年度はどちらとも言えないという結果となった。今年度はオンデマンド形式が少ないということもあるが、授業形式 (対面・オンデマンド) に不満はないということの現れであると考える。

## 5. 国際学部

### (1) 実施状況

専任教員は33名中31名(93.94%)が、講師(非常勤)は、実施対象46名中40名(86.96%、5学部の中では最も高い)がアンケートを実施した。

実施科目数は専任教員158科目(令和3年度177科目)、非常勤講師181科目(令和3年度181科目)、計339科目で、令和3年度計358科目から約5%減であった。これは、令和4年度未実施教員2名が影響したと考えられる(令和3年度は全専任教員が実施)。

アンケート回答数(延べ人数)は、1年生1,443人、2年生1,659人、3年生625人、4年生277人、その他4人の計4,058人で、令和3年度計5,103人の約79.52%の回答数にとどまった。ただし、全学の平均も80.89%であり、全学的な傾向と考えられる。

### (2) 全体集計

以下の表は、国際学部専門科目(67科目)について、各項目の過去5年間における平均値である。前年度よりも上昇した場合に↗印を、低下した場合に↘印を、変化がなかった場合には→印を付した。但し、「2-(2) 難易度」と「2-(3) 進度」の2項目は数値が「3.0」の回答が適切であると判断されるものであるため、3.0に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度	令和4年度	大学全体
1-(1) 学生の出席状況	↘ 4.43	↗ 4.51	↗ 4.57	↗ 4.73	↘ 4.64	4.67
1-(2) ノート・メモ	→ 3.84	↘ 3.82	↗ 3.91	↗ 4.40	↘ 4.22	4.12
1-(3) 予習・復習	↘ 1.72	↘ 1.68	↗ 1.83	↘ 1.79	↗ 1.81	1.97
2-(1) 狙いの明確さ	↘ 4.03	↗ 4.13	↗ 4.19	↗ 4.39	↘ 4.36	4.34
2-(4) 声の大きさ	↗ 4.15	↘ 4.08	↗ 4.19	↘ 3.83	↗ 4.26	4.20
2-(5) 環境の配慮	↗ 4.20	↘ 4.18	↗ 4.26	↘ 3.92	↗ 4.26	4.25
2-(6) 質問・発言	—	—	—	3.69	↗ 3.93	4.03
2-(7) オフィスアワー	1.65	↘ 1.60	↗ 1.66	↗ 2.56	↗ 2.67	2.94
2-(8) 意欲・熱意	—	—	—	4.32	↗ 4.35	4.29
2-(9) 時間の厳守	—	—	—	4.37	↗ 4.39	4.38
2-(10) 教材等の効果	→ 4.09	↗ 4.10	↗ 4.25	↗ 4.27	↗ 4.31	4.27
2-(11) 理解しやすさ	↗ 3.92	↗ 3.97	↗ 4.06	↗ 4.08	→ 4.08	4.03
2-(12) 興味・関心	—	—	—	4.21	→ 4.21	4.07
2-(13) 見方・考え方が深まる	↘ 3.99	→ 3.99	↗ 4.13	↗ 4.20	↗ 4.23	4.04
2-(14) 満足度	↗ 4.07	↗ 4.11	↗ 4.19	↗ 4.23	↗ 4.25	4.19

○回答「3.0」が適切である項目

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度	令和4年度	大学全体
2-(2) 難易度	↗ 3.35	↘ 3.38	↗ 3.33	↘ 3.41	→ 3.41	3.48
2-(3) 進度	↗ 3.22	↘ 3.23	↗ 3.20	↗ 3.15	↘ 3.17	3.18

### ① 自己評価 (1-(1)～(3))

1-(1)～(3)の各項目について、回答の多かった上位を挙げると以下のとおりである(←の右の数字は昨年度)。

「1-(1) 授業への出席状況」	(1) ⑤90%以上 (71.55%) ←79.35%
	(2) ④80%以上 (22.09%) ←15.57%
「1-(2) ノート・メモ」	(1) ⑤強くそう思う (45.80%) ←55.53%
	(2) ④そう思う (38.80%) ←33.04%
「1-(3) 予習・復習」	(1) ①0.5h未満 (49.71%) ←49.81%
	(2) ②0.5h以上 (1h未満) (28.95%) ←28.78%

総じて見ると、学生たちは講義そのものへの取り組みは比較的良く、出席率が80%以上(④+⑤)と答えた学生が約94%で、令和3年度の95%とほぼ同じである。ただし、90%以上と回答した学生の比率が約8%減少している。またノート・メモをとっていると答えた学生(④+⑤)の比率は約85%で、令和3年度の89%より4%減少している。

他方、予習・復習の時間について、1h未満と答えた学生(①+②)が約79%であり、令和3年度ほぼ同じである。本項目については商学部専門科目及び政経学部専門科目でも約79%となっており、他学部専門科目とも共通の傾向といえるが(ただし外国語学部は約69%)、引き続き改善を要する。

### ②教育内容・方法 (2-(1)～(13))

大学全体の平均値より0.1ポイント以上高かった項目として、「ノート・メモ」「興味・関心」「見方・考え方が深まる」があった。他方、大学全体の平均値より0.1ポイント以上低かった項目は、「予習・復習」「質問・発言」「オフィスアワー」であった。後者はいずれも学生が主体的に学ぶ態度を反映している非常に重要な項目である。いずれも昨年度より上昇傾向にあるとはいえ、まだ大学平均に達しておらず、さらなる改善が求められる項目である。なお、昨年度大きく低下していた「声の大きさ」「環境の配慮」は今回大幅に向上し、大学平均を越えた。

「満足度」については、国際学部の数字は安定的に上昇してきており、今年度の平均値4.25も昨年に続き全学部の中で最も高い数字となっている。「興味・関心」のある授業により「見方・考え方が深まる」ことが寄与しているものと考えられる。

### ③学部設問項目 (3-(1)～(5))

学部設問項目は、「出欠席管理」、「授業中の私語」、「教室環境の適切さ」、「教員による学習環境づくり」の4項目で実施し、いずれも対面授業の履修者のみに回答を求めた。次の表は、各項目の過去5年間における各項目の平均値をまとめたものである。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度	令和4年度
3-(1) 出欠席管理					
専任教員	↗ 4.50	↘ 4.47	↗ 4.50	↘ 4.13	↗ 4.31
講師(非常勤)	↓ 4.52	↗ 4.60	↗ 4.69	↘ 4.04	↗ 4.13
3-(2) 授業中の私語					
専任教員	↗ 4.08	↗ 4.14	↘ 4.10	↗ 4.20	↘ 4.19
講師(非常勤)	↘ 3.70	↗ 3.85	↗ 3.98	↗ 4.13	↗ 4.17
3-(3) 教室環境の適切さ					
専任教員	↗ 4.47	↘ 4.39	↗ 4.50	↘ 4.26	↘ 4.25
講師(非常勤)	↗ 4.38	↗ 4.47	↗ 4.51	↘ 4.02	↗ 4.24
3-(4) 教員による学習環境づくり					
専任教員	—	4.33	↗ 4.41	↘ 4.26	→ 4.26
講師(非常勤)	—	4.34	↗ 4.39	↘ 4.02	↗ 4.08

概ね上昇または現状維持の傾向がみられ、講師（非常勤）の「出欠管理」や「教室環境の適切さ」で上昇がみられている。これは、対面授業が増加したことによる改善が考えられるが、専任教員も含めまだコロナ前の数字には回復していないので、引き続き努力を続ける必要がある。

### (3) まとめ

前述のとおり、「満足度」については国際学部の数字は安定的に上昇しており、今年度も全学部の中で最も高い数字となった。これは国際学部各教員の努力と熱意の賜物といえるが、これに安住することなく、今回のアンケート結果を踏まえ、今後も特に以下の点に留意しつつ不断の授業改善に取り組む必要があると考えられる。

- ①原則対面授業に戻るメリットを活かした、より学びやすい学習環境・雰囲気づくり。
- ②国際学部の長所（興味・関心が高まり、見方・考え方が深まる学び等）をさらに伸ばし、より学生の「満足度」が高まる教育内容。
- ③これまで以上に学生が「予習・復習」を励行し、授業において積極的に「質問・発言」を行い、「オフィスアワー」を活用してより深く学ぶといった、国際学部の課題を意識した授業運営やゼミ指導。

以上

## 6. 教養教育科目

本学では、「積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為の人材の育成」を建学の理念に掲げている。また、3つの基本方針を定めた上で、国際性、専門性、人間性を備えた人材の育成に取り組んでいる。その実現のため教育方針に挙げられている「世界のあらゆる民族・人種との共存、ならびに相互信頼を実現する柔軟な理解力、豊かな受容力」「確固たる信念をもって行動するための洞察力と決断力」「開拓精神にあふれ、かつ、そのために必要な知力と体力」を実現するためにも、教養教育科目の充実が重要である。

今年度は前年度から続き、多くの科目が遠隔授業での実施となった。次年度からはコロナ禍をめぐる状況の変化もあり、対面で実施される授業が多くなるが、これまでの遠隔授業の運営により培われた知見は引き続き活用できると思われる。

### (1) アンケート実施科目数

教養教育科目に対する実施科目数は、119科目で、学部別では、商学部28科目、政経学部41科目、外国語学部14科目、工学部13科目、国際学部19科目であった。

### (2) 集計結果と評価

以下では、いくつかの設問項目を取り上げ、前年度との比較や近年の傾向について記述し、課題を述べる。なお、<>内に示した項目の右側には対応する設問番号を示している。

#### <予習・復習> 1- (3)

本項目は、当該科目における予習・復習時間を尋ねるものである(1=0.5h未満、2=0.5h以上、3=1h以上、4=2h以上、5=3h以上)。全体でも1.97と低い数値となっており、教養教育科目では、1.83となっている。このことから、学生の予習時間は十分とはいえない点が見取れる。ただし、平成29年度以降、平均ポイントは上昇傾向にあるので、この傾向を維持する施策が求められる。

#### <質問・発言> 2- (6)

本項目は、対面授業の履修者のみ回答する項目であり、授業において学生の授業参加への促しがあったかどうかを尋ねるものである。ポイントの平均値は3.83と相対的に低く、全体の平均値4.03よりも低い。次年度以降は対面授業に戻る科目が数多くあるので、学生に積極的に質問を促すなど、授業運営における工夫が求められる。

#### <理解のしやすさ> 2- (11)

今年は、遠隔授業3年目ということもあって、教員も慣れてきたのか、理解のしやすさが上昇した。教養教育科目に対する理解のしやすさは、全科目の平均値では4.04ポイントである。これは全体平均4.03より0.01ポイント高い。また、平成29年度以降本項目のポイントは上昇傾向にある。

<見方・考え方の深まり> 2- (13)

「この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか」という質問に対する回答は、全体平均と同じ4.04となった。このことから受講者は授業内容から新しい知見や知識を身につけていると感じていることが分かる。

<満足度> 2-(14)

教養教育科目に対する満足度について、全体（全科目）の平均値では4.18ポイントである。これは全体平均4.19より0.01ポイント低い。ただし、前年度の4.13ポイントよりは高い数字になっており、改善の傾向が見られる。

<その他>

その他の項目についても、おおむね4.00台と良好な数字となっており、授業運営はおおむね適切に行われていることがうかがえる。3.0が適切である項目（難易度・授業進度）についても、両項目とも平均が3.47（難易度）、3.18（授業進度）と大きな問題はないように思われる。

### （3）課題

本調査の結果から、教養教育科目においては、受講者による授業に対する「理解のしやすさ」、「ものの見方や理解の深まり」、「満足度」などはおおむね問題がない水準であることがアンケート結果から読み取れる。

ただし、（教養教育科目に限られない問題であるが）予習・復習時間の極端な少なさや、授業時の発言・質問への促しが不十分である点など、課題も明らかになった。この点については、担当教員各位がこれまで培ってきた遠隔授業の運営方法も応用しつつ、対面授業での工夫を推進することが求められる。また、引き続き遠隔で実施される授業についても、さまざまなツールを活用することで、学生が積極的に授業に参加する工夫が行われることが望ましい。

教養教育科目では、引き続き、広く深く学術の基礎を学び人間性を涵養する教育となるよう、授業内容や授業方法の工夫・改善を推進する。

以上

## 6. 教養教育科目（外国語科目）

この報告書は令和4年12月5日から10日（予備日12月13日から18日）にかけて実施されたアンケートを基に作成したものである。

### （1）実施状況

学科目別のアンケート実施科目数に関して見てみると、外国語科目は外国語クラスの授業展開が少人数制を採用しているため他の学科目と比べて一番多く、実施科目数は666となっている。また外国語科目とは具体的に英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、日本語（留学生用）の総称である。

### （2）全体集計、学科目別の平均値及び標準偏差

受講学生の授業への積極的なかわり方を表す設問3項目1-（1）「学生の出席状況」、1-（2）「ノート・メモ」、1-（3）「予習・復習」を他の学科目と比較してみた場合、設問1-（1）、（2）に関しては他の学科目とさほど大きな数字の違いは見られない。設問1-（3）に関してはかなり高い平均値が見てとれる。この設問3項目からは外国語科目の受講に際して予習や復習に時間を割かないと教授内容の理解に支障をきたす可能性があるという意識が読み取れる。

設問項目2-（1）から2-（14）は受講学生の対象授業に関する直接の評価となる。対象授業へのいわば総合評価とも考えられる設問項目2-（14）（授業への）「満足度」を見てみるとゼミナール・外書購読ならびに教職・社教・日語講座科目の突出した数字を除く他の学科目と比べてみても、平均値、標準偏差ともにさして大きな違いはみられない。

2-（1）「狙いの明確さ」に関しても他の学科目の数字と大きな違いはない。2-（4）「声の大きさ」を見てみると平均値4.17と全体の平均よりは低い。原因として遠隔授業受講時はブラックボードの使用などによりそもそも教員が声を出す機会がない場合もあり、また対面授業においてもコロナのウイルス感染予防の観点から教員が大きな声での発音練習を意識的に控える傾向にあったと推測される。設問項目2-（5）「環境の配慮」、2-（7）「オフィスアワー」に関して他の学科目群と大きな相違は見られない。設問項目2-（6）「質問・発言」の平均値は4.30と比較的高い数字がでているが、標準偏差に関しては担当教員によって学生たちの評価が割れているように思える。設問項目2-（8）「熱意」、2-（9）「時間の厳守」、2-（10）「教材等の効果」、2-（11）「理解しやすさ」の4項目に関しては他の学科目との大きな数字の違いはみられない。一方で設問項目2-（12）「興味関心」そして2-（13）「見方・考え方が深まる」の2項目に関して平均値がそれぞれ4.02、3.94とあまり高くない数字にとどまっており、他の学科目と比較しても高いとは言い難い。「興味関心」と「見方・考え方が深まる」の両項目は受講学生の学習への動機付けという意味において関連性が強く、数字が高くないという事実はなんらかの工夫が必要であることを示唆している。

### (3) 外国語科目の平成 29 年度から令和 4 年度までの各設問項目の経年比較

設問項目 2-(6)「質問・発言」の評価が昨年度より伸びている。外国語を学ぶ際、少しでも疑問に思ったことなどをその場で解決していくことが重要であるため、良い傾向にあるといえる。設問項目 2-(7)「オフィスアワー」の評価が昨年度に続き、過年度と比べて飛躍的に伸びている。理由は現時点でよくわからないが、オフィスアワーを活用する学生は増えているように感じる。設問項目 2-(1)「狙いの明確さ」も平成 29 年度からの 5 年間で一番よい評価、数字となっている。これもコロナ禍で外国語の文法などを教授する折に、時間の有効活用のために遠隔授業、対面授業とも担当教員間で教授内容の明確な分担がなされ、連絡を密にできたのではないかと考えられる。また設問項目 2-(4)「声の大きさ」、2-(5)「環境の配慮」においては昨年度が過去 5 年間で最も低かったが、いずれも回復しつつある。

### (4) 課題

集計されたアンケートを概観してみると、外国語科目に関してコロナ禍に特徴的な傾向と従来から継続している課題点との 2 つの面がみえたように感じる。

昨年度よりは回復しつつあるが、コロナ前の水準には至っていないのが、設問項目 2-(4)「声の大きさ」、2-(5)「環境の配慮」があげられる。Blackboard を用いた授業に関しては難しい点があるが、それでも音声を Blackboard 上に張り付けているなどして発音練習を実施するなどの工夫が求められる。また対面授業の場合には各教室に設置されているマイクか、携帯マイクを使用して発音などを行うと声の聴き取りにくさは解消できる。効果的なマイクの使いかたを工夫する必要がある。「環境の配慮」においては、コロナ対策による座席確保のため、学生同士のペア、グループ活動に規制が感じられたり、オンデマンド授業に関してはネット環境なども原因にあると思われる。

一方従来からの課題としては設問項目 2-(12)「興味関心」、2-(13)「見方・考え方が深まる」の 2 項目が依然としてあるように思う。学生たちの学びのモチベーションを上げるためには外国語の文法や表現などをただ教授するだけでなく、その他の要素も必要になってくる気がする。具体的に例を挙げるのであれば、教授される各言語の背景にある文化を説明する機会を設ける、それぞれの言語が話されている社会の現状などを学べるテキストを選定する方法もある。またテストの実施とは別に、各言語の運用能力が向上していることを受講学生たちに実感してもらうことも大変重要である。公的な語学能力検定を受験するように促し、実際に合格できるように指導していくことも課題の解決に大きく寄与するはずである。

以上

## 6 教養教育科目（スポーツ・トレーニング科目）

### （1）実施状況

令和4年度「授業改善のための学生アンケートは、基本的には令和4年12月5日（月）から12月10日（土）、及び予備日として12月12日（月）から12月17日（土）までの授業時間中に実施した。QRコードを学生に何らかの方法で提示し、学生がスマホ等で読み込んでWeb上にて回答を回収した。

スポーツ・トレーニング科目のアンケート内容は、講義科目や実験実習科目と異なり、身体を動かす実技科目であることから独自の内容となっている。

実施科目数は、実質、商学部・政経学部が4科目（トレーニング基礎演習・生涯スポーツ基礎演習・生涯スポーツ応用演習A・生涯スポーツ応用演習B）、外国語学部・工学部が同様に4科目（科目名も商・政経学部と同じ）、国際学部が2科目（生涯スポーツ基礎演習Ⅰ・生涯スポーツ基礎演習Ⅱ）である。

教員7名（専任4名・講師3名）が、上記した方法か、アンケート当日欠席した学生には以下の連絡を送りアンケートを実施した。

「blackboard の連絡事項」にQRコードを掲載し、学生にスマホ等で読み込ませ、回答させた。

### （2）アンケート項目

アンケート項目は21問。体育実技科目用のアンケートであるため、一般的な講義科目用のアンケートより設問数が若干多くなった。また、回答「3.0」が適切である項目は設けなかった。21問中の9問は、スポーツ・トレーニング科目独自の設問となった。

### （3）受講姿勢に関する学生の自己評価—その集計結果

1－（1）「学生の出席状況」の平均値は4.64である。令和3年度は、4.75であることから、やや低い値となったが、十分に高い数値である。「出席率80%以上」と回答した学生は93.9%であった。極めて高いパーセンテージである。体育実技科目は、平成25年度までは国際学部を除く全学部が必修科目としていたが、平成26年度からは工学部のみが必修科目としている。その工学部も令和2年度からは必修科目から体育実技科目を外した。それ故、本調査の数値は、全く必修科目ではない選択科目としての体育実技科目の2回目の出席状況調査数値である。平成22年度から令和元年度までの10年間の「出席率80%以上と回答した学生の平均値は90.7%であった。従って、令和4年度に体育実技科目を選択履修した学生の授業出席に対する真面目な姿勢が窺える。

1－(2)「健康・運動への関心」の平均値は4.52であった。極めて良好な数値であると思える。しかし、令和3年度の同設問に対する数値4.57より漸減している。「⑤強く思う」と「④そう思う」の合計（以下⑤+④とする）が、本調査では95.8%であった。令和3年度の調査も95.7%である。これらは令和元年度調査の81.1%を大きく凌駕している。自身の健康・体力に関してより強い関心を寄せている学生が、近年は履修登録していることが窺える。

1－(3)「積極的参加」の平均値は4.54であった。必修科目ではなく選択科目として体育実技科目を履修する学生であるから、この項目の数値が高いのは十分に頷ける現象である。しかし、令和3年度の4.61から若干減っている。ただし、⑤+④の合計値は本調査が96.4%であり、令和3年度は96.1%であった。よりレベルの高い積極参加の姿勢が窺える。コロナ禍による運動不足や仲間たちと思うように会えないもどかしさなどによるフラストレーションの存在も今年度はまだ考えられる。

受講生の体育実技科目受講に対する意識は、近年、より積極的になってきていると思われる。それは受講生の態度（取り組みの状況）にもよく表れている。早く教場に来る・授業準備を積極的に手伝う・実技実施中に大声を出す・よく笑う・欠席や遅刻が少ない等々は、担当教員が感じる近年の受講生の変化である。令和3年度の「健康・運動への関心」についても「強く思う」「そう思う」と答えた「肯定群」の割合が95.7%と、令和元年度(81.1%)を15ポイント近く引き離している。受講生が体育実技科目を選択履修する目的意識は極めて明確であり、これが数値に反映されていると考えられる。令和3年度前期までは、緊急事態宣言の発出に伴い、対面授業がほとんど行えなかった。しかし、この数値を見る限り、学生の取り組み状況にそれらの影響はないように見受けられる。むしろ、実際に仲間と共に身体を動かす喜びに学生は満ち溢れているよう窺える。「積極参加」も7.2ポイント、3年前より上昇している。オンライン授業では血気盛んと形容できるであろう大学生の活動への欲求を十分に満たすことはやはり難しい。

#### (4) 教育内容・方法について－その集計結果と今後の課題

2－(1)「狙いの明確さ」の平均値は4.55であった。令和3年度も4.55、令和元年度の数値は4.45。高い水準を継続して維持していると考察できる。学科目別回答の分析では、⑤+④が97.0%であり、昨年度の95.7%を1.3ポイント上回った。「狙いの明確さ」についての受講生の評価は向上していると考えられる。

2－(2)「運動量」の平均値は4.64であった。十分に高い数値である。授業参加における運動量は十分であると受講生は感じていると考えられる。令和3年度の調査でも4.69であった。令和元年度以前の調査とは設問文章の文言を変えているため、比較検討はできない。

2－(3)「体力、健康の向上・改善」の平均値は4.55であった。令和3年度は4.57。この項目も令和元年度以前の調査とは設問の文言を変えている。従って、数値の比較検討はできない。4.55は、体育実技科目の授業として十分に納得できる数値であると分析できる。

2－(4)「説明のわかりやすさ」の平均値は4.47である。これも他の質問項目と同様に首肯しうる数値ではあるが、科目の特性上、受講生が全く未知の内容を教授する訳ではないので、限りなく5.0に近づける努力をしなければならないと考えられる。昨年度の数値は4.56であった。わずかに数値が低下したが、令和元年度の4.20よりは増加している。良好な傾向は感じられる。

2－(5)「声の大きさ」の平均値は4.63である。令和3年度の4.64より0.01ポイント低い数値となったが、問題は全く感じない。良い傾向であると思える。⑤+④は98.1%であった。

2－(6)「コミュニケーション」の平均値は4.55である。令和3年度の4.67からわずかに減少した。しかしながら、良好な数値であると言えよう。⑤+④も97.0%であった。学生とのフレンドリーな関係（運動場面においては、選手と指導者とのフレンドリーな関係が選手の躍動感につながると言われている）が窺える。

2－(7)「雰囲気」の平均値は4.56である。令和3年度の4.65よりわずかに数値は減少した。しかし、⑤+④は95.8%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(8)「授業の準備」の平均値は4.52である。新設した質問項目であるため、令和元年度以前のデータはない。令和3年度は4.65であった。⑤+④は92.1%である。施設面・用具面などの授業の準備に関しての学生の評価は十分に高いと考えられる。及第点であろう。

2－(9)「安全への配慮」の平均値は4.69である。令和3年度も4.69であった。2－(8)と同様に新設の設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は98.8%と高い数値である。しかし、体育実技科目においては「安全への配慮が十分でしたか」の問いに対しては、⑤+④は100%にならなければならないと考えられる。今後の課題として、いの一歩に捉えなければならない。

2－(10)「意欲・熱意」の平均値は4.67である。令和3年度は4.71であった。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は98.8%と極めて高い数値である。教員の情熱を受講生は十分に感じていると考えられる数値である。

2－(11)「時間の厳守」の平均値は4.65である。令和3年度は4.68であった。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は98.1%とこれも極めて高い評価となったが、「安全への配慮」と同様に100%にならないといけない項目であると考えられる。今後の課題として捉えなければならぬであろう。

2－(12)「興味関心」の平均値は4.58である。令和3年度は4.65。この項目も新設した設問であるため令和元年度以前のデータはない。⑤+④は95.8%と非常に良好な数値となった。多くの学生が授業内容に興味を抱いていたと回答している。

2－(13)「知識・技術の習得」の平均値は4.59である。令和3年度の平均値4.57よりわずかに評価が上がった。⑤+④は97.6%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(14)「健康・体力維持」の平均値は4.50である。これは令和3年度の4.63よりわずかに評価が下がった。⑤+④は95.2%である。もちろん極めて良好な数値ではあるが、この項目こそが、100%達成を目指すべき項目であろう。体育実技科目の達成目標の柱となるものである。今後の課題として、この項目の評価を体育実技担当教員は共有していかなければならないと考える。

2－(15)「満足度」の平均値は4.65である。これも令和3年度の4.66よりわずかに評価が下がった。⑤+④は98.8%と極めて高い数値である。一般的な講義科目より高い評価を受けたのは、実技科目としての科目の特性上当然であると考えられるが、受講生の興味関心がもともと高いが故に、授業内容に失望した際には大きく数値が落ちるであろうことは想像に難くない。今後も高い満足度の数値を得て行くために担当教員は努力していかなければならないと考える。

#### (5) スポーツ・トレーニング科目独自設問—その集計結果と今後の課題

3－(1)「種目の選択と内容の希望」の平均値は4.54である。令和3年度の4.65よりわずかに低い評価となった。しかしながら、良好な数値であると考え。⑤+④は97.0%であった。

3－(2)「時間帯」の平均値は4.58である。令和3年度の4.57より若干数値は向上している。体育実技科目であるため激しい身体活動に適していると考えられる2時限目～4時限目の時間帯に授業時間を配置しているため、多くの学生が肯定していると考えられる。⑤+④は96.9%である。今後も授業の配置時間は現状の配置を継続して行く所存だが、科目と使用施設の関係上、難しいケースが生まれる可能性は否定できない。

3－(3)「履修の希望」の平均値は4.33である。令和3年度も4.33であった。令和元年度以前の10年間の平均値3.69をかなり上回る結果である。これは、必修科目としての体育実技が無くなり、体育実技の全てが選択科目となった令和3年度以降の学生評価アンケート調査であることが強く影響していると考えられる。選択科目であることから、当然、運動嫌い・体育嫌いの学生は履修してこない。現在我々が提供しているプログラムに対して、リピートしたいと考えている学生が多いという単純な結果であろう。⑤+④は83.0%であった。しかし、取得することができる体育実技科目の単位数は限られている。体育実技科目に限っては特別な科目として単位取得の制限が撤廃される、あるいは、一度取得した単位でももう一度申し込みまた受講できるなどの特別な措置が構築されなければリピートはできない。多くの学生がリピート受講を望んでいる。

以上、現状の分析と今後の課題を簡便に示してきた。2－(15)の「満足度」の平均値からは、強く、受講生の体育実技科目受講に対する好意的な評価を窺うことができる。しかし、詳細に検討すると「どちらとも言えない」が1.21%存在している。新たに105分授業が導入された令和4年度は、更衣と教場への移動を伴う体育実技科目にとっては授業が行い易い環境となった。学生の不満のひとつである授業の支度の煩雑さは大いに解消されている。

105分授業導入は、体育実技科目にとっては極めて追い風である。学生の満足度と学生の体力向上を目指し、更なる努力で体育実技授業の改善を図って行きたい。

## 7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の対象となる教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座の科目数の合計は46科目となっている。

「2-(14)総合的な満足度」は、3講座の科目全体で見ると、今年度の平均値は4.53であった。これは、全学(2122科目)の平均4.19を上回っている。また、昨年度の3講座の科目の平均値4.26よりかなり上昇した。受講学生からは、昨年度以上に好意的に評価されていることが窺える。以下、個別に現状分析と課題について述べてみたい。

### 1. 自己評価について

- (1)「学生の出席状況」の平均値は4.74(標準偏差0.54)であり、昨年度の4.76(同0.51)とほぼ同程度であった。
- (2)「ノートやメモ」の平均値は4.45(同0.69)であり、昨年度の4.22(同0.92)より上昇した。
- (3)「予習あるいは復習」の平均値は1.93(同0.98)であり、昨年度の1.81(同0.98)よりやや上昇した。内訳では、予習あるいは復習の時間が「30分未満」が39.7%を占めるが、昨年度より9ポイント余り減少した。

学生の自己評価から、全体として学修への積極性が一層高まっていることが窺える。90%以上の出席率が78.8%となっており、「ノートやメモ」についても「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」(以下、同様の表記)の割合が94%と、昨年度より9ポイントも増加した。履修学生が当該科目を選択履修する目的意識は明確であり、これが数値に反映されていると考えられる。今年度は一部科目ではオンライン授業があったものの、対面授業が中心となり、落ち着いて授業に取り組める状況が維持されたことが推察できる。なお、公式試合等が授業と重なる運動部学生や、新型コロナウイルス感染症罹患に伴う欠席学生には、授業の欠席届の提出を求め、個別の課題の指示や指導を行って対応した。

「予習あるいは復習」については、昨年度の平均値が全学(1.93)よりも低い(0.12ポイント減)数少ない質問項目となっていた。今年度は、全学の平均値より0.04ポイント減に留まり、「予習あるいは復習」の「30分未満」の割合が減少する一方で「30分以上1時間未満」が8ポイント弱上昇するなど改善の兆しが見られる。学生は、各学部での学修に加えて当該講座の科目を選択履修しており、当該科目の予習・復習に時間を確保できていない状況も考えられる。今年度は16%に留まる「1時間以上2時間未満」の中間層の増大を念頭に、授業担当者が課題や宿題を、そのねらいを周知しながら課していくなどの指導を引き続き行っていく必要がある。

### 2. 教育内容・方法について

- (1)「授業のねらいの明確さ」の平均値は4.53(同0.58)であり、昨年度4.37(同0.69)より上昇した。また「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」は96.7%と、昨年度よりさらに3ポイント余り増加した。

- (2) 「難易度」の平均値は 3.35 (同 0.55) であり、昨年度の 3.44 (同 0.60) よりやや減少した。「やや難しい」と答えた割合が 6 ポイント余り減少して 29.8%となった。「ちょうど良い」は 66.1%であった。
- (3) 「進捗」の平均値は 3.14 (同 0.43) であり、昨年度よりやや低下した (0.07 ポイント減)。「ちょうど良い」は昨年度より 5 ポイント余り増加し、「やや速い」は 3 ポイント余り減少して 12.2%であった。
- (4) 「声の大きさ」(聞き取りやすさ)の平均値は 4.44 (同 0.66) であり、昨年度の 4.12 (同 0.95) よりかなり上昇した。
- (5) 「環境の配慮」(私語の防止等)の平均値は 4.47 (同 0.65) であり、昨年度の 4.13 (同 0.83) よりかなり上昇した。「肯定群」も昨年度より 14 ポイント余り上昇して 93.6%となった。
- (6) 「質問・発言」の平均値は 4.36 (同 0.88) であり、昨年度の 4.13 (同 0.92) より上昇した。また「肯定群」も、11 ポイント以上増加して 89.5%となった。
- (7) 「オフィスアワー」の平均値は 2.87 (同 1.36) であり、昨年度の 2.64 (同 1.30) より上昇した。また「肯定群」も 6 ポイント余り増加して、35.9%となった。
- (8) 「意欲・熱意」の平均値は 4.59 (同 0.61) であり、昨年度の 4.37 より上昇した。また「肯定群」は昨年度と同じく 91%台となった。
- (9) 「時間厳守」の平均値は 4.42 (同 0.77) であり、昨年度の 4.37 (同 0.77) とほぼ同程度となった。また「肯定群」は 90.2%であった。
- (10) 「教材等の効果」の平均値は 4.51 (同 0.62) であり、昨年度の 4.38 (同 0.76) より上昇した。また「肯定群」は昨年度と同じく 92%台となった。
- (11) 「理解しやすさ」の平均値は 4.28 (同 0.69) であり、昨年度 4.11 (同 0.79) よりやや上昇した。また「肯定群」は昨年度より 4 ポイント余り増えて 90%台となった。
- (12) 「興味関心」の平均値は 4.33 (同 0.76) であり、昨年度の 4.19 (同 0.83) より上昇した。また「肯定群」は 3 ポイント余り増加して 89.8%となった。
- (13) 「見方・考え方」の平均値は 4.53 (同 0.65) であり、昨年度の 4.22 (同 0.81) よりかなり上昇した。また「肯定群」は昨年度よりさらに 4 ポイント余り増えて 91.7%となった。

個別の質問項目では、昨年度より数値がかなり上昇したり、高水準を維持したりしているものが多くなっている。標準偏差から見てもばらつきが小さくなる傾向が看取される。

(1)「狙いの明確さ」は、当該講座の狙いを明確にした授業が行われていることを意味しており、履修学生も目的意識を明確に受講していることから、多くの学生に理解されていると考えられる。(4)「声の大きさ」、(5)私語の防止等の「環境の配慮」、(6)「質問・発言」、(8)「意欲・熱意」、(9)「時間厳守」などの質問項目は、いずれも指導教員の指導姿勢が好意的に評価されている。とくに(4)、(5)については、当該講座の受講者数が比較的少ないことから、指導教員の工夫改善の効果が表れやすい面もあると考えられる。また(10)「教材等の効果」、(11)「理解しやすさ」、(12)「興味関心」、(13)「見方・考え方」も、オンライン授業における工夫改善の蓄積のうえに、今年度中心となった対面授業に対

応した指導教員の授業改善の取組が奏功していることが推察される。

学生の受講状況の把握という点では、授業の(2)「難易度」、(3)「進度」とも「ちょうど良い」が増加する傾向が見られた。ただ、「難易度」については「やや難しい」が約3割を占めている。今後とも、個々の学生の理解状況をよく観察し、適宜声かけを工夫しながら、授業改善に引き続き努めていくことが重要である。

(7)「オフィスアワー」の利用については、「肯定群」が少ない状況が課題となってきたが、昨年度、今年度とかなり改善される傾向がみられる。「オフィスアワー」は、「ウィズコロナ」のもとで授業に取り組む学生たちにとって、単なる質問・応答に留まらず、学生生活の安心感と学修意欲を高める絶好の機会ともなる。約37%の学生は、その利用に否定的な回答をしていることから、指導教員が一層利用を促すよう改善に努める必要がある。

以上、現状分析と課題を挙げてきたが、これらを総括する「2-(14)総合的な満足度」の数値からも、受講学生が授業に対して好意的な評価をしていることは冒頭で述べたとおりである。しかも、「総合的な満足度」の肯定群のうち「強くそう思う」が58.9%を占め、昨年度より17ポイントも増加している。これは、今年度の対面中心の授業に学生が期待をもって積極的に取り組み、指導教員も昨年度までのオンライン授業の工夫のうえに授業改善に努めたことの相乗作用が奏功していることが窺える。また、今年度から105分授業が始まり、当該講座の授業の性格をより反映して講義一辺倒からの脱却を図る試みがさらに図られたものと推察される。こうした転機を授業改善の好機ととらえ、次年度はさらなる工夫改善に努めたい。

以上



## 参考資料

「授業改善のための学生アンケート」実施要領

アンケート様式



# 令和4年度「授業改善のための学生アンケート」実施要領（学部）

## 1. 目的

学修者本位の教育の質の向上を図るため、各教員が授業に対する学生の評価・意見を直接聞き、授業内容及び教育方法の改善に反映させ、さらに、学部・学科全体として、授業科目・教育課程の編成・実施に関する改善策の検討に役立てること。

## 2. 対象科目

本学で開講する通年科目及び後期科目（オンデマンド型授業を含む）を担当する全ての教員を対象とする。ただし、北短開講科目、一部の委託業者担当科目、講座科目（オムニバス）、集中講義（工学部卒業研究を含む）は対象外とする。

## 3. 実施期間

令和4年12月5日（月） ～ 12月10日（土）  
（予備日：12月12日（月） ～ 12月17日（土））

## 4. 実施方法

「学生アンケートシステム」を使用し、Web上で実施する。

- （1）事前に「学生アンケートシステム」にログインし、科目毎のQRコードとURLが記載されたPDFデータを出力（必要であれば印刷）する。科目毎専用のアンケートフォームとなっているため、アンケート実施時に科目が混在しないように注意する。
- （2）アンケート実施期間前の授業にて、アンケート実施の旨と、スマートフォン（以下スマホ）を持参するよう学生に周知する。
- （3）アンケート実施期間内に、次の方法にて実施する。所要時間は5分程度。

### 【対面授業科目】

教室内のスクリーン（モニター）にQRコードを表示し、学生がスマホ等で読み込んで回答する。その際、必ずWi-Fiに接続できる旨を学生に伝える。

スマホ非所有者は【オンデマンド型授業科目】の方法で対応する。またQRコードを読み取れない場合は、URLから回答するよう依頼する。

### 【オンデマンド型授業科目】

各授業科目の担当教員において、Blackboardの「連絡事項」にQRコード（PDF）を掲載頂き、学生がスマホ等で読み込み回答する。

※体育実技科目については同様の方法で実施する。

### 《特記事項》

- ・同一教員が担当している連続授業（2コマ以上）については、期間内に1度のアンケート実施をお願いします。
- ・複数の教員が担当している連続授業については、各担当教員でのアンケート実施をお願いします。

## 5. 科目別集計表等の作成、実施結果の取り纏め

---

- (1) 実施期間後（12月18日（日）以降）に科目別集計表が自動で集計される。
- (2) 担当教員は、科目別集計表の「アンケート結果に対する担当教員の所見及び改善に向けた今後の取組方針」について学生アンケートシステム上で入力する。  
（入力文字数は任意、800字まで入力可）
- (3) FD委員会は“実施結果報告書 第Ⅰ部 全体集計”、“第Ⅱ部 科目別集計”を作成する。
- (4) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書を纏めるにあたって、学部において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。  
実施結果報告書第Ⅰ部の記載項目は、「Ⅱ実施状況」、「Ⅲ全体集計」を基に、各学部等の「Ⅳ評価及び課題」をA4サイズ2～3枚程度に纏める。

## 6. 活用方法

---

- (1) 各教員は「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、自己の授業内容及び教育方法の改善に役立てる。
- (2) 各学部・学科は、「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、授業科目・教育課程の編成・実施に関する組織的な改善策の検討に役立てる。
- (3) 大学は、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援と助言を行う。

以 上

令和4年度 「授業改善のための学生アンケート」 設問項目  
【講義等科目用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1		自己評価					(7)	授業時間以外に先生へ質問に行くこと(ワ1&7-等)がありますか。				
(1)	あなたのこの授業の出席率ほどの程度でしたか。	5 90%以上	4 80%以上	3 60%以上	2 40%以上	1 40%未満	(8)	5	4	3	2	1
(2)	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	5	4	3	2	1	(9)	5	4	3	2	1
(3)	あなたはこの科目について、毎回のくらい予習あるいは復習をしていますか。(h=時間)	5 3h以上	4 2h以上	3 1h以上	2 0.5h以上	1 0.5h未満	(10)	5	4	3	2	1
2		教育内容・方法					(11)	この授業の内容はよく理解できましたか。				
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。	5	4	3	2	1	(12)	5	4	3	2	1
(2)	この授業の難易度はどうですか。⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やや易しい ①易しすぎる	5	4	3	2	1	(13)	5	4	3	2	1
(3)	この授業の進度はどうですか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	5	4	3	2	1	(14)	5	4	3	2	1
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	5	4	3	2	1	3	学部設問項目				
(5)	先生は授業に集中できるよう配慮(私語の防止等)をしていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	5	4	3	2	1	各学部の「学部設問項目」が入ります。					
(6)	この授業は学生の授業参加(質問・発言)を促しましたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	5	4	3	2	1						

自由意見欄 (自由記述)	この授業で良かった点、改善してほしい点、この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・防音・設備など)について意見や要望があれば、具体的に書いてください。
-----------------	--

《学部設問項目》

学部	設問	回答
商学部	(1)	あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか。
	(1)	この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。 ① 自分が勉強したい内容であった ② 授業がわかりやすい ③ 単位を取得することができそうだ ④ 宿題やテストで内容が身についた ⑤ 講義の時間帯が適切であった
	(2)	この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか。 ① もっと出席をする ② 授業をよく聴き理解に努める ③ まじめに宿題に取り組む ④ テキストを読み返すなどの復習をする ⑤ 試験対策を入念にする
	(3)	この授業で実施してほしい学生参加の方法は何ですか。(複数回答可) ① 授業中に直接教員と対話する(質問・発言など) ② プレゼンテーションを行う ③ ディスカッションを行う ④ リアクションペーパーなどを提出し、教員の回答を求める ⑤ とくにない
政経学部	(4)	留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。 ① ゆっくり話してほしい ② 文字情報をふやしてほしい ③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい ④ 日本語の書き方を教えてほしい ⑤ 試験前に質問の時間がほしい
	(1)	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
外国語学部	(2)	このクラスの学生数は適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(1)	この授業の到達目標をよく理解していますか。
工学部	(2)	宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか。
	(3)	この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか。
	(4)	この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか。 ① 対面に適している ② どちらかという対面に適している ③ どちらとも言えない ④ どちらかというオンデマンドに適している ⑤ オンデマンドに適している
	(1)	出欠はきちんととられていますか。
国際学部	(2)	授業中、学生同士の私語はないですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(3)	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(4)	学生がいいきぎと学べる環境づくりに教員が努めていますか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)

**【工学部・実験・実習科目用】**

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1	(5)	先生は授業に集中できるよう配慮(安全及び私語の防止等)していますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(1)	あなたのこの授業の出席率は何の程度でしたか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	(6)	先生は熱意をもって授業を行っていますか。	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	⑤	④	③	②	①	(7)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	(8)	教材等(実験機材・教科書・配付資料・板書・パワーポイント・模型等)はこの授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
(4)	あなたの受講態度(遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価)はどうでしたか。⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	⑤	④	③	②	①	(9)	教材(実験機材・テキスト・配付資料・模型など)の使用は適切ですか。	⑤	④	③	②	①
							(10)	この授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(11)	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
(1)	この授業の難易度はどうですか。⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やや易しい ①易しすぎる	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持っていましたか。	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の進捗はどうか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	(13)	この授業を通じてもの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	説明は分かりやすいですか	⑤	④	③	②	①	(14)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

【スポーツ・トレーニング用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1							
(1)	あなたのこの授業の出席率はどの程度でしたか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	(8)	この授業は施設・用具など授業の準備は十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	⑤	④	③	②	①	(9)	この授業は安全への配慮が十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①							
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(10)	先生は熱意をもって授業を行っていますか。	⑤	④	③	②	①
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。	⑤	④	③	②	①	(11)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の運動量はどうか。 ⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不足していた ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(13)	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	この授業で体力・健康状態が向上・改善されましたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ④やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(14)	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(15)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	3	スポーツ・トレーニング設 問事項	5	4	3	2	1
(5)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	(1)	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	⑤	④	③	②	①
(6)	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	⑤	④	③	②	①	(2)	受講した時間帯は適切でしたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(7)	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気に保たれていますか。	⑤	④	③	②	①	(3)	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。